

第六十四回帝國議會
衆議院

鐵道敷設法中改正法律案委員會會議錄(速記)第五回

付託議案

鐵道敷設法中改正法律案(政府提出)
帝國鐵道會計法中改正法律案(政府提出)
地方鐵道補助法中改正法律案(政府提出)

會議

昭和八年二月三日(金曜日)午前十時四十分
開議

出席委員左ノ如シ

委員長 秦 豊助君

理事原 惣兵衛君 理事寺田 市正君

理事清水徳太郎君

中島 守利君 八田 宗吉君

林 路一君 鈴木 義隆君

田村 實君 田邊 七六君

綾部健太郎君 横山金太郎君

村上紋四郎君 林 平馬君

小池 仁郎君 伊豆 富人君

同日委員大本貞太郎君辭任ニ付其ノ補闕ト

シテ田村實君ヲ議長ニ於テ選定セリ

同日二月二日地方鐵道補助法中改正法律案(政

府提出)ノ審査ヲ本委員ニ付託セラレタリ

出席國務大臣左ノ如シ

鐵道大臣 三土 忠造君

出席政府委員左ノ如シ

陸軍少將 山岡 重厚君

鐵道政務次官 名川 侃市君

鐵道參與官 板谷 順助君

鐵道省運輸局長 日淺 寛君

鐵道省建設局長 池田 嘉六君

鐵道省工務局長 黒河内四郎君

鐵道省經理局長 工藤 義男君

委員長ノ許可ヲ得テ出席シタル者左ノ如

シ

議員 河上 哲太君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

鐵道敷設法中改正法律案(政府提出)

○委員長 ソレデハ是ヨリ開會致シマ

ス、國防ニ關スル關係ニ付キマシテ質問ガ

アリマシタノデ、山岡政府委員ガ出席セラ

レマシタ、秘密會ヲ要求セラレマシタカラ、

委員外ノ諸君ハ退席シテ下サイ

〔午前十時四十一分秘密會ニ入ル〕

〔午前十一時二十三分秘密會ヲ終ル〕

○委員長 ソレデハ是デ秘密會ヲ解キマ

ス、秘密會ニ於キマシテハ國防ニ關シテ山

岡政府委員トノ間ニ質問應答ガアリマシタ

○八田委員 鐵道大臣ニ御尋致シマス、今

回新シイ計畫ヲ御執リニナリマシテ、經濟

集中主義ト申シマセウカ、何かサウ云フヤ

ウナ御方針ノ下ニ色々改廢ヲサレタヤウニ

承ッテ居リマスガ、サウ云フヤウナ御意思デ

アルカドウカ、一寸御方針ヲ伺ヒタイト思

ヒマス

○三土國務大臣 御質問ニ對シテ大體ノコ

トヲ申上ゲヌト御答ニナラヌカト思ヒマス

ガ、是マデ鐵道ノ計畫ニ付キマシテ、大正

十三年以來豫算ノ改訂ガ十分ニ行ハレテ居

ラヌノデアリマス、所ガ此繼續費ノ年割額

ニ於テ實際ヤッテ見マスト云フト、色々支

障ヲ生ジタリ、或ハ計畫變更ヲ致シマシタ

リシタ爲ニ、大體ニ於テ繼續費ノ年度割デ

ハ各線ノ經費ガ足ラナクナッタノデアリマ

ス、多クノ線ニ付キマシテ、豫算ヲ増加シ

ナケレバ繼續年度以內ニ完成出來ヌト云フ

コトガアルノデアリマス、例ヘバ紀勢線ノ

如キモノハ、今度ハ餘程金高ヲ増シマシタ

ケレドモ、ソレデ尙且形ノ上ニ於テハ繰延

ニシナケレバナラヌ位、金ガ足ラナクナッ

ノデアリマス、高松カラ徳島ニ行ク高德線

ノ如キモノ、餘程經費ヲ増シマシタケレドモ、

尙ホ豫定ノ年度ヲ一年延バス形ニシナケレ

バ完成出來ヌ、斯ウ云フヤウナ形ニナッテ居

ルノデアリマシテ、大正十三年以來今日マ

デ改訂致シマセナンダ爲ニ、豫算ト實際ガ

非常ニ喰違ヲ生ジタ、之ヲ整理シテ實際ニ

近イ豫算ニスルト云フコトガ必要ニ迫ッテ

來タノデアリマス

ソレカラ段々此經濟界ノ不況、其他ノ原

因ニ依リマシテ收入ガ減ッテ參リマシタ、

鐵道全體ノ収益率ガ非常ニ低クナッテ參リ

マシタ爲ニ、鐵道財政ガ非常ニ苦シクナリ

マシタ、此點カラ考ヘマシテモ豫算ノ改訂

モ必要デアリマス

ソレカラモウ一ツハ自動車ノ發達ニ伴ヒ

マシテ、最近ノ狀況デハ短距離ノ所ハ寧ロ

自動車ニシタ方ガ宜イト云フ所モ出テ參リ

マシタ、或ハ又自動車デヤッテ、サウシテ實

際ノ運輸狀態ヲ見タ上デ、鐵道ノ本線ヲ架

ケルカ架ケヌカト云フコトヲ決メルト云フ

ヤウナコトモ出テ參リマス、斯ウ云フヤウ

ナ所カラ全體ノ計畫ヲ變更シナケレバナリ

マセヌ、其第一ト致シマシテハ臨時議會デ

協贊ヲ得マシタノデアリマスガ、二十五線

程計畫ヲ繰上ゲテ、是迄ヤリ掛ッテ居ルモノ

デ資本ノ固定シテ居ルモノヲ出來ルダケ早ク小口カラ片付テ行ク、サウシタ方ガ鐵道ノ財政状態カラモ都合ガ好シ、其地方ノ人モ早ク完成シマスカラ利益ヲ受ケル、斯ウ云フ事ノ爲ニ相當思切ツテ繰上ヲ致シマシタ、サウナリマスルト云フト、今迄ノ計畫線ノ中デ多少事實上ノ繰延ヲ必要トスルモノガ出來マス、併シ小口カラ片付テ行キマスカラ完成年度ハ大體變ラナイ、完成年度ハ變ラナイガ、未著手ノモノヲ著手年度ヲ先キニ繰延ベテ、小口カラ片付テ行クト、斯ウ云フ方針ヲ執ツタノデアリマス、其上ニ此豫算ノ關係ガ御承知ノ通り昭和七年度ニ於キマシテハ、臨時議會ノ協賛ヲ經テ七百萬圓増シテ四千七百萬圓、八年度ハ八百萬圓増シテ四千八百萬圓ト致シマシタガ、後年度ハ元ノ儘ノ計畫デアリマス、數年後マデ公債増發ノ計畫ヲ樹テルコトハ難クアリマスカラ、後年度ハ其儘ニ致シテ置キマシテ、昭和十六年迄ノ計畫ノ中デ、終ヒノ方ガ二千萬圓ノモノガ一千萬圓臺ニナツテシマッタノデアリマス、其形ヲ其儘ニ致シマスルト、已ムヲ得ズ一時豫算カラ外サナケレバナリマセヌ、ソレガ若干出來マシタ、自動車ニ變ヘルト云フモノハ豫算カラ全然外シマシタ、自動車ニ變ヘヌモノデモ豫算カラ

一應外サナケレバナラヌト云フモノガ出來タノデアリマス、サウ云フコトデ以テ此計畫ガ出來タノデアリマス、併シ大體ニ於キマシテハ小口カラ片付ケテ行クノデアアッテ、其鐵道ノ完成ニ於テハ大シタ影響ハナイ、斯ウ云フ積リデアリマス

○八田委員

大體ニ於テ完成年度ニ變更ガナイト云フト申サレマシタガ、吾々ノ處ハ大々ノ變化ヲ爲シタノデアリマス、削除サレタ場合ニハ、ソレ以上ニ苦痛ヲ地方ニ於テ與ヘテ居ルノデアリマス、大體ニ於テ完成年度ヲ變更シナイト云フヤウナ御話ハ、全ク是ハ唯御言葉ダゲデアッテ、事實ハサウデナイ、ソレデマアソシナコトハ枝葉的ナ問題デアリマスカラ、餘リ申シマセヌガ、ヤハリ鐵道ノ經濟ガ、實際ニ近イコトヲスル爲ニ整理ヲシテ、斯ウナツタト云フ御方針デアリマスガ、私ハ國有鐵道ト云フモノ、整理ガ、是マデ執リ來ツタ方針ト云フモノハ、各方面ヲ見テ、私設鐵道ノ如キガ出來ル處ナドハ構ハナイ、私設鐵道ガ出來ルノデアリマスカラ是ハ構ハヌデモ宜イ、吾々ノ方ノ國有ニ參リマス、私設鐵道ナドハ一線モ出來ナイ、雪ガ澤山降ルノデ、資本家デ投資スル人ガナイ、サウ云フ處ハ國有鐵道アッテ初テ恩惠ニ浴スルコトガ出來ル

ヤウニナツテ來タノデアリマス、國有鐵道本來ノ精神モヤハリ鐵道ナドノ起シ得ナイ所ニ起シテヤル、サウシテ地方ノ開發、文化ニ浴スルコトヲ普ク及ポスト云フ精神カラ來ツタト考ヘルノデアリマスガ、今回ノ大臣ノ御方針ハ、之ヲサウ云フ風ナ方針ニハ至ラズシテ、唯財政ノ上カラ、鐵道財政ノ上カラト云フ御話デアリマスコトハ、私共ハ本來ノ精神トハ相容レナイモノデハナカラウカト思フノデアリマス、何故此建設費ヲモウ少シ餘計ニ大藏省ニ御要求ニナツテ、之ヲ御取リニナラナカッタノデアルカト思フノデアリマス、經濟、財政ノ立場カラ言ツタナラバ、ウソト之ヲ御要求ナサツタ宜イノデハナカラウカ、田中内閣當時ニ於テハ、是ハ御承知ノ通り澤山建設シタト思フ、削除シタモノハ一線モナイ、唯私共見マスト云フト削除シマシタノハ田名部大知閣一箇所アッタニ過ギナイノデアリマス、併シ是モ亦變更シタヤウデアリマスガ、一線シカナイ、アトハ全部建設シテ地方ガ非常ニ是デ救ハレタ、サウ云フヤウナ状態デアリマシテ、地方民ハ此國有鐵道法案ニ依ツテ、恩惠ト云フモノヲ泌々ト感ジテ來タノガ田中内閣ノ施設デアッタト思フノデアリマス、所ガ今度ハ濱口内閣ニナツテカラハドウデアアルカト

云フト、之ヲ殘ラズ打切ツテシマッタ、色々ノモノヲ調ベテ見マスルト、北海道ニ於テ三ツ削除シタ、著手年度、完成年度ヲ繰延ベタモノハ十三線、北海道ニ對シテ濱口君ガ大藏大臣ノ當時ニ於テ建設ヲシナケレバナラヌト云フト申シタニ拘ラズ、濱口内閣ノシタ所ヲ見ルト云フト、驚クベシコソナニ口約東ガアツケレドモ、實際ハ北海道カラ三線ノ建設線ヲ削除シ、十三線ヲ繰延ベタ、斯ウ云フトヤツタノデアリマス、東北六縣デハ濱口内閣ニ於テハ追加ガ九線、繰上線ガ四線、所ガ今度ハ齋藤内閣ニナツテハ、全ク狀況ヲ一變シテシマツテ、此方針トハ違フヤウニ思フ、是ハ田中内閣トハ全ク違フ、濱口内閣ヨリモ一層酷イコトヲヤツテ來テ、財政上緊縮シテ來テ居ル、從來ノ方針ヲ全ク一變サレテシマツタ、ドウモ完成年度ヲ繰下ゲナイヤウナ程度デアッタト云フ御話デアリマスガ、是ハ經濟集中ト云フ上カラ、非常ニ或處ハ變ヘル、或所ハ打切ツテシマヒ、從來ノ根本方針ヲマルデ覆ヘシテシマハレタヤウニヤラレタト云フコトハ、鐵道財政ノ上カラト云フ御話ガアルガ、吾々ハ其點ニ付キマシテハ素人デアリマシテ分リマセヌガ、國有鐵道ノ根本方針カラ言ウタナラバ、モウ少シ今ノ齋藤内閣

トシマシテモ、各大臣ハ多少皆地方ニ對シテハ、此匡救事業トシテ臨時議會ノ政友會等ノ決議ニ依ッテ、ソレノヤツテ來テ居ル、二億萬圓モ此地方ノ土木匡救事業費等ニ對シテ農林省ト相俟ッテ出シテ居ル、斯ウ云ウヤウナ工合ニヤツテ居ル時ニ、何故鐵道ノミ縮小主義ヲ採ッテ、地方ヲ賑ハシ、地方ノ衰退ヲ恢復スルト云フコトヲヤラナイカ、先般ノ臨時議會ノ如キハドウデアッタカト申シマス、何デモナイ、農村ノ衰退、窮乏、之ヲ救ッテヤルト云フ爲ニ臨時議會ヲ開カレタノデアリマス、米ノ問題ヲ解決シタリ、土木事業ヲ興シテヤツテ居ルニ拘ラズ、鐵道ノミハ全ク其方針ト相容レナイヤウナコトニナツテ居ルト云フコトハ、私共ハ三土鐵道大臣ノ御方針ガ、ドウモソレ程財政ノ窮迫シテ居ルト云フヤウナ状態ニハ私共ニハ考ヘラレナイ、公債デモ起セバ宜イ、公債ヲ起シテ何ガ惡イ、私共公債ヲウント發行シテ、鐵道ノ豫算ニ足リナイ所ハ、公債若クハ借入金ヲ爲スコトヲ得ト云フヤウニ鐵道省ノ法律ガ出來テ居ルノデアリマスカラ、借入マデヤツテ宜イ、公債發行ノ限度ハアリマセウガ、私ハ是ハドウデアリモ議會デ聲明シ、約束シタコト位ハ實行シテ行クコトハ勿論スベキコトデアルト思ヒマスガ、單ニ經濟

ニ囚ハレテ、サウシテ御遣リニナツタト云フコトハ、ドウモ吾々ハ從來ノ御方針カラ見タル三土氏ノ方針トドウ考ヘテモ思ハレヌ、地方ノ衰退ヲ恢復スル爲ニハ、吾々トシテハ鐵道建設、土木工事ハ勿論デアリマスガ、鐵道ヲ建設シテ、百姓ノ賣ル物ヲ高ク賣リ、買物ヲ安ク買ハセル、是ヨリ外ナイ、斯ウ云フヤウナ所ニ行ッタナラバ、農村ノ今日ノ衰退ナント云フコトハ、百姓方面ノ苦ンデ居ルコトハ何デモナイ、鐵道ノ建設ヲヤツテ地方ヲ振興シテ行クト云フコトニナレバ、地方ノ米ガ高ク賣レルシ、材木モ高ク賣レルシ、地方ノ百姓ハ救ハレル、買物ハ安ク買ヘル、是ハ國有鐵道ノ方針ノ上カラ考ヘマシテモ地方ノ鐵道建設ヲ閑却シテ、サウシテ御遣リニナツテ居ルト云フ御方針ハドウモ私ハ——而モソレモ公平デナイヤウニ思ヒマス、鐵道ノ建設線ハ一本モノナイト云フヤウナ、江木君達、濱口内閣ノヤツヤウナ状態デアリマス、今マデ一線ダツテ建設シナイ、殘ラズ削除シテシマツテ、或ハ繰延ベテシマツテ、北海道ノ如キ十三線モ繰延ベラレ、三線ヲ削除シタ、其他東北方面ニモ削除シタ線ガ澤山アッタ、削除シタリ、或ハ繰延シタリ、一律一體ニズツヤツタ、今度ハ豫定線ヲ繰下ゲタ、此鐵道網ナ

ント云フモノハアツテモナクテモ宜イヤウナ御計ヒデアル、ソレデ協贊ヲ御求メニナリマスガ、ドウモ私共其根本方針ニ付キマシテ、財政ノ状態ガ、ドウモソレ迄シナケレバナラヌト云フ状態ニナツテ居ルトハ信ゼラレナイノデアリマス、尙且鐵道大臣ニ於カレマシテハ、ドウシテモ此財政上カラ餘儀ナイト云フ點カラ出ラレタノデアリマセウガ、地方ノ鐵道建設方針ハモウ土木匡救事業デ澤山デアアル、斯ウ云フヤウナ考カラヤラレタコトデアリマセウガ、根本ニ觸レタル御發表ヲ得タイノデアリマス

段々増シテ參ッタノデアリマス、田中内閣ノ頃ニハ前年ニ較ベテ千五百萬圓位増ス豫定ニナツテ居ッタノデアリマス、隨テ益金モ多イシ、建設改良計畫モ多ク立テ、參ッタノデアリマスガ、丁度田中内閣ガ迭々頃カラ御承知ノ通り經濟界ガ非常ナ不況ニ陥リ、鐵道ノ收入ハソレカラ毎年急轉直下ノ勢ヲ以テ減收ニ傾イテ參ッタノデアリマス、昭和三年ガ絶頂デアリマシテ、昭和三年ノ收益ハ五億二千萬圓アッタ、ソレガ昭和七年度ハ四億一千二百萬圓、僅カニ三四年ノ間ニ一億八百萬圓減シタノデアリマス、而モ此間ニ於テ鐵道ハ延長シテ居リマシテ、營業線ハ延ビテ居リマス、千七百程延ビテ居ッテ、逆ニ收入ハ一億八百萬圓減ッテ居ル、即チ鐵道ノ延長ニ對シテハ二割以上減ッテ居ルノデアリマス、隨テ昭和三年ノ益金トシテ改良費ニ繰入レラレル豫算ハ一億三千八百萬圓デアッタノデアリマスガ、ソレガ本年ノ豫算デ御承知ノ通り、昭和八年度ハ僅カニ四千七百萬圓、斯ウ云フヤウニナツテシマッタノデアリマス、鐵道ノ固定資本ニ對シマシテ、收入状態ヲ見マスト云フト、昭和八年度ノ豫定デハ僅カニ四分一厘ニシカナラヌ、利子ナドモ國債ノ利子、減債基金ナド皆差引カズシテ、固定資本ニ對シテ四分一厘

○三土國務大臣 只今ノ御質問ヲ承リマシテ、根本問題ニ付キマシテ先ヅ以テ了解ヲ得ナケレバナラヌト思ヒマスガ、田中内閣ノ時分ニ丁度私ハ大藏大臣デアリ、小川君ガ鐵道大臣デ、鐵道ノ建設計畫ニ付キマシテ公債發行豫定等モ贊成致シテ、アノ計畫ヲ立テタノデアリマスガ、其頃ト今日トハ鐵道ノ經濟状態ガ非常ニ違ッテ參ッタノデアリマス、鐵道ノ收入ハ鐵道國有以來、歐洲戰爭ガ始マリマシタ大正三年ノタツタ一年ダケガ前年度ニ對シテ減收ニナリマシタ、ソレモ僅カニ百何十萬圓ト云フ減收デアリマシタガ、ソレダケハ除外例デアリマシテ、其他ハ二十數年間毎年前年度ノ收入ヨリモ

ニシカ付カナイノデアリマス、是カラヤッテ行キマス鐵道ヲ見マスト云フト、其四分一厘ノ割合ヲ保ッテ行ケルヤウナ鐵道ハ餘計ハナイ、私ノ見ル所デハ僅カニ四線シカナイ、餘ハ皆ヤリ掛ッタカラ完成シナケレバナリマセヌガ、是ガ出來レバ出來ル程營業費ハ殖エテ參リマシテ、收入ハ上ッテ來ナイ、斯ウ云フ狀況ニナッテ參ッタノデアリマシテ、田中内閣當時ト今日トハ非常ニ事情ガ違フ、ソレヲ田中内閣ノ當時ノ儘デヤッテ行カウト云フコトニナリマスト、洵ニ憂慮スベキ結果ガ起ルノデアリマス、ソコデ先刻申シタ通り、先ヅ第一ニヤリ掛ッタモノハ早ク完成シテ收益ヲ上ゲル、固定資本ヲ成ベク寝カサヌヤウニスルト云フ方針ヲ執リマシテ線上ゲ致シタノデアリマス、サウ云フ譯デアリマスノデ、田中内閣當時ノ計畫ノ通りヲ今ヤッテ行クト云フコトハ、絶對ニ不可能デアル、ソコデ已ムヲ得ズ斯ウ云フヤウナ改定ヲ致シタノデアリマス、ソコデ先ヅ完成年度ヲ延バサヌト云フ方針デ參ッタノデアリマスガ、完成年度ヲ延バシテ線延ベマシタモノハ僅カニ三線シカナイノデアリマス、即チ島根縣ノ濱田今福、八田君ノ所ノ喜多方、日中、ソレカラ秋田

縣ノ前郷矢島、此小サイ線三ツダケガ完成年度ガ線延ニナッテ居リマス、其他ハ豫算ノ形ノ上デハ完成年度ハ線延ベニナッテ居リマシテモ、實際ニ於テハ寧ロ資本ヲ増シテ線上ゲタノデアリマス、唯先刻申ス通り、是マデノ豫定經費ヲ其儘出シテモ尙且ツ線延ノ形ニナル、御手許ニ差上ゲタ豫算年度割變更要旨ト云フモノヲ御覽ニナリマスト分リマスガ、ソウ云フ譯デアリマシテ、計畫ヲ變更スルコトハ已ムヲ得ナイ、ソレカラ昨年來時局匡救ノ爲ニ内務、農林等デハ皆土木費ヲ計上シテ、公債財源ニ依ッテヤッテ居ルノニ、鐵道ハ何故サウセヌカト言ハレマスガ、鐵道ハ一般會計ト違ヒマシテ特別會計デアリマス、公債ヲ發行スレバ自己ノ收益ノ中カラ之ヲ支拂ッテ行カナケレバナラス、農林、内務等ノ土木事業ト云フモノハ租稅負擔デアリマシテ、是ハ公債ヲ以テ支拂致シマシテモ、其元利拂ハ一般會計デ拂フノデアリマス、國民ノ租稅負擔ニ依ルノデアリマスガ、鐵道ハサウ行カナイ、鐵道ハ國家ガ一ツノ事業ヲヤッテ居ルノデアリマシテ、自己ノ收益ニ依ッテ元利ノ償却ヲシナケレバナラス、元利ノ償却ノ見込ガ立タヌト公債ハ發行出來ナイ、故ニ鐵道ヲ以テ時局匡救ノ事業ヲヤルト云フコトハヤ

レナイノデアリマス、今度線上ゲタモノハ時局匡救ノ目的デハアリマセヌケレドモ、線上ゲタ爲ニ其方面ニ仕事ガ多ク行クコトニナリマスト、反射作用トシテ其邊ニ金ガ落ち、是ガ延イテ其地方ヲ潤スト云フコトニナリマス、潤スコトヲ目的ニシテ鐵道計畫ヲヤッタラ大變ナコトニナル、ソレハ出來ナイノデアリマス、公債ヲドク〜發行シテヤレバ宜イデヤナイカト言ハレマスタ、公債ヲ發行スルニ付テハ元利償却ヲ考ヘナケレバナラス、然ルニ右申スヤウナ事情デ、收益歩合ハ段々減ッテ來ルモノト考ヘナケレバナラス、是ハ獨リ我國ノミナラズ、世界各國皆同様デアリマス、先進國ノ最近ノ趨勢ヲ見、將來ヲ推定致シテ見マスト云フト、鐵道計畫ニ付テハ餘程考ヘナケレバナラス、亞米利加ノ如キハ三十萬哩以上ノ鐵道ヲ持ッテ居リマスガ、其鐵道ハ今殆ド全部無配當デアル、「レール」ヲドク〜「振ギ取ッテ、自動車ニ變ヘテ居ルト云フヤウナ狀況デアリマス、三十萬哩以上ノ鐵道ヲ持ッテ居ッタ亞米利加ニ於テ、昨年各鐵道會社ガ新タニ客車ヲ購入シタノハ僅ニ十一臺シカ購入シテ居ラス、ソレ位亞米利加ノ鐵道ハ行請ッテシマッテ居ル、英吉利ハ鐵道ガ成立タヌノデ、到頭ヘコタレテ四會社ニ合併シ

テシマッタ、ソレデモ昨今非常ナ不況ニ陥テ居ル、佛蘭西ハ御承知ノ通り三分ノ一ハ國有デアアルガ、其國有鐵道ガ缺陷ヲ生ジテ、一般會計カラ補填シナケレバナラス、ソコデ財政計畫ノ變更ノ爲ニ先達ハ内閣ガ更迭シタ、斯ウ云フ場合デアリマスカラ、ソレヲ考ヘテ見マスト云フト、先ヅ此數年間ノ收入ノ激減ハ經濟界ノ不景氣ト云フコトガ主因デアリマスケレドモ、同時ニ又港灣ノ修築ガ段々完成シテ來、「モーター・ボート」見タヤウナ輕便ナ船ガ使ハレ、自動車ガ段々發達スル、斯ウナッテ參リマスト云フト、鐵道ノ荷物ハ餘程自動車ヤ船ニ奪ハレテシマフコトヲ考ヘナケレバナラス、故ニ東北地方ノヤウナ雪國ハ別デアリマスガ、平野デ自動車ヲ以テヤレルヤウナ短距離ノ所ハ自動車デヤル方ガ宜イト云フノデ、自動車計畫ヲ昭和八年度カラ本格的ニ始メマシタ、先ヅ三年間ニ千七百料程自動車デヤッテ見ル、自動車デヤリマスニハ、永久ニ自動車デヤルカ、或ハ自動車デヤッテ見テ、貨物旅客等ノ輸送狀態ヲ見テ、鐵道ノ必要ガアレバ鐵道ニ變ヘル積リデアリマス、併シ短距離ハ大抵自動車デ濟ムヤウニ思フノデアリマス、自動車モ是迄ノ自動車デアレバ洵ニ不完全ナモノデアリマスケレドモ、段

段ニ各國ノ狀況ヲ見マシテモ、自動車ハ日進月歩ノ勢ヲ以テ進歩致シマス、鐵道省ガ今度ヤラウト言ヒマスノデモ、「バス」ノ外ニ五噸車ノ「トラック」ヲ二臺添ヘル、或ハ三臺、四臺ニナリマセウ、サウナツテ來レバ、不便ナ地方ハ自動車ノ方ガ寧ロ宜クハナイカト私共考ヘテ居リマス、自動車ニ付キマシテハ色々計算シテ居リマスガ、道ヲ擴ゲル、或ハ待避場ヲ造ルト云フヤウナコトニ付テ、鐵道省ガ三分ノ一ノ補助ヲスルト見マシテモ、自動車ヲ以テ始メルマデノ經費ハ、鐵道建設費ノ一箇年ノ利子ノ平均七割位デ出來ルノデアリマス、例ヘバ百萬圓ノ鐵道ヲ架ケルトスレバ、一箇年ノ利子ハ五萬圓バカリデセウ、其五萬圓ノ七割、三萬五千圓デ出來ルノデアリマス、自動車ハ何處ヘデモ持ッテ行ケマスカラ、若シ自動車デヤツテ居ル所ニ鐵道ノ必要ガ起レバ、之ヲ外ヘ廻シテモ宜シイノデアリマスカラ、先ヅ自動車デヤツテ見ルト云フヤウナ所カラ、短距離ノモノデ、自動車デヤリ宜イヤウナ所ハ打切ツタノデアリマス、豫算カラモ外シテ見タノデアリマス、サウシテ自動車ニ變ヘル方ガ地方ニモ便利デアリ、又時勢ニモ副フモノデアリ、鐵道ノ財政ニモ都合ガ好イト云フヤウナコトカラ、先ヅ此財政計畫

ヲ變更致シタノデアリマス、此際鐵道ノ今マデ計畫シタモノヲ金ガ足ラナケレバドンドン公債ヲ發行シテヤレト云フコトハ、實際ノ鐵道ノ前途ヲ考ヘテ參リマス、サウ簡單ニハ參ラヌノデアリマス、此邊ノ事情ハ十分御諒承ヲ願ヒマス

○八田委員

只今鐵道大臣カラ財政上ノ見地カラノミ御話ガアツタノデアリマスガ、

此鐵道ノ益金ヲ以テ公債ノ利子ヲ支辨シナケレバナラヌト云フヤウナコトハ、是ハ國ノ方針ノ上カラ變ヘルコトガ出來ルコトデアリマス、今日ノサウ云フコトハ法律ヲ改正シテ行ケバ出來ナイコトハナイ、一般會計デヤハリ公債ヲ起スト云フコトニシテ出來ナイコトハナカラウト思ヒマス、根本ノ方針ニ於テ私ハ建設ヲ爲スガ、其建設コト對シテ色々改廢ヲ行ウテ行クト云フ趣旨ハ分リマシタガ、吾々ノ考デハ國有鐵道ト云フモノハ、普ク文化ノ施設ノ上ニ於テ不公平デナイヤウニセシムル上カラ、社會政策ノ上カラ考ヘテ斯ウ云フ政策ガ現ハレタモノデアラウト考ヘテ居ル、デアルナラバ今ノ不幸ナ、自動車ノ出來ナイ所ニハ、先ヅ建設方針ヲ執ツテ、ウント建設シナケレバナラヌ、所ガソレガナツテ居ラナイ、ドウモ私ハ大臣ノ御話ニナルコトニ對シテ御贊成申上

ゲルコトガ出來ナイノヲ非常ニ残念ト存ジマス、サウ云フ方面ニハ特ニ斯ウ云フ施設ヲ爲シタト云フナラバ聽エルケレドモ、サウデナイ、私共ノ考ニ於キマシテハ、私ハ元ノ仙石鐵道大臣ヲ思出スノデアリマス、仙石鐵道大臣ハ私ハ親父以來私交上非常ニ懇意ノ方デアツタ、ソレデ私ハ會津方面ノ鐵道ナドヲ架ケテ貫フコトヲ仙石サンニ頼ンダコトガアル、黨派ハ違フケレドモ、鐵道ヲ大ニ建設スルコトニ付テハ、アナタニヤツテ貫ハナケレバナラヌト言ツタ所ガ、仙石サンハ、山ノ手ニ鐵道ヲ架ケルト云フコトハ餘程困難デアル、僕ハ地方鐵道ハ大嫌ダ、是ハ丁度人間ノ心臓ノヤウナモノデアルカラ、心臓ヲ丈夫ニシナケレバナラヌ、心臓ヲ丈夫ニスレバ身體ガ丈夫ニナル、國家ガ發達スルノデアルカラ、先ヅサウ云フ方針ノ下ニ、改良費ノ方ニ使ツテ都市中心主義ニスル、心臓ヲ丈夫ニスルト云フヤウナ議論ヲ以テ、俺ハ地方鐵道ハ大ニ反對デアルト云フヤウナコトヲ仰セラレテ、折角吾々ノ陳情シタモノヲ遂ニ三年間繰延ベラレタノデアリマス、近頃社會政策トカ何トカ申シマスガ、社會政策ノ上カラ申シマス、私ハ多ク都市中心主義デアルヤウニ考ヘテ居ル、都市ヲ中心トスル、心臓ヲ丈夫ニス

ルコトガ必要デアルカラ、東京市ノ復興ニ對シテハ六億萬圓モ出シタ、之ヲ三土サンアタリガイカスト云フノデ、一億萬圓減ラシテ五億萬圓ダカニシタヤウデアリマスガ、臺灣銀行ヲ救フ爲ニ二億萬圓モ出シタ、又特別融資トシテ五億萬圓モ出シテ居ル、皆公債デアアル、斯ウ云フ風ニシテ或方面ノ社會政策、資本主義、ソナナ方ニバカリ力ヲ用ヒテ、地方鐵道ノ建設費ト云フモノヲ閑却スルコトハ、ドウモ國家政策ノ上ニ於テ、ソナナヤウニナツテシマッタガ、色々ナコトガアレバ會計法ニ於テ之ヲ直セバ出來ルト思フ、國カラ融通シテ貫ハナケレバナラヌ、斯ウ云フ場合デアルカラ、斯ウダト云フコトガ出來ナイコトハナカラウト思フ、大體ノ根本ノ御方針ニ於キマシテ、サウ云フヤウニ地方ノ鐵道ヲ欲スル爲ニ議會ニ請願ヲ致シ、ソレカラ建議案ヲ幾十回トナク出ス、サウ云フ方面ニハ首ヲ傾ケラレテ考慮ヲ費サレタカモ知レマセヌガ、今マデ何モナイ、請願モナク、豫定線デモナイモノヲグイ／＼上ゲテヤラレルヤウナ状態ヲ見マスルト、ドウモ私ハ鐵道網ト云フモノ、法律上ニ決ツテ居ルコトモ間違ッテ居ルト思フ、ソレカラ又建設費モ間違ッテ居ル、斯ウ云フ風ニ獨斷的ニ按配ヲサレタヤウニ

考ヘラレルノデアリマシテ、ドウモ甚ダ御執リニナル處置ニ於テ、從來ノ改主建從一建主改從ト云ッテドウシテモ建設シナケレバナラス、斯ウ云フヤウナ方針ノ下ニヤッテ來タノト、反對ノ方針デヤラレルヤウニ見ラレルノデアリマシテ、甚ダ此點ニ於テ吾々遺憾ニ考ヘテ居リマスガ、尙且大臣ハ財政ノ上カラ已ムヲ得ナイトシテ、鐵道ノ財政政策ニ於テ從來地方ニ約束シタコトハ果サナケレバナラス、斯ウ云フ意味デ御奮闘サレタコトノナイノハ甚ダ残念ニ思ヒマス、此ノ點ニ於テハ大藏省ニウント建設費ヲ御要求ニナッタモノデセウカ

○三土國務大臣 八田君ノ御説ハ、鐵道ガ

地方開發ノ爲メドン、建設ヲ進メテ行ク、鐵道ノ財政ガ立行カナクナレバ、一般會計カラ補填シテ行ケバ宜イデヤナイカト云フヤウナコトデアリマスケレドモ、是ハ別論ニナルノデアリマス、ソレハ方針ヲ全然變ヘテ掛ラナケレバナラス、サウ云フコトガ善イカ悪イカ餘程考究問題デアリマス、鐵道ノ建設ニ付テ之ヲ租稅負擔デヤッテ行クト云フコトニナリマス、私ハ恐ラク收拾スベカラザルコトニナッテ來ルダラウト思フ、財政上申々許サナイ、先ヅ其善惡ハ別トシテ、今日ノ建前カラ申スト、鐵

道ノ特別會計ト云フモノハ、是ハ自己ノ收支ニ依ッテ、公債ノ元利拂ヲ致シ、或ハ財産狀態ヲ維持シナケレバナラス、改良モシナケレバナラス、斯ウ云フコトニナリマス、ドウシテモ收入ガ減ッテ來レバ、サウ無暗ニ鐵道ヲ架ケル譯ニ行カヌ、公債發行ニ付キマシテモ、私ハ昭和七年度ト八年度ニ廻シタノデアリマス、廻シテ來ルダケヤッテ行カウト云フノデアリマスガ、ヤリマスニモ先刻申上デマシタ通り先ヅ小口カラ片付ケテ行クト云フコトハ鐵道ノ算盤ノ上カラ宜イノデアリマス、事實ハ違ハナイノデアリマス、先達モ本議場デ一例ヲ舉ゲマシタガ、宮城縣ノ石巻カラ女川ニ行ク鐵道、是マデノ計畫デハ僅ニ八哩半位ノモノガ六箇年計畫ニナッテ居ル、ソレヲ今度ズツ著手年度ヲ延バシマシテ、矢張完成年度ハ同ジニナリマスガ、是ナドハヤラウトスレバ二箇年デ出來ルノデアリマス、二箇年アレバ十分出來ルノデアリマスガ、ソレガ方々ノ都合上六箇年計畫ニ割當テタノデアリマシタガ、私ハ今ノ所謂仙山線、仙臺カラ山形ニ行ク鐵道ヲ急イデ餘程ヤリ掛ッテ居ルカラ、之ヲ完成シテ、ソレガ出來テカラ女川ノ方ニ掛ル、斯ウシテモ一向アノ方面トシテハ變ラナイノデ、サウ云フ風ニ計畫ヲ變

更シタノデアリマス
ソレカラ建主改從ト云フコトヲ申サレマスガ、仙石君ナドノ議論ナドハ非常ニ改良ニ重キヲ置カレテ、建設ナドハ出來ルダケ差控エルト云フコトデアリマスガ、私ナドハ改主建從ナドト云フ考ハナイ、現ニ昭和八年度ノ豫算ヲ御覽ニナッテモ建設費ハ四千八百萬圓デアリマシテ、改良費ガ四千七百數十萬圓デアリマス、丁度偶然ニ大體同額デアリマス、改良ヲ如何ニヤラウト致シマシテモ、益金ガナケレバ出來ナイノデアリマス、改良費ヲ公債ニ依ルト云フコトハ、是亦考物デアリマス、益金ガ減ッテ來レバ改良ガ減ル、建設ノ方ハ益金ニ關係ナイノデアリマス、公債財源ニ依ルノデアリマシテ、昭和八年度ハ建主デモナク、改從デモナク、丁度同ジ數字ヲ現ハシテ居ル、斯ウ云フ譯デアリマシテ、私ハ決シテ都市集中ヲ考ヘテ居ルノデアリマセヌ、出來ルダケ鐵道ハ普及サシタイ、殊ニ東北地方ナドハ自動車デヤレヌノデアリマスカラシテ、東北地方ハ寧ろ是マデモ相當重キヲ置イテ居リマス、鐵道省トシテハ他ノ地方ヨリモ鐵道ノ建設ニハ重キヲ置イテ居ル、現ニ此既設線ノ地圖ヲ御覽ニナッテモ分リマスガ、東北地方ハ人口ノ稀薄ナ所、物資ガサウ多

クナイ所ニ拘ラズ相當出來テ居ル、之ニ反シテ四國ノ如キハ非常ニ少ナイ、只今問題ニナッテ居リマス愛媛縣ノ所謂南豫方面ノ如キハ、鐵道ト云フモノハ少シモナイ、土佐ノ方ヘ參リマシテモ、高知ト須崎ノ間ニ出來テ居ルダケデアリマシテ、他ニナイ、廣島縣ノ如キサヘモ、海岸ヲ通ッテ居ル線ダケガアッテ、未ダ完成シテ居ルモノハナイノデアリマス、東北地方ハ是マデモ相當重キヲ置イテ居リマスガ、自動車ニ變ヘラレマセヌカラ、ドウシテモ鐵道ニ重キヲ置クコトニナリマセウ、併ナガラ東北地方ニ重キヲ置クト申シマシテモ、餘リニ建設費ガ掛ッテ非常ニ物資ノ集散ノ少ナイ所ハヤル譯ニハ參リマセヌ、是マデノヤウニ非常ニ收入ガ増シテ來ルヤウニナレバ、鐵道全體ノ方針カラ申シマシテモ、他ノ收益ノ多イ所ヲ以テ收益ノ少ナイ所ヲ賄ッテ行キマスカラ、大抵抱ケマスケレドモ、全體ガ減ッテ來レバ抱ケナイ、斯ウ云フコトカラシテ、鐵道ノ計畫ヲ多少變更ヲ致シタノデアリマス、ソレカラ又新ニ加ヘマシタ北海道ノ二線ノ如キモノハ非常ニ建設費ガ安イノデアリマス、建設費ガ安クテ、サウシテ地方開發ノ爲ニハ效果ガアリ、將來利益ガアル、サウ云フモノヲヤル、先刻ノ濱名湖ノ北ヲ廻ル

クナイ所ニ拘ラズ相當出來テ居ル、之ニ反シテ四國ノ如キハ非常ニ少ナイ、只今問題ニナッテ居リマス愛媛縣ノ所謂南豫方面ノ如キハ、鐵道ト云フモノハ少シモナイ、土佐ノ方ヘ參リマシテモ、高知ト須崎ノ間ニ出來テ居ルダケデアリマシテ、他ニナイ、廣島縣ノ如キサヘモ、海岸ヲ通ッテ居ル線ダケガアッテ、未ダ完成シテ居ルモノハナイノデアリマス、東北地方ハ是マデモ相當重キヲ置イテ居リマスガ、自動車ニ變ヘラレマセヌカラ、ドウシテモ鐵道ニ重キヲ置クコトニナリマセウ、併ナガラ東北地方ニ重キヲ置クト申シマシテモ、餘リニ建設費ガ掛ッテ非常ニ物資ノ集散ノ少ナイ所ハヤル譯ニハ參リマセヌ、是マデノヤウニ非常ニ收入ガ増シテ來ルヤウニナレバ、鐵道全體ノ方針カラ申シマシテモ、他ノ收益ノ多イ所ヲ以テ收益ノ少ナイ所ヲ賄ッテ行キマスカラ、大抵抱ケマスケレドモ、全體ガ減ッテ來レバ抱ケナイ、斯ウ云フコトカラシテ、鐵道ノ計畫ヲ多少變更ヲ致シタノデアリマス、ソレカラ又新ニ加ヘマシタ北海道ノ二線ノ如キモノハ非常ニ建設費ガ安イノデアリマス、建設費ガ安クテ、サウシテ地方開發ノ爲ニハ效果ガアリ、將來利益ガアル、サウ云フモノヲヤル、先刻ノ濱名湖ノ北ヲ廻ル

所ハ國防上カラ行クノデアリマスガ、單ニ國防上カラノミデハ私ハ承知シナイノデアリマス、若シ國防上必要ト申シマシテモ、隧道ガアッテ非常ニ建設費ガ掛ルナラバ、御免蒙ルノデアリマスガ、此濱名湖ノ北側ハ非常ニ物資ノ豐富ナ人口稠密ナ所デアリマス、又國防上ニモ必要ナ所デアリマス、サウ云フ譯デ地方開發ヲ兼ネテヤッタ譯デアリマス、是等ヲ公債ニ依ッテヤッテ行クト云フコトハ、果シテ出來ルカドウカ、私確信ガナイノデアリマス、鐵道ノ方針トシテハ、是マデノ方針ニ依ッテヤッテ行クヨリ外方針ガ付カヌノデアリマス、左様御諒承ヲ願ヒマス

○八田委員

マダ午後オヤリニナルデセウ

○委員長

午後マダ繼續致シマス——ソレデハ暫時休憩致シマシテ、午後一時カラ開會致シマス

午後零時四分休憩

午後一時三十分開會

○委員長

只今ヨリ開會致シマス

○八田委員

先程大臣ニ質問致シマシタコトニ付キマシテマダ御答辯ノナカッタコト

ガアリマス、ソレヲ御聽キシテ更ニ伺ヒタイコトガアル、ソレハ即チ國防上ノ要求カラシテ二俣、豊橋間ニ新建設線ヲ今回追加

シテ茲ニ御提案ニナッタノデアリマス、此建設ノ費用ノ爲ニ、新建設線ト云フモノ、即チ法律ヲ以テ既ニ決定シテ昭和八年度カラ工事ニ著手スベキコトニ相成ッテ居ッタモノヲ、繰延バンシタリ、打切ッタリ、豫算面カラ除イテシマッタリシテ、此線ヲ計上シナクテハナラナイヤウニ今回ナッテ來タノデアリマスガ、私ハ鐵道大臣ニ對シテ、斯ウ云フ風ナ不時ノ事、即チ國防上カラ之ヲヤレト、斯ウ言ハレテヤルコトノ爲ニ、新建設線ヲ見合セタリ——見合スドコロデハナイ、打切ッテシマッタリ、繰延ベテシマッタリ、サウ云フ風ニセザルヲ得ナカッタト云フコトハ、是ハ鐵道ノ豫算ノ上ニ於テ非常ニ遺憾ナコトデアルト私ハ思フノデス、此二俣豊橋間ノ出來ルコトハ、勿論國防上カラ一日モ忽セニスベカラザルモノデアルト云フコトハ、秘密會ニ於テ聞イタ通りデアッテ、ソレハソレレ宜シイ、唯然ラバ鐵道大臣ハ斯ウ云フヤウナ豫期セザルモノガ出來タ爲ニ、新建設セント欲スルモノヲ延バンシタリ、打切ッカリシナケレバナラヌト云フコトナラバ、大臣ハ何故モウ少シ建設費ヲ大藏省ニ要求シテ、法律ノ許ス所ノ線ヲ執行セシムルヤウニ努メテ見ナカッタカ、其點ヲ伺ッテ見タイ、即チ鐵道大臣ハ四千八百萬圓ヲ以

テ非常ニ御手柄ノヤウニ御話モアルシ、吾モ左様ニ感じテ居ッタ、四千八百萬圓アルナラバ、吾々ノ方面ニアル所ノ豫定線ハ昭和八年度ニ出來ルコトニチャント決マッテ居ッタ、四千八百萬圓ノ中ニ含まレテ居ルノデアリマス、然ルニ此新建設線ガアル爲ニ、之ヲ打切ッテシマッタ、延バンシテシマッタ、斯ウ云フヤウニ完成年度ヲ三箇年モ延バンシテシマッテ、ソレヲ體裁ノ宜イ工合ニ、其打切ッタノヲ胡麻化スヤウナ狀況ガ見エルニ至ッテハ、地方民ハ失望落膽シテ、殆ド言フベキ言辭ヲ見出セナイヤウナ悲惨ナ現狀ニ陥ッテ居ル、然ラバ鐵道大臣ハ大藏省ニ對シテモウ少シ此建設費ヲ餘計ニ貰フヤウニ努力シタカ、シナカッタカ、是ハ是デ澤山デアルト思ッテ、斯ウヤラレタモノデアルカ、之ヲ明確ニシテ戴キタイト思フノデアリマス

○三土國務大臣

二俣豊橋間ノ鐵道ハ主トシテ陸軍ノ要求ニ依ッテ、國防上カラデアリマスガ、同時ニ其線ガ地方開發ノ爲ニ良イ線デアルカラ入レテアルノデアリマス、是ハ僅カニ三百萬圓足ラズデアリマシテ四箇年計畫デアリマスガ、是ガ一ツ入ッタ爲ニソレニ相當スルダケ鐵道建設ノ材料ヲ増ス、ソレダケ公債ヲ多ク要求スルト云フコトハ初メカラ致サナカッタノデアリマス、大體

カラ行クノデアリマスルカラシテ、鐵道建設費ハ先ヅ八百萬圓ダケ増セバ適當ダラウト云フコトニ考ヘタノデアリマシテ、鐵道建設計畫ノ改定ト云フコトハ、大抵午前ニモ申上ゲマシタ通り、他ノ方面カラ之ヲ熟慮致シタノデアリマシテ、之ヲ一ツ入レタ爲ニ他ノモノヲ外シタト云フ譯デハナイノデアリマス

○八田委員

三百萬圓ト云フ爲ニ別ニ變更シナイト云フ御話デアリマシタガ、吾々ノ方面ノモノハ、昭和八年度ニ於テ計上ニナッテ居ル費用ト云フモノハ、極ク僅少ナモノデアリマス、僅カニ三十萬圓バカリ、年度割ノ費用ハサウ云フ風ニナッテ居ル、即チ此濱名湖ヲ周ル新線ノ爲ニ斯ウ云フコトニナッタコトニ付テ、何トカ努力ヲサレナカッタト云フコトニ付テハ私共ハ甚ダ遺憾ニ感じマスルシ、又私モ北海道方面ノコトニ付テモ、昨日寧ロ私カラ斯ウダラウト云フコトヲ追窮シテ、北海道ニ對シテハ特別會計ニ依ッテ六朱ノ補助ヲスルコトニ、昔大正二年カラ——ト思ッタガサウヂヤナイ、濱口君ガ大藏大臣ノ頃ノ申合セデアリマス、ソレデ今鐵道大臣ガ言ハレタヤウニ、斯ウ云フ理由デ特ニコッチノ方ハヤッタ、サウ云フ話ヲ寧ロ政府委員カラ言ウテ貰フ爲ニ私ハ質

問シテ譯デアリマス、北海道方面ニ對スルコトハ、吾々地方開發ノ上カラ見テ洵ニ宜シイコトデアルト思ヒマス、併シ濱口君ガ若槻内閣ノ頃、其ノ當時ニ於キマシテハ即チ斯ウ云フ申合セヲシテ補助シテ居ルガ、總理大臣トナッテ江木君ガ鐵道大臣ニナリマスト、北海道ハ建設ヲシナイ、一ツモ建設シナイデ、サウシテ先程申シタ通り十三條線延ベテシマッテ、三線ヲ削除シテ居ル程北海道方面ニ對シテハ、其取扱方ニ於テハ自分等ガサウシナケレバナラヌト云フニ拘ラズシナカッタノデアリマス、削除シテシマッテ居ル、サウ云フ程矛盾シテ居ルコトヲヤッテ居ル、然ルニ今回鐵道大臣ハ北海道ニ向ッテ特殊ノ施設ヲセラレ、即チ建設費ノ中ニ於テ、四千八百萬圓ノ中カラ北海道ニ對シテハ少シモ線延ベタモノハナイ、完成年度ヲ線延ベタモノハナイ、著手年度ノ昭和九年ヲ昭和十度ニシタト云フニ過ギナイ、昭和八年度カラ著手スルコトニナッタモノガ四線アル、豫算面ニナカッタモノヲ、而モ二線ヲ追加シテヤルト云フ程取扱上ニ於テ異ナルダケノコトヲ爲シタト云フコトハ、即チ建設方面ニ對シテ地方開發ノ上ニ於テ三土サンハ如何ニ熱心デアルカ、即チ政友會ノ從來ノ傳統的ノ精神ヲ北海道ニ向ッテ發揮シタモノデアッ

テ、是ハ宜シイ、斯ウ云フヤウニシナケレバイカヌ、斯ウ吾々ハ見ルノデアリマス、併シ四千八百萬圓ノ取扱ニ向ッテ斯様ニヤラレルナラバ、此方ノ方ニ於キマシテ拵ヘナケレバナラヌト云フ時ニ於テ、内地ノ方面ニ付テモウ少シ建設豫算ヲウント追加シテ行カナケレバ公平デアルト云フ譯ニハ行カナイ、江木君ノヤッタノハ私共カラ見マスト全ク公平デアル、一線モ建設シナイ、吾々ノ方モ打切ラレテ居ル、四年延バサレテ居ル、ソレデ今度コソハ出來ヨウト思ッタ時ニ、三土サンノ時ニナッテ又延バサレタ、是ハ鐵道ヲ欲スル地方ニ對シテハ、民政黨以上ノ罪惡ヲヤラレタ状態ニ遺憾ナガラ三土サンノ方ハサウナッテ居ル、斯ウ云フ風ナ方面ノ取扱方ニ於キマシテ吾々ハモウ少シ建設費ノ上ニ於テ努力サレタナラバ出來ナイコトハナカッタラウト思フ、斯ウ云フ風ニヤラレタノハ甚ダ遺憾デアッテ、北海道ニ對シテハ從來ノ御方針ノ通りオ遣リニナッタ、是ハ宜シイ、然ラバ内地ノ方面モ何故モウ少シ斯ウ云フ風ニヤラレナカッタカト云フコトヲ思フノデアリマス、之ニ付テ私ハ同ジ事ヲ言ッテ居ルヤウデアリマスガ、更ニ此見地カラシテ私ハ鐵道大臣ニ伺ヒタイト思フコトハ、東北方面ハ自動車デハイカヌ、

雪ノ降ル天地ニハ自動車ハヤレナイ、斯ウ云フ御話デアリマスガ、ソレハ大層宜イコトデアル、然ルニ何故サウスルカト云フニ、雪ノ天地ニハ自動車ハ勿論利カナイ、山ノ上ハ雪デ自動車ハ通レヌ、サウ云フ所ニハ自動車計畫ハヤラナイ、斯ウ云フコトヲ先程モ御論ノ中ニアッタヤウデアリマスルガ、然ラバ其自動車ヲヤラナイ代リニ鐵道ヲ促進スル必要ガアル、自動車ヲヤラナイ代リニ他ノ方面ニ於テソレヲ償フダケノコトヲヤラナケレバ本當ノ公平オ遣リ方デハナイト思ヒマスガ、雪ノ降ル天地ニ對シテ自動車ヲヤラナイト云フコトハ、勿論是ハ賢明ナ措置トシテ當然デアリマス、ソレヲヤラナイコトハ宜イガ、然ラバシナイ代リニ何カ別ノコトヲシタカドウカ伺ッテ置キタイト思ヒマス

雪ノ降ル天地ニハ出來ルダケ早く完成スル、未著手線デ以テ少シ延バシテモ構ハヌノハ延バスト云フ風ニヤッタノデアリマシテ、北海道ノ線ノ如キハ、是モ度々申上ゲマシタ通り北海道ハ非常ニ建設費ガ掛カラヌ、相當利益線デアリ且ツ地方ノ開發ニ必要ナモノデアリマス、八田君ノ所ノ米澤ニ行ク鐵道ト云フモノハ餘程研究ヲ要スル問題デアル、東北地方ニ於キマシテモ、段々今ヤッテ居ルノデアリマシテ、線延ベタト申シマシテモ極メテ一部分ノ小サイモノバカリ少シ線延ベタノデアッテ、花卷線ハ大キイノデアリマスケレドモ、其他ハ小サイモノヲ線延ベタノデアリマス、就中八田君ノ所ガ度線延サレタコトハ御氣ノ毒デアリマスガ、併シナガラ之ヲ米澤マデ抜クト云フコトニ付テハ確信ガ付カナイ、モウ少シ研究シテ見タイト思ヒマス

○三土國務大臣 鐵道ノ建設ニ付キマシテ

ハ地方ノ分布ノ公平ト云フ一點張カラ考ヘラレヌノデアリマスガ、若シ地方ノ公平ト云フコトヲ言ヘバ東北地方ハ先刻申ス通り相當出來テ居ッタノデアリマス、然ラバ足踏シテ、出來テ居ラヌ方ニ行カナケレバナラヌト云フコトニナルノデアリマス、サウ云フ見地カラノミ考ヘテ居リマセヌ、大體ニ於テ未成線デ著手シテ今マデ相當金ヲ入

○八田委員 是ハ大臣ガ非常ニ工事費ノ掛

カル所ニ對シテハ、假令鐵道豫算ニ計上シテアッテモソレハヤラナイ、見合セル、斯ウ云フ御精神ハ是ハダグイ國有鐵道法ノ精神ト全ク相反スルモノデアル、是ハ山々シイ大事デアル、一般國民ニ對シ既ニ聲明シテ國有鐵道法デ以テヤルト云フコトヲ言ウテ居ッタケレドモ、實地ニヤッテ見ルト嶮シイ

所デアッテ、斯ウ云フ所ニ架ケルコトハ考ヘ物デアアル、ソレヲヤラナイト云フヤウナコトハ、是ハドダイ政策ヲ異ニスルモノデアアル、私ハドウモ三土サンガサウ云フ言葉ヲ御吐キニナリ、經費ノ掛カラヌ所ヲヤルト云フコトヲ殆ド獨自、一個ノ見解ヲ以テ之ヲ御造リニナルト云フコトハ、私ハドウモ御造リニナル上ニ於テ公平ナ考デハナイト思フノデアリマス、是ハ議論デアリマスガ、又私ノ方ノ鐵道ヲ仰シヤッタガ、是ハ一本デアアル、會津ノ地方カラ越後ノ小出ニ通ズル線モ是ハ鐵道網ニハ這入ッテ居ナイガ、架ケナクテハナラヌト云フノデ小川鐵道大臣ガ之ヲ鐵道網ニ入レテ呉レタ、ケレドモ貴族院ニ行ッテ審議未了ニナッテシマッタ、一線ダケデハナイ、圖面ヲ見テモ分ル、會津ノ地方ハ雪ノ降ル所デアッテ金ガ餘計掛カルト云ッテ一本モ出來ナイ、私ハ幾度カ地方開發ノ爲ニ私設鐵道ヲヤラウト欲シタケレドモ、當局ノ方カラ會津ノ鐵道ハヤラセナイ、圖面ヲ見レバ分ル、南會津ト云フ一郡ハ面積百四十方里アルノデアリマス、三土君ノ香川縣ヨリハ三十一方里モ大キイ、其處ニ一本モ鐵道ガナイ、斯ウ云フ所ニ鐵道ヲ架ケラレルコトガ國有鐵道法ノ精神デアラウト

吾々ハ信ジテ居ル、私ハ自分ノ地方ヲ開發スル爲ニ今日マデ政友會ニ這入ッテ健闘シテ來タ、全ク儲カラナイ鐵道、ソレナ鐵道ハ架ケナイト云フヤウナ考ヲ有ッテ居ラレル根本ノ御精神、經費ガ掛カラナイカラ其處ヲヤル、斯ウ云フヤウナ選擇方針ヲ執ラレルト云フコトハ、是ハ國有鐵道法ノ意味ヲ成サナイモノデアアル、圖面ヲ見レバ分ル、私設鐵道ハコンナニアル、斯ウ云フ會津邊リノ私設鐵道ノ出來ナイ所ヲヤラナケレバナラヌ、金ガ掛カルカラヤラヌト云フナラバ何時マデ經ッテモ出來ナイ、之ヲ開發スル上カラ申シマシテモ、三土サンノ言ウテ居ル米澤ニ達スル鐵道ハ山ガ峻シイ、金ノ掛カル鐵道デアアル、見込ガナイト云フ口吻ヲ御漏ラシニナルコトハ是ハ議會ノ決議モ無視スルト云フコトニナル、私ハ請願モ十六年來ヤッテ居ル、而シテ地方民ハ之ニ熱狂シテ居ッタガ、ソレヲ田中内閣デ決メテ居ッタノヲ、江木ト云フ鐵道大臣ガ出テ之ヲ繰延バシテシマッタ、ソレダカラ地方民ハ困ッテ居ル、資本ヲ投ジ色々ヤッタニ拘ラズソレガ出來ナカッタカラ、非常ナ不便ヲ感ジテ居ル、曩ノ臨時議會ニ於テ名川鐵道政務次官ニ此事ヲ聞イテ見タラ、昭和八年度豫算ニ載ッテ居リマス云フ、其速

記録ヲ地方ノ者ニ見セタラ非常ニ喜ンデ色々施設ヲ爲シテ居ッタノデアリマス、ソレヲ將來金ガ掛ルカラト云フノデ廢メテシマウト云フコトハ、實際議會ノ決議モ何モナイ、國有鐵道法ノ精神ヲ無視シテヤラレルコトデアッテ、私ハドウモ三土サンノ御取計トシテハ納得ガ出來ナイ、隨分政友會出身ノ閣僚ハ地方的ニ活動シテ來テ居ル、文部大臣ノ鳩山君ハ小學校教育ノ教育費國庫補助ニ對シテハ特殊ノ働キヲ爲シテ、地方民ハ非常ニ喜ンデ居ル、雪ノ降ル東北方面ニ對シテハ特殊ノコトヲヤッテ居ルノデアリマス、又大藏大臣ハ米ヲ高クセシメルコトニ付イテ力ヲ盡シテ、豫算案ニ付テ米穀特別會計ナドニ澤山ノ公債ヲ發行セシムルコトヲ許シ、サウシテ秋米ヲ高クシテ地方民ニ其惠澤ニ浴セシメルヤウニシテ、既ニ農村復舊ノ曙光ガ見エテ居ルノデアリマス、然ルニ三土君ニ至ッテハサウデハナイ、吾々ノ信賴スル三土氏ガ東北方面ノ鐵道ニ對シテサウ云フ言辭ヲ吐カレテ、困難ナ所ハ認メナイ、斯ウ云フヤウナ御言葉ヲナサルト云フコトハ、私ハドウシテモ承服出來ナイノデアリマス、地方ノ衰退ハ何故デアアル、ヤハリ今迄ノ政治家ガ黨利黨略デヤッテ來タカラデアアル、東北ノ線ノ如キハ此前打切

ラレテシマッタヤウナ譯デー——雪ノ降ルヤウナ所ニ自動車ヲ以テヤルト云フ馬鹿ナ政治家ガ國政ヲ料理シテ、此東北ノ鐵道ヲ打切ッテシマッタ、吾々ハ之ニ憤慨シテ居ッタガ、三土サンハソレ以上ノ態度ヲ以テヤッテ居ル、三箇年延バシ、四箇年延バシテ漸ク之ヲヤルト云フ時ニナッテ、三土サンハ又之ヲ延バシテシマッタ、サウシテ此線路ハ將來見込ガナイカラ打切ッタト云フコトハ何タルコトデアアル、私ハ平常信賴シテ居ル三土氏ノ御言辭トモ思ハレナイ、私ハ地方ヲ思ヒ、地方振興ノ爲ニ燃ユルガ如キ熱情ヲ以テ盡力シテ居ル、何等黨利黨略、私利私欲ヲ以テヤッテ居ルノデアリ、地方ヲ知ラナイ政治家ナドガ、雪ノ降ル地方ニ自動車ナシカデ宜シイト云フ馬鹿ナ錯覺ノ觀念デヤッテ居ルコトヲ私ハ悲ムノデアアル、先程申シタヤウニ地方鐵道ニハ反對デアルト云フコトデ、東北地方ナドハ繰延バサレテ居ル、サウ云フ風ニヤレバ私ハ一本モ建設シナイト云フヤウニシタラ宜イト思フガ、豈圖ンヤ北海道ニハ二線モ許シ、岩手縣ニハ三線モ許シテ居ル、アナタノヤッテ居ルコトハサウ云フヤウニ非常ニ不公平ガアルト私ハ思フ、ソコデ三土サンノ根本的ノ御考ニ於キマシテ、議論スルヤウデアリマスガ、ド

ウモ東北方面ノ建設ニ對シテ熱心デナイコトヲ遺憾ト思ヒマスケレドモ、非常ニ御熱心ナモノデアリマセウカ、一寸御伺致シマス

○三土國務大臣

私ハ鐵道國有ノ精神モ能ク辨ヘテ居リマスシ、政友會ノ傳統的政策モ能ク存ジテ居ルノデアリマス、八田君ニ度々諒解ヲ求メルノデアリマスガ、鐵道ハ特別會計デアッテ、國家ガ一ツノ事業トシテ居ルノデアッテ、租稅負擔トハ全然關係ガナイト云フコトヲ先ヅ頭ニ置イテ戴キタイ、ソコデ鐵道ノ全體ノ收入ガ多イ場合ニハ餘程不引合ナ鐵道デモヤッテ行ケル、所ガ昨今ノ如ク鐵道收入ガ非常ニ減退シ、將來ヲ推定シテ見ルト云フト、運輸交通機關ノ發達ニ依ッテ鐵道ガ侵略サレルト云フ趨勢カラ考ヘマス、餘リニ建設費ガ掛ッテ、サウシテ輸送ノ貨物ナドモ少イ、利益ガ非常ニ少イト云フヤウナ鐵道ヲ架ケルト云フコトハ中々考物デアアル、下手ヲヤリマス、鐵道特別會計ヲ破産ニ導ク惧ガアル、斯ウ云フコトカラ先ヅ算盤ヲ探ッテ見テ掛ラナケレバナラス、所ガ不幸ニシテ丁度八田君ノ御郷里ガ鐵道ノ最モムヅカシイ所ニブツ突カッテ居ル、野岩羽線ト言ヒ、或ハ越後ニ行ク鐵道ト言ヒ多年ノ問題デアリマスケレド

モ、今問題ニナッテ居ル所ノ喜多方、日中カラ米澤ニ行ク鐵道ハ、全國デモ最モムヅカシイ鐵道ニナッテ居リマス、是デモ鐵道全體ノ收入ガ増シテ行ケバヤッテ行ケルガ、鐵道收入ガ減テ來タ情況ニ於テハソレガ出來ナイ、サウ云フコトデハ出來ルダケ經費ヲ少クシテヤレル「ルート」ガアルカト云フコトヲマダ研究シテ居ル、サウ云フ譯デアリマスカラ、決シテ一地方ニ對シテハ公平不公平ト云フ問題デハナイ、南會津ノ一郡ダケデ香川縣ヨリモモット大キイト云フノデアアルガ、南會津ノ人口ハ十萬シカナイケレドモ、香川縣ノ人口ハ七十萬アル、サウ云フコトヲ比較シマスト色々ナ問題ガ起リマスガ、兎ニ角國有鐵道ノ根本精神カラ考ヘテ、全體カラ算盤デ出シテ行ケレバヤッテ行ク、斯ウ云フ方針デヤッテ居リマス、決シテ一地方ニ對シテ不熱心デナイト云フコトヲ御承知願ヒタイ

○八田委員

只今熱心ナコトハ熱心ダト云フノデアアルガ、ソレハ現實ニヤルカドウカナッテ來マス、人口論ナドヲ御話ニナリマシタガ、地方ノ現狀カラ見マシテ、私ハ私設鐵道ノ出來ナイ所ニハ、國有鐵道ヲ架ケテヤラナケレバナラス、私設鐵道ガ一本モナ

イ雪ノ降ルヤウナ所ニハ、國有鐵道ヲ持ッテ來ナケレバナラスト思フ、昔カラ此邊ニハ人間ガ澤山居ル、源平藤橘ノ昔カラ平家ノ落武者ナドガ澤山來テ居ル、サウシテ此處カラハ立派ナ兵隊ヲ出シ、立派ナ馬ヲ出シテ居ル、戰爭ナドノ時ニハ一番強イ兵隊、一番立派ナ馬ヲ出シテ居ル地方デアリマス、人口論ヲ言ッテモ水掛論ニナリマス、私ハ是ハ申シマセヌガ、兎ニ角公平ニセシムル爲ニ天惠ノ少イ所ニハ、人力ヲ以テソレヲ補給シテヤルト云フコトガ政治デアアル、アナタノヤウニ唯安イ所ナラ出來ルト云フ、ソナコトハ政治デハナイ、サウ云フ所ニハ手ヲ著ケナイデモ私設鐵道ガ出來ル、寧ロムヅカシイ所ニ國有鐵道ヲ架ケルト云フヤウニシテ、政治ノ力ヲ以テ助ケテヤル、斯ウ云フノガ根本的ノ政治ノ要諦デアッテ、西園寺公ノ如キハ早クモソレヲ豫想シテ、國有鐵道ヲ日露戰爭後ノ國策トシテ政友會ノ總裁ノ時ニヤラレタコトハ、サモアルコト、考ヘテ居ル、此精神ニ對シテ今ハ相反スルコトヲヤッテ居ル、利益ガナイノデ線ガ出來ナイト云フナラ、特別會計ヲ直シタラドウカ、直シテ差支ナイ、直シテ出來ナイコトデハナイ、法律ヲ直スコトハ何デモナイ、即チ帝都復興ノ爲ニ六億圓モ出シテ

居ル、火災保險會社ノ爲ニハ一億八千萬圓モ使ッテ居ル、臺灣銀行ニハ二億萬圓モ使ッテ居ル、震災ノ時ニハ五億圓モ公債ヲ出シテ居ル、斯ウ云フ風ニ國家ハヤル氣ナラ出來ナイコトデハナイ、私ハサウ思フ、ソレヲムヅカシイ所デアアル、道路工事ノ困難ナ所ハヤラヌト云フコトデハ、何ガ政治デアリマセウカ、東北地方ニハ冬ニナルト交通機關ガナイノデ、米ヲ一升十錢デモ賣ッタ方ガ宜イト云フヤウナ憐レナル狀態ノ地方デアリマス、サウ云フ所ニ私ハ鐵道ヲ早ク架ケテヤラナケレバナラスト思フ、ソレカラ又柳津、小出線ノ沿線ノ銀山平ト云フ所ハ開拓スル耕地ガ三千町歩モアル、物資ガ非常ニ多イ、只見川沿岸一體ハ御藏入ト稱シテ居ル位デ其方面ヲ開發スル爲ニハ鐵道ガ必要デアアル、我黨ノ三土サンニ對シテ私ガ斯様ナ言辭ヲ挾ムノハドウモ甚ダ心外千萬デアリマスケレドモ、國策ノ上カラ考ヘテ見ルト云フト、ドウシテモ是ハ論及シテ此事ヲ明ニシテ置カナケレバナラス、私ハ又更ニ東北方面ニ對シマシテ秘密會ニ於テモ一寸觸レタコトデアリマスガ、輸送計畫ノ上ニ於キマシテ、私ハ東北方面ニ對シテハ特ニ早クシナケレバナラス必要ガアルト信ジテ居ル、我田引

水デアアルヤウデアリマスガ、決シテサウデハナイ、日本ノ天地ヲ見ルト、富士山ヲ境トシテ富士山カラ西ハ牛デアアル、東ノ關東一帯、東北ハ皆馬デアアル、ソレカラ九州ノ薩摩ノ方カラズツト宮崎縣、熊本縣ニ馬デアアル、他ニハ馬ハ居ラナイ、牛ノ天地デアアル、戰爭ヲスルニハドウカ、戰爭スルニハドウシテモ馬ガ居ナイト戰爭ハ出來ナイ、日清戰爭ノ當時ニ於キマシテハ、馬ハサウ必要デナカッタ、兵隊百人ニ付テ十六頭位デアッタガ、日露戰爭ニナツテハ、百人ニ付テ十九頭ノ馬ガ要ツタ、歐洲戰爭ニ於テハ、飛行機デアルトカ、自動車デアルトカ、サウ云フヤウナ文明ノ利器ヲ利用シテ居ルカラ馬ハ要ラヌカト言フニ、馬ハ益々入用ニナツテ來テ、十分ノ三即チ百人ニ付テ三三%ノ馬ヲ要スルヤウニナツテ來タコトハ明カナル事實デアリマス、陸軍ニ於テハ國防上ノ點ヨリ之ヲ考ヘ、去ル十月一日ニハ帝國在郷軍人會ニ頼ンデ、馬一頭ニ付キ四錢ノ金ヲ出シテ馬ノ調査ヲサセテ見タ、所ガドウナツテ居ルカト云フト、富士山カラコチラノ方ハ馬デ、西ハ牛ノ天地デアアル、兵馬ノ大權ハ天皇ガ御持チニナツテ居ルコトハ當然デアリマスガ、戰爭ニハ馬ガ必要デアリマス、ソレデ十月一日現在ノ馬ノ現在

數ヲ見マスト、馬ハ統計デ百六十萬頭ニナツテ居リマスガ、其中三十二萬七千三百五十頭ハ北海道デ、東北ガ四十萬九千九百八十八頭デアアルカラ、北海道ト東北デ七十萬頭ニ及ビ、全國ノ馬ハ殆ド東北ト北海道持ッテ居ルコトニナルデアアル、此馬ヲ輸送スルニハ自動車デハ運ベナイ、ドウシテモ鐵道ニ依ッテ早クヤラナクテハナラヌ、私ノ郷里ニハ鐵道ガサツバリナイガ、會津邊ノ馬ハドウナツテ居ルカト言フト、不思議ナル哉第十一師團、即チ三土サンノ郷里ノ方ニ行ッテ居ル、サウシテ戰爭ノ時ニハ、有名ナル木將軍ガ第十一師團ヲ率イテ旅順デア、云フヤウナ大働キヲシタ、今回ノ滿洲事變ニ於テモサウデアリ、上海ノ事件ニ於テモサウデアリマス、馬ハ大抵コチラカラヤツテ居ル、斯ウ云フ工合ニナツテ居ル、滿洲ニ今ハ第八師團ガ行ッテ居リマスガ、以前第二師團ガ働イテ一夜ニシテ奉天ノ張學良ヲ追拂ッテシマッタ、サウ云フ功ヲ成シタノハ第二師團デアアルガ、其馬モ東北カラ行ッテ居ル、斯ウ云フ工合デ早ク馬ヲ送レルカ否カト云フコトハ軍事上大問題デアリマス、此間大本君ガ本會議ニ於テ御話ガアリマシタガ、高知聯隊カラ動員令ガ下ッデ兵隊ヲ送ル時ニ、交通機關ガ完備シナイ爲ニ上海ニ

出動スルノガ大變遲レタト云フコトヲ申サレマシタガ、矢張ソレハ同ジコトデアリマス、馬ノ生産ノ完備シタ上デ戰爭ガ出來ルノデアリマス、馬ノ生産地ノ方面ニ於テハ國防上カラ行ッテモ、早ク此鐵道ノ連繫ヲヤラナクテハナラヌ、ソコニ金ガ掛カルカラ出來タト云フヤウナコトハ、甚ダヲカシナ話デアアル、儲カラヌカラ出來スト云フノハ怪シカラヌ、近畿ノ奈良縣ノ如キハ六百十頭シカ馬ハ居ナイ、其六百十頭ト云フノハ東北ノ一部落ノ馬位ニシカ當ラナイ、和歌山縣ガ二千二十頭馬ガ居ル、アトハ殘ラズ東北方面カラ馬ヲ持ッテ行ッテ戰爭ヲヤツテ居ル、戰爭ニ使フ馬ハ殆ド東北カラ送ッテ居ル、儲カラヌト言ッテ、東北方面ヲ侮辱シテ居ラレルケレドモ、君ノ主張スル方ノ鐵道ハ、山ノ中デ儲カラナイカライケナイト云フ話ハドウモ餘リ聞エマセスト申ス外ナイ

ニ、建設費ノ澤山掛ッタ共割合ニ收益ノ少イ所ハ線延ベスルトカ、變更スルトカシテ、之ニ代リ、利益ノアリ、又建設費ノ少ナイ所ハ入レルヤウニシタング、ソレデ豫定線ニナイモノマデモ入レテヤルヤウニシタング、斯ウ云フ御話デアリマス、ソコデ私ハ不思議ニ思フ例ガ一ツアルノデアリマス、ソレハ非常ニ金ガ掛ルニ拘ラズ、他ノ線路ヲ選ラベバ金ガ少クテ、サウシテ收益ガ多イノニ拘ラズ、豫テカラ豫算ニ計上シテ居ッタ爲ニ、ソレヲ變更スルコトガ出來ナイトシテヤツテ居ル線ガアルノデアリマス、三土サンノヤウナ御考デアレバ、早く三土サンノ御力ニ依ッテソレヲ變更スルノガ當然ヂヤナイカ、又道理アルコトヂヤナイカト思ハレマス、ソレデ其例ヲ舉ゲテ御尋シタイト思ヒマス、ソレハ仙臺ト山形市トヲ聯絡スル線デアリマスガ、是ハ仙山鐵道ト申シテ居リマス、其間ニ川崎町線ト云フノガアリマス、ソレト殆ド竝ンデ居ル豫定線デアリマス、川崎町線ヲ經由シテ、山形ヘ行クト云フコトニナレバ、仙臺ノ方面ハ變ラナイ、山形縣ダケノ話デアリマスガ、山形縣ダケニ於キマシテ、川崎カラ神町ヲ通ッテ山形ニ行クト云フコトニナリマスレバ、建設費ニ於テ三百萬圓利益ニナルノデ

アリマス、サウシテ收入ガ遙カニ多クナルノデアリマス、何故カト言ヒマス、宮城縣カラ山形縣ノ間ニ現在ノ豫算ニ計上シテアル仙山線ナルモノニ付テ言ヒマス、停車場ガ僅カニ山寺ト云フ處ガアルダケデアリマス、此山寺ト云フノハ遊覽地デアリマシテ、山形市カラ僅カニ一里バカリノ處デアリマス、事實上今日乗合自動車ガ頻繁ニ往復シテ居リマシテ、山形縣モ之ニハ十分道路ニ金ヲ掛ケマシテ、遊覽客ノ不便ノ無イヤウニ出來テ居ルノデアリマス、其處ヲ鐵道ガ經由シタカラト云ツテ、別ニ收入ガ増ス譯デハナイノデアリマス、然ルニ神町線ヲ經由シマスト神町カラ山形市マデノ間ニ既設停車場ガ三ツアルノデアリマス、サウシテ神町ト川崎トノ間ニ停車場ガ二ツ出來ルノデアリマス、其間建設費用モ三百萬圓減ツテ、尙且ツ利益ガ非常ニ多クナルノデアリマス、地方ノ人ニ取ツテモ其方ガ澤山ノ停車場ガアツテ利益スル所ガ非常ニ多イノデアリマス、然ルニ何故ソレヲ變更シナカッタカト云フト、一旦豫算ニ計上シタガ爲ニ、ソレヲ變更スルコトガ困難デアルトシテ、到頭其問題ガ解決シ得ナカッタノデアリマス、就キマシテハ三土サンノ御力ニ依ツテ、其線ガ變更出來ナイモノデセウカ、

ドウデセウカ、鐵道省ニ於キマシテモ實狀方面カラ申シマシテ、現在ノ豫定線トシテ豫算ニ計上シテアルモノハ其間ニ大キナ隧道ガアリマスノデ、金ガ掛ルト云フノデ、長イ間躊躇シテ居ッタ、ソレモ無理カラヌコトデアリマシテ、ドウセ今日マデ躊躇シテ居ラレタノデアリマスカラ、思ヒ切ツテ建築費ノ三百萬圓モ安イ、サウシテ收入モ遙カニ數倍モ多イ線ヲ經由ナスツテ如何デゴザイマセウカ、或ハ之ニ付テハ何か他ニ故障ガアツテ實行困難ナノデアリマセウカ、ソレヲ御尋致シマス

○三土國務大臣 此仙山線ハ今清水君ノ御話ノ線モ比較シテ考ヘラレルノデアリマシテ、私が就任シタ時既ニ工事ニ著手シテ餘程進ンデ居ッタノデアリマス、山形ノ方ニ廻ル所ガ問題デアツテ、ソレガ爲ニ少シ遅レタノデスガ、鐵道省ノ豫定ノ通りヤツテシマフト云フコトデ、兩方カラ工事ヲヤツテ、相當進ンダモノデアリマスカラ、變更ヲ許サヌノデアリマス、サウ云フ譯デ變ヘナカッタノデアリマス、其事情ノ詳シイコトハ建設局長カラ説明致シマス

○池田政府委員 仙臺方面ハ既ニ奥新川迄工事ガ出來テ居ルノデアリマス、御話ノヤウニ川崎カラ分岐シテ、神町方面ニ行ク線

路ニ戻ルノニハ、出戻リ工事ガ餘程アリマス、サウ云フ關係デ此川崎方面カラ神町ヘ變更スルト云フコトハ今日ニ於テハ困難デハナイカト思ヒマス

○清水委員 其川崎方面カラ隧道ノ近ク迄行ツテ居ル區間ノ哩數ハ幾ラデアリマスカ、若シ其線ヲ撰ブトスレバ、何哩デアツテ、其費用ハ幾ラデゴザイマスカ

○池田政府委員 距離ハ五軒アリマス、費用ハ只今調べテ居リマス

○清水委員 私ノ調べタ所ニ依リマス、其間ノ費用ハ大シタ費用デモナイ、ソレヲ掛ケタカラト云ツテ損ニナル譯デモナイ、矢張り地方ノ人ハソレダケノ恩恵ヲ受ケルノデアリマス、ソコデ今日ト雖モ川崎カラ神町ノ方ニ至ル鐵道ヲ架ケルコトガ山形市ノ方ニ於テモ損スルコトガ少シモナイノデアツテ、非常ナ利益線ニナル、建設費モ矢張り非常ナ利益ニナルト思フノデアリマス、山形市トシテハ何處カラ仕立テルモ、何處ヲ經由スルモ、仕立驛ハ山形市ニナルノデスカラ、其點ハ山形市トシテハ異議ナイ譯デアリマス、山形縣ト致シマシテハ澤山ノ停車場ノアル方ガ利益デアリシ、而モ平坦線ヲ通ルノデアリマスカラ、現在ノ豫算ニ計上シテアル線ヲ通ツテモ得ル所ハ少シモナ

イノデアリマスカラ、サウ云フ點カラ考ヘテ——唯茲ニ考慮ヲ費サナケレバナラヌト思ハレル點ハ、現在ノ建設線ニ依リマスノト、私ノ主張スル線路ニ依リマスノトデハ、運轉時間ガ僅カ十五分間位違フノデアリマス、ソレハ澤山ノ停車場ニ寄ルノデ已ムヲ得ナイ、其代リ利益ガ澤山アルカラ、時間ガ少シ掛ツテモ商賣繁昌カラ云ツテ已ムヲ得ヌコト、思ヒマス、要スルニ其間ニ無駄ニナル線ガ出來ルト仰ツシヤルケレドモ、ソレハ實際架ケタ所デ地方民ガ潤フノデスカラ、無駄ニナラス、ソレデ又三百萬圓モ建設費ヲ利益スルト思フノデアリマスガ、如何デゴザイマスカ

○池田政府委員 今仙臺方面カラノコトヲ申上ゲマシタガ、山形方面カラモ既ニ山寺迄ハ著手シテ居リマス、今日はカラ變更スルト云フコトハ、其點カラ言フテモ可ナリ工費ガ無駄ニナル點ガ多イカト考ヘマス、ソレカラ運轉時間其他ニ付テハ只今比較スベキ材料ヲ持合セテ居リマセウカ、後刻調べマシテ御答シタイト思ヒマス

○清水委員 私暫ク留守ヲ致シマシテ外國ニ行ツテ居リマシテ、近頃山形ノ方カラ御始メニナツタト云フコトハ聞キマセウデシタ、ソレハ初耳デアリマスガ、其邊ヲモウ一遍

確メタイノデアリマス、愚痴ヲ言フヤウデ
スガ、三土サンガ御出ニナリマシテ、ソレ
カラ此計畫ヲオ樹テニナル時ニ其線ヲ考慮
ニ入レテヤラレタラバ、出来ナイコトモナ
カッタデヤナイカ、今ハ成程益、困難ニナ
テ來タ事情ガアルカモ知レヌ、デ私ノ結論
トシテ今變更出来ナイモノヲ無理ニ變更シ
テ吳レト云フコトヲ申スノデアリマセヌ
ガ、一方ノ利益ノアルベキ線ヲ考慮シタナ
ラバ、變更スルコトガ出来得タモノヲ氣ガ
付カナカッタノデアリマス、ドウ云フ譯デソ
レヲオ遣リニナラナイデ、サウシテ他ノ方
面ノ頗ル不平ノアル所ヲ御拵ヘニナッタノ
カ、何ダカ不公平ナ心持——尤モ三土サン
ノ御精神ハサウ云フ不公平ナ頭デヤッテ居
ラレルトハ思ヒマセヌケレドモ、結果ノ上
ニ於テハドウモ議論ガ一貫セヌデヤナイ
カ、御趣旨ガ一貫セヌデナイカト云フコト
ガ私ノ質問ノ趣意デアリマス

離デテ仙臺ト山形トヲ結付ケル方ニ重キ
ヲ置イタノデアリマス、既ニ工事ニ著手シ
テ居ッタカラ、コッチノ方ハ考慮シナカッタノ
デアリマス

○清水委員 其頃ハマダ山形ノ方カラ全然
架ラナカッタ管デス、三土サンガ就任サレタ
頃ハ私ハマダコチラニ居リマシタカラ、ソレ
ハ確ニ山形カラハ工事ハ始メテ居リマセヌ、
ソレカラ建設當局ノ前ノ當局ノ方々ハ、其
方ガ建設費モ高イシ利益ガ少イカラト、一
名前ヲ指シテ申上ゲマスト御迷惑ニナル
カモ知レマセヌカラ申上ゲマセヌガ、其當
時屢々言明シテ居ッタモノデアリマス、ソレ
デ私ガ遺憾ニ思フノハ斯ウシタコトガ出来
ルナラバ變更ガ出来タノデアアル、唯折角豫
算ニ計上シタモノハ變更セヌト言ウテ、今
日マデ忍ンダノデアアル、若シサウ云フコトガ
出来ルノナラバ何故ヤッテ吳レナカッタカ、
斯ウ云フ問題ガ殘ルノデアリマス、ソレハ
縣民ノ聲デアアルカラ洵ニ私ハ遺憾ニ思フノ
デアリマス、私ハ三土サンノ御精神ニハ贊
成スルノデアアル、贊成スルガ故ニ遺憾ナガ
ラ此點ヲ申上ゲルノデアアル、洵ニ残念ニ思
フ、サウ云フ一ツノ金ノ問題デ、地方ノ大キ
ナ利益ニナル問題ガ長イ將來ニ掛ッテ行ク、
ソレデモ神町川崎線ガ鐵道ノ豫定線ニ入ッ

テ居ッテ、更ニ線路ヲ引張ルコトノ出来ル時
代ガ來レバ宜イケレドモ、私ハ困難ニ思フ
ガ故ニ此言ヲ爲スノデアリマス、サウシテ
又自動車デソレヲ補ハウトスレバ雪國デア
ルカラ、自動車デモ補ヒガ付カヌ、取返シ
ノ付カヌコトヲシタナ、斯ウ云フノデアリ
マス、鐵道ノ立場カラ言ウテモ、縣民ノ立
場カラ言ウテモ、ドチラノ立場カラ言ッテモ
少シモ利益スル所ガ無い、唯單ニ前ニ豫算
ニ決ッテ居ッタト云フ爲ニ無理ヲシテ其處ヲ
ヤッタ、斯ウ云フコトハ千載ノ禍根ヲ貽スモ
ノデアアル、ダカラ三土サンノ今日オ遣リニ
ナル點ハサウ云フコトガアリハセヌカト
云ッテ心配シテ斯ウ御變更ニナルノダラウ
ト思フ、其點ハ私ハ共鳴スル、共鳴スルガ
其精神ニ反スル事實ガ眼ノ前ニアルデハナ
イカ、之ヲ何故早ク氣付イテ下サラナカッ
タ、此點ヲ私ハ愚痴ヲ言フヤウデスケレド
モ申上ゲルノデアリマス、ソレデ自分ガ伺
ヒタイノハ、先程八田君モ言ハレル通りニ
自動車デハ洵ニ不便ダケレドモ、セメテ自
動車ダケデモヤッテ貫ッテ方ガヤッテ貫ハナ
イニ越ス、故ニ自動車デ當分ヤッテ戴イテ、
將來鐵道ノ建設ガ出来ルヤウナ時代ガ來タ
ナラバ、ヤッテ戴キタイ、今カラサウ續イテ
其處ニ澤山ナ金ヲ費スコトモ困難デセウカ

ラ、取敢ズ自動車デヤッテ戴イテ、冬ハ休ム
コトニナリマスケレドモ、是亦已ムヲ得ナ
イ、已ムヲ得ナイガ、其内ニ時期ヲ見テ鐵
道ヲ造ルヤウナ時代ガ來マシタナラバ、架
ケテ戴クト云フコトニ出来ヌモノデアリマ
セウカ、御尋致シマス

○三土國務大臣 今清水君ノ言ハレル線モ
豫定線デアリマス、ソレダカラ將來ノ模様
ヲ見テ考究サセルコトニ致シマス、計畫ハ
先ヅ大體三箇年ノ計畫ニナッテ居リマスカ
ラ、此方面ニ自動車ヲヤルガ善イカ悪イカ
ト云フコトハ尙ホ考究ヲ要シマスカラ、研
究スルコトニ致シマス

○清水委員 三箇年ノ豫定線ト云フモノハ
絶體的デナイデセウカラ、御研究ノ上ニ更
ニ加フベキモノガアッタラ御加ヘニナルコ
トガ出来ルノデヤナイカト思ヒマスカラ、
ドウカ十分考ヘテ戴キタイ、若シソレデモ
御變更ノ出来ルモノナラバ變更ノ方法ヲ講
ジテ戴キタイ、變更ハドウシテモ出来ナイ
ト云フコトナラバ、自動車ノ途ヲ講ジテ戴
キタイノデアリマス

○泰委員長 河上哲太君

○河上哲太君 御邪魔シテ相濟ミマセヌ
ガ、私ガ御伺シタイト思フコトハ、大分大
本君ガヤッタト思ヒマス、故ニ其點ハモウ暇

○三土國務大臣 私ハ最初カラ仙臺ト山形
トヲ成ルベク短距離ニ結ビタイト云フ鐵道
省ノ計畫ヲ是認シテ參ッタ、所ガ問題ニナ
テ居ッタノハ、山寺カラズト廻ル所デ長ク
掛ッテ居ッタノデアリマス、之ヲ決メテ直グ
ニ工事ニ著手サセタノデス、其中ニ此比較
ノコトモ聞キマシタケレドモ、矢張り短距

離デテ仙臺ト山形トヲ結付ケル方ニ重キ
ヲ置イタノデアリマス、既ニ工事ニ著手シ
テ居ッタカラ、コッチノ方ハ考慮シナカッタノ
デアリマス

離デテ仙臺ト山形トヲ結付ケル方ニ重キ
ヲ置イタノデアリマス、既ニ工事ニ著手シ
テ居ッタカラ、コッチノ方ハ考慮シナカッタノ
デアリマス

離デテ仙臺ト山形トヲ結付ケル方ニ重キ
ヲ置イタノデアリマス、既ニ工事ニ著手シ
テ居ッタカラ、コッチノ方ハ考慮シナカッタノ
デアリマス

ガアリマセヌカラ申シマセヌ、唯大臣ノ言ハレタコトガ或ハ誤解ノ原因ニナッテ居リハセヌカト思ヒマスカラシテ、御互ニ茲ニハッキリシテ公ノ席デ誤解ヲ解イタ方ガ宜シイト云フ意味デ茲ニ御尋致シマス、先程カラ伺ヒマス中ニ大臣ガ言ハレタ經濟集中主義ト申シマスカ、經濟主義ト申シマスカ、自分ノ伺ヒマス所ニ依リマス、如何ニモ根本的ニ方針ヲ變ヘテヤッタノデアッテ、恰モ政友會ノ傳統ノ方針ト違ッテ、政友會諸君ノ言フコトガ如何ニモ間違ッテ居ルヤウニ思ハレルノデアリマス、是ハ恐ラク自分ノ間違デアラウト思ヒマシテ、大臣ガ此機會ニハッキリサセルコトガ大臣ノ爲ニ利益ト思ヒマシタカラ伺ヒマシタ結果ニ依リマス、政友會ノ傳統ノ方針ニ反スルノデハナイ、唯特別會計デアルカラ、其特別會計ノ基礎ヲ壞サヌヤウナ風ニ經濟狀態ニ應ジテ取捨選擇シタダケデアルト云フヤウナ御趣意デアッタと思フ、如何ニモ御尤デアリマス、殊ニ豫定線ノ豫算ガ實行シテ見ルト足ラナイ、是ハ財政家デアアル大臣ハ知ッテ居ラレマス通り、日本ノ鐵道事業、内務省ノ土木事業ト云フモノハ、大體豫算ヲ貫フ時ニハ成ベク少ナク計上シテ、實行シタ後ニハ必ず追加豫算ヲシナケレバナラヌト云フノ

ガ今マデノ違方デアッタ、高橋大藏大臣ナド常ニ喧マシク言ウテ居ラレマスカラ、斯ウ云フコトニ付テ御考ヲ下サルコトハ御尤デアリマスガ、唯八田君ノ言ハレタコトデモウ一應ハッキリシテ戴キタイト思フコトハ、私共ガ大臣ト過去ニ於テ色々話シタ所ニ依ルト、今日此處ニ居ラレル方々デ特別會計ノコトヲ知ラヌ方ハ無い、言フマデモナク明白デアリマスガ、斯ウ云フコトヲ時々言フタコトガアル、不況時代ニ於テ金利ガ安ク、又經費ガ安イ、交通機關ノ如キドウセ必要ナモノデアアルナラバ、寧ロサウ云フ際ニハ資金ヲ少々無理ヲ致シテモ金利ガ安イ時ニ、運輸ノ閑散ナ時ニ、隨テ民間ニ土木事業ナド起ラヌ時ニ、政府ガ鐵道ヲ造ッテ置クコトハ、イザ運輸ガ輻輳シテ、金利ガ高クナリ、經費ガ高クナル、斯ウ云フ時ニ民間ト競争シテ而モ運輸ノ輻輳ヲ救フコトガ出來ルト云フコトヲ考ヘルト云フト、一般經濟界ヲ裨益スル上カラ言ウテモ、若クハ安キ交通運輸機關ヲ平生ニ於テ準備シテ、サウシテ交通運輸ノ必要ノ時ニ、既ニ出來テ居ルモノデ間ニ合ハス上カラ言ウテモ宜イコトデハナイカ、故ニ唯儉約シ唯切詰メルト云フコトハ違ッテ居ル、是方寧ロ使ッタル金ノ「エフシエンシー」、即チ教程ヲ上ゲル

所以デアルト云フヤウナコトヲ御互ニ言フタコトガアルト思ヒマス、或ハ大臣ハ言ハナカッタカモ知レマセヌガ、私共ハ其意味ガ寧ロ黨派ノ違ッテ居ル人々ノ所謂消極ト世間ノ言ウテ居ルノトハ違フ、斯ウ云フコトヲ言フタノデアリマシテ、其意味カラ申シマスルト、必シモ特別會計ヲ壞スト云フ意味デハアリマセヌガ、八田君ガ言ハレル通り今日ハ非常時局デアアル、山ノ上マデ「インフレーション」デ、サウシテ或場合ニ於テハ他日必シモ非常ナ重要性ヲ帶バヌ事業ノ行ハレテ居ル時ニ、此臨時非常ナ時機ニ於テ、其意味ニ於テ或程度マデ非常手段トシテ安イ將來必要ナル建設線ヲ造ッテ見ルト云フコトノ御考ヲシ、努力サレタコトガ有ルカ無いカ、斯ウ云フ意味ガ八田君ノ言ハレタコトデアアルト思ヒマスガ、サウ云フトニ付テ私ハ無理ニ爲サイト云フノデハナイガ、御考ガ有ツカカ無カッタカト云フコトヲ伺ッテ置キタイ、ソレカラ經濟集中主義ニ付キマシテ大臣ノ御話ヲ伺ヒマス、此處ハ敷設法ノ委員會デアリマスカラシテ、當然建設ノ方面ガ重キヲ成シテ居リマスカラ、話モ其範圍ニ限ラレルコトハ當然デアリマスガ、唯特別會計ト云フモノ、財政狀態ヲ御心配ニナルナラバ、單ニ建設ノ支出、

建設シタ線若クハ既設線カラ上ル收入關係ノ調ベト云フコトヲ御考ニナル外ニ、私ハ今ノ鐵道ノ經濟ガ非常ニ整理サレ、切詰メラレテ居ルデアラウト思フシ、元來私ハ減俸問題モ非常ニ反對デアリマスガ、私ハ其外ニ經營若クハ建設運轉費總テヲ合セマス點ニ於テ、尙ホ整理ヲシ、若クハ同ジ金ヲ要求致シ、收入ヲ増加スル、斯ウ云フコトヲ考メタ上ニ於テ、經濟集中主義ト云フコトヲ考ヘルコトガ必要デハナイカ、若クハ經濟改善ト云フコトヲ考ヘルコトガ必要デハナイカト思ヒマスガ、サウ云フコトニ付テ大臣ニ御考ガアルカナイカ

モウ一ツハ經濟問題デアリマスガ、大臣ハ單純ナル鐵道省長官以外ニ、國務大臣トシテ、土木費ノ問題、其他關係ト致シテ國ノ全體ノ經濟財政ニ付テ非常ニ御關心ヲ持ッテ御熱心ニ研究サレテ御盡力デアリマスガ、鐵道ノ財政、即チ非常特別ノ施設ヲヤルカヤラヌカト云フコトヲ聽キマス上ニ於テ、今日ノ時局匡救、是等ニ對シマシテ、大臣ノ御見込ハ、所謂時局匡救ノ二三年ノ計畫デ或ル景氣ガ起リ、サウシテ經濟ガ回復シ得ラレル見込デアアルヤ否ヤ、若クハヤッテ居ルケレドモ、必シモ其見込ガ立タヌ——見込ガ立ツカ立タヌカト云フ問題ニ付テ、

見込ガ立ツト云フ見解デ、鐵道省トシテモ立ツト云フ見込アルナラバ、今無理ヲシテヤツテモ收入ガ増スト云フ論據ガアリマ
スガ、立タナイト云フナラバ、今ヤツテ居ル
コトハ、必ズシモ將來ドウナルカ分ラヌト
云フコトノ結論ニナリハセヌカト思ヒマ
ス、是ハ普通ノ鐵道省長官デアルナラバ伺
ヒマセヌガ、財政通デアリ、經濟通デアラ
セラレル大臣デアリマスカラ、其御見込ニ
付テ若シ伺ヘマスレバ伺ッテ置キマス、此一
點ヲ先ヅ伺ヒマス

○三土國務大臣 鐵道特別會計ダケノ見地
カラ見マスト云フト、只今河上君ガ言ハレ
マシタ通り、金利モ安クテ資金ガ潤澤デア
ル場合ニ、何レ建設センケレバナラヌ線ハ
繰上ゲテモ建設スルト云フ風ニシテ置ク方
ガ將來金融ガ詰ッテ行キ、資本ノ需要ガ起ッ
テ來タ場合、即チ公債ノ増發ヲスルコトガ
困難ニナツタ場合ヨリモ宜イデハナイカト
云フ御話デアリマスガ、私モサウ云フヤウ
ニ考ヘルノデアリマス、所ガ一般ノ財政經
濟カラ申シマスト云フト、御承知ノ通り昭
和八年度ハ交付公債マデ混ゼマシテ十億圓
ヲ越スト云フ公債デアリマシテ、而モ是ハ
大部分ハ日本銀行ニ背負ヒ込マセ、一旦日
本銀行ニ背負ヒ込マシテ、サウシテ一般市

場カラシテ希望ガアレバ賣ルト云フ手順ヲ
執ルヨリ外任方ガナイ、一般市場カラ公募
スルコトハ困難デアルト云フヤウナ場合デ
アル、此十億圓餘ノ公債ヲ昭和八年度ニ發
行シ、又九年度ニモ餘リ減ラヌトスレバ、
財界ハ將來ドウナルカト云フコトガ、日本
ノ今日ノ一番心配ナ問題デアル、サウ云フ
場合デアアルカラシテ、鐵道特別會計ノミ
ノ場合カラ、サウ公債ヲ増發スルト云フコト
ハ言惡イ、併シ出來ルダケヤラウト思ヒマ
シテ、大藏省ト交渉致シマシタガ、無論大
藏省ハサウ云フ見地カラシテ困ルト云フノ
デ、鐵道共濟組合ノ資金ダケデ以テ引受ケ
ラレルダケニ止メマシタ、サウシテ最大限
トシテ此二箇年間ニ千五百萬圓、即チ昭和
七年度ニ七百萬圓、八年度ニ八百萬圓ヲ計
上致シタヤウナ次第デアリマス、繰返シテ
申上ゲマスガ、鐵道特別會計ノミノ見地カ
ラ言ヘバ、モット公債ヲ發行シテ、モット建設
ヲ致シタイノデアリマスガ、サウハ行カナ
イノデアリマス

ソレカラ第二ニ度々申上ゲマスル通り、
鐵道ノ收入ガ激減シテ參リマシタ、之ニ順
應スル爲ニ鐵道省ト致シマシテハ、相當ノ
節約ヲ致シテ居ルノデアリマス、殊ニ昭和
七年度ノ如キハ、施行豫算ヲ見マスと云フ

ト、連モソレダケノ歳入ハナイト云フノ
デ、豫算ヲ變更シテ實行豫算ヲ作ッテ、ソレ
デモマダイカヌト云フノデ又作ッテ、サウ云
フ譯デ一箇年ニ三度モ豫算ヲ編成シ直シ
テ、各局部ニ對シテ節約ヲ強要シテ居ルヤ
ウナ次第デ、前々年頃カラシテ財政ニ順應ス
ル爲ニ思切ッテ整理ヲシテ參ッテ、前後通ジ
テ三年間ニ四千三四百萬圓ノ節約ヲシタ、
所ガ御承知ノ通り、鐵道ノ主トシテ収益勘
定デアリマスガ、収益勘定ニ屬スルモノデ
人件費ガ六割ヲ占メル、思切ッテ人件費ヲ
整理スレバ宜イノデアリマスガ、今日ノヤ
ウナ社會狀態、經濟狀態ノ下ニ於テ人件費
ノ思切ッテ整理ヲスルコトハ困難デアル、鐵
道省ニ於キマシテハ、積極的ニ整理セヌデ
モ、缺員ハ補充セヌト云フ大體ノ方針デア
リマス、サウ云フ風ニシテ相當思切ッテ整
理ヲ致シタノデアリマスルガ、奈何セン新
線ガ段々延ビテ參ルニ從ッテ、營業費ガ殖エ
テ來ル、其新線ハ多クハ収益ノ歩合トシテ
ハ惡イモノデアリマス、其營業費ノ殖エル
割合ニハ收入ハ増サナイ、ソレカラ建設改
良共ニ公債ガ段々殖エテ參リマス、隨テ是
ノ元利拂ガ増シテ參ル、ソレカラ恩給金モ
増シテ來ル、斯ウ云フヤウナコトデ、又其
上ニ僅カデアリマスガ、一億圓餘ノ外債ヲ

持ッテ居ル、其爲替ノ下落ノ爲ニ爲替差損ヲ
増シテ居ルト云フヤウナコトデ、相當思切ッ
テ整理ヲ致シマシテ、已ムヲ得ズ法律及ビ
契約ニ依ッテ一錢一毛モ減スコトガ出來ナ
イ、逆ニ増スヤウナモノガ相當アリマスル
爲ニ、四千何百萬圓ノ整理ヲ致シタニ拘ラ
ズ、實際ノ算盤ニ於テハサウハナラヌ、サ
ウ云フヤウナ次第デ、鐵道省トシテハ出來
ルダケ整理ヲ致シタノデアリマス、尙ホ總
テノ小サイ方面ニ互ッテモ將來トモ出來ル
ダケ整理節約ヲシテ掛ラナケレバ算盤ハ持
テヌノデアリマスカラ、其點ニハ十分努メ
ル積リデアリマス

ソレカラ第三點ハ財界ノ前途ノ見込ト、
鐵道收入トノ關係デアリマスガ、財界ハ爲
替相場ガ安イト云フコトハ、主トシテ財界
ガ活氣ヲ呈シテ居ル原因デアアル、次ニハ矢
張り幾分カ「インフレーション」氣分デ以テ
通貨ノ膨脹、物價ノ騰貴、金融ノ潤澤ト云
フヤウナコトガ影響シテ居ルノデアリマ
ス、此前途ヲ考ヘテ見マスルト云フト、私
共ハ相當景氣ガ續クト考ヘル、マダ好クナ
ルト思ヒマス、世間デハ「インフレーション」
ノ結果トシテ、物價ハ騰貴スル、生産費
ガ高クナル、結局ニ於テ今日ノ爲替差益デ
儲ッテ居ル、貿易ガ旨ク行ッテ居ルモノガ、

第六類第二號 鐵道敷設法中改正法律案(政府提出)委員會議錄 第五回 昭和八年二月三日

間モナク相殺サレテシマフト云フヤウニ考ヘテ居リマスガ、ソレハ學者ノ抽象論トシテハサウデアリマスガ、實際ノ問題トシテハ、私ハサウ簡單ニハ行カスト思フ、隨テ少クトモ暫クノ間ハ景氣ガモウ少シ續ク、或ハ今日ヨリモ好クナルト見テ居リマス、サウナレバ鐵道ノ收入ハドウナルカト申シマスト云フト、鐵道ノ收入モ殖エテ參與ト思ヒマス、現ニ昭和八年度ノ豫算ヲ立テマスルニ當リマシテモ、昭和七年度ノ最終ノ實行豫算カラ見マスト云フト稍、回復シテ參ツタ、初メノ豫算デ行クト、昭和七年度ノ收入ハ三千萬圓位減ル見込デアリマシタガ、約半分デ濟ムカト思ヒマス、即チ千五百萬圓位ノ減デ濟ミハセヌカト思フ、是ハ本年ノ三月末日マデニデス、ソレヲ基礎ニシテ昭和八年度ノ歳入見込ハドウシカト申シマス、旅客收入ニ於テ二分五厘、貨物收入ニ於テ五分、斯ウ増收ヲ見テ居ルノデアリマス、ソレニ依ッテ豫算ヲ計上シタノデアリマスガ、併シ一面ニ於テ先刻申サユウナ法律、契約ニ依ッテ當然増スモノ、費用ガアリマス、ソレカラ收益勘定ノ中デ物價騰貴ニ依ル支出ノ増加ノ歩合モ見ナケレバナラス、人件費ハ俵給、給與、手當等ハ増サヌトシテ、物件費ダケデ相當物價騰

貴ノ影響ヲ受ケルノデアル、殊ニ普通ノ人ハ營業費ダケヲ考ヘラレマスガ、鐵道收益勘定ニ於キマシテハ、大キナ部分ヲ占メテ居ル一ツガ所謂保存費デアリマス、即チ現在ノ財産ヲ其儘維持シテ行クト云フ費用デアリマスガ、是ハ昭和七年度デモ七千六七百萬圓位デアツタカラ、是ハ矢張同額位ニ見ナケレバナラス、今ノ財産ヲ其儘維持シテ行ク、即チ橋梁ノ損ジタモノハ架換ヘル、レールノチビタモノハ取換ヘル、車輛ノ壞レタモノハ直スト云フヤウニシテ、現在ノ儘ノ狀況ヲ續ケテ行ク所謂保存費ガソレダケ掛リマス、是ガ物件費デアリマス、此方ノ物價騰貴ニ依ル影響ハ相當大キイノデアリマス、故ニ今申ス程度ノ收入歩合ノ増加ト、ソレカラ收益勘定ノ歳出ノ増加トヲ差引ケバ、サウ澤山ノ餘裕ハ見ラレナイ、斯ウ云フ状態デアリマスカラ、將來ト雖モ是カラ營業ヲ開始致シマスル路線ト云フモノハ、是迄ヨリモ收入歩合ノ惡イモノデアリマス、ソレデ營業費ハ殖エテ行クト云フコトニナリマスカラ、相當營業收入ハ殖エテ參リマシテモ、鐵道ノ財政ノ上ニサウ餘裕ハ生ジナイト、斯ウ見ナケレバナラスト思フノデアリマス

○河上哲太君 大體分リマシタ、ソレデ只今ノ御話ノ中ニ特別會計ダケノ見地カラ見レバ公債ヲ出シテ行クトハ必シモ惡イトハ思ハナイ、ケレドモ財界ノ關係ト公債關係カラムツカシイ、景氣ガ好クナルガ、鐵道事業其モノカラ見レバ必シモサウハ好クナラナイ、斯ウ云フ御話デアリマス、ソコデ矢張委員會ニ關係スル問題デアリマスカラ、一應聞イテ置キタイト思フコトハ、國家ヲ背中ニ負ウテ居ル鐵道會計ニシテ、尙ホ資金ヲ得ルコトガ困難デアル、而モ國家ヲ背中ニ負ウテ殆ド獨占ニ近イ事業デアル所ノ鐵道省ノ會計ガ、景氣ノ好クナルコトヲ計算ニ入レナガラ、尙ホ懷ロ合ガ必シモ好クナイ、私ハ政府ノコトニ付テハ實ハ人ヲ減スト云フコトハ嫌ヒデアル、能ク亞米利加邊ノ例ヲ引イテ、機械ヲ使ッテ人ヲ減スト云フコトヲ言フケレドモ、其亞米利加デサヘモ此頃「テクノクラシー」トカ云ッテ、人ヲ殖ヤシテ行カナケレバナラスト云フコトガ起ッテ來ルヤウナ際デアリマスカラ、私ハサウ人ヲ減スコトハ嫌デアル、併シ鐵道省ノ鐵道、私設會社ノ經營、兩方ヲ比較シテ見マス、私設會社ノ經營振ハ可ナリ人件費其他ニ付テモ儉約ヲシテ居ル、而モ尙ホ可ナリ困難ノ状態デアル、同時ニ又今後ノ資金ヲ得ルコトニ付テモ困難ヲ感ジテ居

ル、是ハ鐵道省自身デサヘモ資金ヲ得ルニ困難ヲ感ジ、景氣ガ好クナッテモ尙ホ必ズシモ懷ロ合ガ好クナラスト云フ時デアルカラ、私設會社ナドガ資金ヲ得ルニ付テハ尙ホ困難デアル、議論トシテ低金利ト云フコトヲ言ッテ居ルケレドモ、郵便貯金ノ利子ハ下ッテ居ルケレドモ公債ノ利子ハ下ッテ居ラス、机上ノ議論トシテハ低金利デアルケレドモ、私設會社ナドガ安イ利子ノ金ヲ借りテ、サウシテ懷ロ合ガ好クナルト云フコトガ結論トシテ推論ガ出來ルデアリマセウカ、此點ヲ一寸伺ヒタイ

○三土國務大臣 鐵道經營ノ困難ナ事情ハ、國有鐵道私設鐵道共通デアリマスカラ、多少景氣ガ恢復シテモ私設會社ノ營業状態ハ矢張サウ好クナラスト私ハ思ッテ居リマス、唯サウ云フ場合ニ鐵道ノ補助金ヲ減スト云フ問題ニ付キマシテハ何レ後カラ申上ゲマス

○河上哲太君 次ニ大臣ニ伺ヒタイコトハ、新聞ヲ見マス、太平洋岸ニ對スル大臣ノ御方針ガ云々ト云フコトガアリマシタガ、元來鐵道敷設法ヲ決定致シマス時ニハ、唯單純ニ部分々々ノ鐵道ヲ敷設スルト云フノデハナイ、其部分ニ對スル交通運輸ノ計畫ト云フコトモアリマシタガ、全體トシテ

如何ニ日本ノ交通系統ヲ作ルカト云フコト

ガ可ナリ重イト云フノデ、是ガ基礎ニナツ
テ鐵道網ハ決定サレタ、隨テ四國鐵道ニ對
シテモ、是ハ地方線ト見ルガ宜シイカモ
知レマセヌガ、單ニ四國ダケヲ目當ニシテ

作ッテ居ル筈ハナイ、四國ト中國、九州及近
畿總テヲ合セテ西日本ノ交通系統ト云フモ
ノヲ頭ニ置イテ私ハ鐵道網ガ出來テ居ルト
思フ、隨テ或ル部分ニハ收支ノ計算ガ其部
分ダケニ付テハ合ハナイコトガ澤山アル、

此點ニ付テ大臣ハ、單純ニ四國ノ部分的ノ
線路ニアラズシテ、西日本若クハ四國全體
ヲ考ヘテ交通系統カラドノ線ヲ將來幹線ト
申シマスカ、中心線トシ、基礎線トシテ行
クヤウナコトノ御考デ居ラレルカ、之ヲ土

臺トシナケレバ部分ノ線路ガ決定出來ナ
イ、斯様ニ思フノデアリマス、其點ヲドウ
云フ風ニ御考ニナツテ居ルカ

○三土國務大臣 鐵道省トシテハ四國ノ太
平洋沿岸ト、ソレカラ瀬戸内海カラ乃至西
ノ方ニ向ッテ行ク、表ヘ出テ行キマス所ノ連
絡ハ主トシテ土讚線、即チ高知カラ高松ニ

出ルモノ、ソレカラ高知カラ伊豫ノ松山ニ
出ルモノ、是ガ一番主要ナルモノデアルト
思ッテ居リマス

○河上哲太君 私ハ其點ニ付テハ半バ御尤

ト思ヒマス、併ナガラ太平洋ト瀬戸内海ダ
ケノ目的デ此線ハ出來テ居リマセヌ、モウ

少シ具體的ニ言ヘバ、過去ニ於テ殆ド緣故
ノ無イ小松島ノ築港ニ鐵道省ガ何故力ヲ入
レタカ、佐賀ノ關ニ何故鐵道ヲ敷イタカ、

是ハ大イニ考ヘナケレバナラス、此時ノ話
ト云フモノハ宇和島港ト云フモノヲ以テ、
或ハ八幡濱港ヲ以テ九州連絡港トシテ、サ

ウシテ將來必ズ改良線トシテ出來ナケレバ
ナラス筈ノモノデアリマス、小松、松山間、
池田川之江間ガ後藤鐵道院總裁ノ時創ラレ

ントシタ時、吾々ガ努力シテ殘シタ時ノ趣
意モ鐵道大臣御承知デアラウト思ヒマス、
ソレカラ小松島ヘ出テ、和歌浦ノ方ヘ來テ、

山陰山陽道ノ路線、瀬戸内海ノ海岸等、此線
ヲ以テ西日本ノ中央ヘ結付ケル爲ニ出來テ
居ルト思フ、隨テ九州カラ小松島ヘ行ク線

ト云フモノハ大切ナ幹線デアリマス、私ハ
此線ハ幹線デアルト云フコトヲ大臣ハ御認
メニナルカナラスカ伺ヒタイ

○三土國務大臣 松山カラ川之江ヲ通ッテ
小松島ヘ行ク線、是ハ矢張四國幹線ノ一ツ
ト認メマス

トハ高知高松、松山高知、是ハ大臣ガ特ニ
自動車ニ依ッテヤラレルト云フ御尤ナ大切

ナ線デアリマスケレドモ、更ニ西ノ方ノ太
平洋沿岸ニ對シテ、之ヲ宇和島港ニ依ッテ九
州ト連絡シ、之ヲ三津濱若クハ高濱或ハ溫

泉郡ノ方——當然四國中國連絡ト云フモノ
ハ高松ダケデハ濟マナイ、之ヘ結付ケルト
云フコトハ一ツノ幹線トシテ、ナケレバナ

ラス、何レニシマシテモ宇和島方面カラ三
津濱ヘ出ルコトハ、幹線トシテ一ツノ線ヲ
持タナケレバナラス、私ハ四國ノ線路ニ付

テ、中國東海道ノ如キ立派ナモノガ近い將
來ニ出來ヤウトハ思ヒマセヌガ、少クト
モ方針ガ變ラス限リハ、南九州カラ中國ヘ

結ブ所ノモノガ貨物旅客共ニ或ル速力、重
サヲ持ッテ居ル長イ列車ガ走ル、サウスレバ
此線路ヲ如何ナル形ノ線路ガ一番適當デア

ルカト云フコトヲ考ヘナケレバナラスト私
ハ考ヘル、大臣ノ此點ニ對スル御考ヲ伺ヒ
タイ、非常ニ急勾配ノアル急「カーヴ」ノア

ル線ガ適當デアルカ、若クハ速力ト重サニ
堪ヘ得ル良イ線路ガ大切デアルカト云フ御
考ヲ伺ヒタイ

ル線路ト認メラレルノデアリマスガ、其點
ハ同感デアリマス、併シサウナリマスト今

度改訂シヨウト云フハ八幡濱カラ宇和島ニ至
ル方ハ急勾配デアッテ、元ノ百四號線ノ方ガ
急勾配デアナイカラ幹線トシテ適當デアイカ

ト云フコトデアリマスガ、私共ハ是位ノ地
方ノ幹線ハ此程度ノ勾配ガアッテモ十分ダ
ト思ヒマス

○河上哲太君 是ハ意見ノ相違カモ知レマ
セヌガ、私ハ將來南九州ト和歌ノ浦ノ線路
ヲ造ッテ行クニ付キマシテハ、之ヲ簡單ナル

幹線トハ思ヒマセヌ、四國ダケノ交通デア
レバ大臣ノ言ハレル通りデアルカモ知レナ
イガ、左様ニ簡單ニハ思ヒマセヌ、殊ニ鐵

道省デハ簡易線ト云フ名前ヲ付ケテアリア
スガ、是ハドウ云フコトデアルカ伺ヒタイ
○池田政府委員 簡易線ヲ設定シマシタ理

由ハ、主トシテ其地方ニ於ケル運輸數量地
勢等ニ鑑ミマシテ出來タモノデアリマス、
簡易線ノ他線ト異ナル主ナル點ヲ申上ゲマ

スレバ、第一ガ勾配三十分ノ一マデ、ソレ
カラ曲線ノ半徑ハ百六十米マデ宜カラウ、
ソレカラ停止場ノ有效長、是ハ線ニ依ッテ

常ニ少イ見込ノ所ハ極度ニ儉約致シマシテ、本屋ノ建坪ヲ小サクスルノミナラズ、極端ナ所デハ「ホーム」ダケ拵ヘマシテ、切符ハ列車ノ中デ賣ッテモ宜イ「ヂヤナイカト云フヤウナ設備マデ認メルヤウニ致シタノデアリマス

○河上哲太君 今御話ヲ伺ヒマシテ御尤ト

思ヒマス、實ハ私此點ニ付テ非常ニ愉快ニ考ヘルコトハ、私ガ斯ウ云フコトヲ主張シタノガ十二年前、然ルニ鐵道省ガ今日之ヲ採用サレタノデ、自分ノ先見ノ明ガ當ッテ愉快デアリマスガ、唯局長、大臣ニ御考願ヒタイコトハ、今日交通機關殊ニ鐵道ノ改良ニ付テ如何ナル考ヲ有ッテ居ラレルカ、私ハ既ニ簡易線ヲ十二年前ニ主張シタ男デアリマスガ、今日尙ホ山陽線、東海道線ト四國線トヲ比較スル者デハアリマセヌ、併ナガラ全體ヲ通ジテ居ル所ノ交通機關、特ニ鐵道ニ對スル世ノ中ノ希望要求ト云フモノハ何デアルカ、出來ル限り危險ヲ少クシテ、出來ル限り愉快ニ、出來ル限り速ニ目的地ニ達スルコトガ今日ノ傾向デハナイカト思フ、其爲ニハ非常ニ經費ヲ使ッテ居ル、熱海線ノ如キハソレデアル、程度コソ違ヘ趣意ハ此趣意デ進マナケレバナラス、十二年前ナラバ歐洲大戰ノ直後デ、自動車モナク、

又交通ニ關スル思想ハ餘リ進ンデ居ナカッタ、今日ハ非常ニ進ンデ居ル、殊ニ今後ニ於テサウ思フト鐵道大臣ハ言ハレルガ、何ヲ根據ニサウ思フカ知レマセヌケレドモ、單ニ四國ノ幹線デナク、九州ト中國若クハ中央日本デアアル大阪地方トモ連絡スベキ大幹線デアリ、將來交通ノ頻繁、速度ノ早クナルコトヲ希望スル時代ニ於テ、此幹線ニ今マデナイヤウナ簡易線ヲ造ッテ、如何ニ技術ガ進歩シマシテモ他ノ條件ガ同ジデアアルナラバ、急勾配急「カーヴ」ノ所、ソレヲ特ニ御撰ビニナルト云フコトハ私ニハ分ラナイ、殊ニ私ガ非常ニ疑問ヲ有チマスルコトハ、鐵道省デ戴キマシタ材料ニハ百四號線モ二百米ノ最小半徑ノ「カーヴ」ヲ記サレテ居リマスガ、是ハドウ云フ意味カ分ラヌ、分ラヌガ百三號線ノ「カーヴ」ハ二百五十

○三土國務大臣 無論鐵道ノ計畫ハ、四國

米、サウシテ其中ニ千四百米以上ノ隧道ガアッテ、勾配ハ千分ノ三十三デアアル、私ガ西字和ノ地形ヲ見テ歩キマシタ結果ニ依リマスト、此勾配ノアル隧道、可ナリ勾配ノアル線ヲ通ッテ行カナケレバナラス、サウスレバ機關車ノ運轉ヲ致スニシテモ、如何ニ進歩シタ機關車ヲ御使ヒニナルカ知りマセヌケレドモ、可ナリニ機關車ハ苦シイ思フシテ登ッテ行ク、最後ニ隧道ヲ經ルマデハ石炭ヲ焚イテ可ナリ煤煙ガ飛ブ、斯様ナ線ハ私ハ今日造ルベキモノデハナイト思フ、自動車ガ發達シナイ時代ハ知りマセヌガ、今日ハ寧ロスウ云フコトハ自動車デアル方ガ宜イノデハナイカ、自動車ノコトハ後デ伺ヒマスガ、ドウモ私ニハ分ラヌ、之ヲ以テ尙ホ大臣ハ時代ノ傾向ニ合フト言ハレルノデアルカ、九州近畿トノ連絡デアアル幹線、殊ニ九州ノ荷物若クハ御客ヲ大阪方面ヘ送りマス上ニハ、特ニ「フェリーボート」ヲ造ラナケレバイヤカヌ、是マデシテ經費ヲ掛ケテ早キヲ求メ、便宜ヲ求メテ居ル其一部分デアル所ノ幹線ニ對シテ、斯様ナル危険率ガ多ク不愉快デ、サウシテ時間モ掛リ、運轉費モ掛カル所ノ線ヲ選ブコトハ、時代ノ要求ニ合フドロカ、時代錯誤シテ居ルト思フ、其點ヲ御伺致シマス

○河上哲太君 又カラスシテ私ハ初ニ申上ゲ

テ居ル、私ハ四國ダケノコトヲ言フノデアナイ、十二年前ニ言ッタノトハ時代ハ違ヒマスガ、必シモ幹線ヲ惡イトハ言ハナイ、寧ロ自分ノ先見ノ明ヲ誇ッテ喜ブ、若シ大臣ガ言ハレタヤウニ、貨物が少クテモ宜イト云フナラバ、將來「フェリーボート」ヲ造ッテ佐賀關ト宇和島ヲ結ビ、小松島ト和歌浦ヲ結ンデ行クト云フ幹線ノ趣意ハ無クナッテシモフ、私ハ四國ノ線路トシテ言ッテ居ルノデハナイ、私ガ言フノハ、最初ニ申シマ

サウ多クナイト見ナケレバナラス、四國トシテハ幹線デアリマスケレドモ、大體カラ言ヘバ地方線位ナモノデ宜イノデハナイカ、又高知方面カラ考ヘテ見マシテモ、高知カラ上方ノ方ヘ、若クハ山陽方面ヘ參リマス者ハ、無論土讚線ヲ選ブ、若クハ松山マテ出ルト云フコトニナリマスノデ、此方面ニ物資旅客ノ集リマスノハ、ドウシテモ土佐ノ西ノ方ノ部分ニ過ギナイ、サウシテ其中心ヲ爲スモノハ、矢張私ハ宇和島デアラウト思フ、物資ノ集散カラ考ヘテ、或ハ旅客ノ動キカラ考ヘテ見マシテモ、此程度位ナモノデ丁度宜イノデハナイカ、幹線ト名前ハ付ケマシテモ、エライ設備ハ要ラヌノデハナイカ、斯ウ私ハ見テ居リマス

○河上哲太君 又カラスシテ私ハ初ニ申上ゲ

テ居ル、私ハ四國ダケノコトヲ言フノデアナイ、十二年前ニ言ッタノトハ時代ハ違ヒマスガ、必シモ幹線ヲ惡イトハ言ハナイ、寧ロ自分ノ先見ノ明ヲ誇ッテ喜ブ、若シ大臣ガ言ハレタヤウニ、貨物が少クテモ宜イト云フナラバ、將來「フェリーボート」ヲ造ッテ佐賀關ト宇和島ヲ結ビ、小松島ト和歌浦ヲ結ンデ行クト云フ幹線ノ趣意ハ無クナッテシモフ、私ハ四國ノ線路トシテ言ッテ居ルノデハナイ、私ガ言フノハ、最初ニ申シマ

シタ通り、其線ヲ九州、近畿、大阪ヲ中心トシテノ、經濟中心ニ結付ケル幹線トシテ、鐵道網ヲ作ル時ニ、吾々ハ鐵道當局者ノ説明ヲ聽イテ、之ヲ尤ナリトシテ今日承認致シテ居ル、其精神デ行クナラバ、此線ガ便宜デアルカナイカト云フコトヲ私ハ述ベタ、殊ニ私ハ先程八田君ガ地方人ヲ失望サセタト云フ御話ガアリマシタガ、實ハ私ハ此點ニ付テ民政黨ノ諸君ガ質問ヲサレタナラバ、冷汗ヲカ、ナケレバナラヌト思フ、何故カト云ヘバ、鐵道網ヲ作ッテ、之ヲ議會デ決議致シマシタ時ニ、憲政會ノ諸君ハ一體斯様ナ線ヲ造ッテ法律デ決メテ置イテモ、何時造ルカ分ラヌト云フ位ナラバ、時代ノ進歩ニ連レテヤッタ宜イヂヤナイカ、ソレヲ初カラ決メテカ、ルノダト言ハレタ時ニ、吾々ノ代表者中西君ガ出テ、斯ウ云フコトヲ言ッテ居ル、鐵道省ガ一番能ク調ベタ線デアッテ、同時ニ將來如何ナル交通機關ガ如何ナル場所ヘ、如何ナル方向ニ向ッテ出來ルカト云フコトハ、地方人ガ其交通機關ヲ中心トシテ將來ノ經濟生活、産業計畫ヲ立ツル方針ヲ示スモノデアアル、ダカラシテ非常ナ意義ガアッテ、唯法律ニ決メテ置クト云フコトダケデナイノデ、又特別ノ場合ノ外ハ大部分之ヲ實行スル積リデアアル、故ニ

是ガ地方人ニ期待ヲ持タス位ヂヤナイ、地方民ノ將來ノ産業計畫ノ方針ヲ示スノデアッテ、此意味ニ於テ有意義デアルト云フコトヲ主張シテ通シテ居ル、若シ民政黨ノ諸君ガ、オ前ガ造ッタノヂヤナイカト言ハレルナラ、私ハ冷汗ヲカ、ナケレバナラヌト思フ、殊ニ私ガ大臣ニ聞イテ置キタイコトハ、私ハ程度ガ同ジトハ申シマセヌ、申シマセヌケレドモ、之ヲ幹線ト見ルナラバ、性質カラ申シマセヌナラバ、百三號線ハ箱根線デアアル、百四號線ハ熱海線デアアル、私ハ日本ノ交通運輸ガ進歩セヌ時分ニハ「ダブルエンデン」デ行ク箱根線デ間ニ合ハスコトハ賛成ダケレドモ、非常ナ經費ヲ掛ケテ熱海線ヲ造ルコトハ考ヘ物デアルト思フ、若シ止ムヲ得ズ九州ト連絡スルノデアアルカラ箱根線デドウダト云フノナラバ、十二年前ニ私ガ主張シタ百三號線デ宜シイ、併ナガラ法律其モノデ決定シタコトサヘモ、將來ノ地方人ノ經濟生活、産業計畫ノ方針ヲ示シタ有意義ナルモノトシテ決定シタ線ガ、而モ豫算ニ計上シテ十二年間待ッテ居ル其地方民ハ如何ナル考デアアルカ、八田君モ言ハレタガ、此鐵道ガ出來タナラバ、斯様ナ事業ヲシヤウ、道路モ之ヲ目當ニシテ作ッテ行ク、可ナリ期待ヲシ、計畫ヲシテ居

ル、而モ其線ハ何カト云ヘバ時代ノ傾向、時代ノ要求ニ合フ線デアアル、ナケレバ仕方ガナイ、併ナガラ既ニ決定致シテ居ル、其性質ハ今日ノ所謂「スピード」時代ヲ先ニ越シテ熱海線ト同ジ性質ヲ以テ其要求ニ應ズル線デアアル、他日若シ交通運輸ガ發達致シマシタ時ニ、何レニ改良シ變更スルカト云ヘバ、百四號線ガイカヌナラ、百三號線ニ變更スル以外ニナイ、百三號線ヲ造ッテ置イテモ千分ノ三十三、即チ三十分ノ一ノ勾配ノ、一哩若ハ一哩以上ノ隧道ガアル、如何ニ四國ガ田舎ト致シマシテモ、若シ夏ノ如キ數回ノ旅行ヲ致シマシタナラバ、私ハ最近ノ鐵道——機關車モ、技術モ、其進歩ハ信ジマス、信ジマスカラ、必シモ非常ナ危険ハナイト思フケレドモ、此勾配ト此「カーヴ」ヲ經テ、此隧道ヲ經テ行クト云フトキハ、可ナリ不愉快ナ旅行ヲセンケレバナラス、必ズ私ハ改良ノ聲ガ起ッテ來ルニ違ヒナイト思フ、其聲ガ起ッテ來タ時ニハドウスルカ、良イ線ヲ選ブナラ百四號線ホカナイ、而モ百四號線ハ太平洋沿岸ヲ瀬戸内海ニ結付ケル一ツノ幹線デアアル、サウ見ルノガ近い、是ガ既ニ決ッテ居ル、之ヲ變ヘルト云フコトニハ可ナリ重要ナ理窟ガナケレバナラス、私ハ其點ニ付テ重要ナ理窟ガア

ルト斯様ニ考ヘルノデアリマスガ、大臣ハドウデアリマスカ
○三土國務大臣 鐵道完成後ニ於ケル交通状態ニ付キマシテハ、河上君ト私トハ餘程見方ガ違フヤウデアリマス、私ハ九州トノ連絡ハ、ドウシテモ佐賀關カラ來テモ、或ハ白杵カラ來テモ八幡濱マデ來ル、又八幡濱ニ來マシテモ、是カラ高松ニ來テ近道ヲ通ッテ東京、大阪ニ行クト云フコトハアリマセウガ、貨物ハ其處ハ通ラス、其點カラ申シマスト云フト、九州トノ連絡ハ八幡濱ニ來テズト高松ヘ行クカ、徳島ニ行クトニナリマスガ、八幡濱ト宇和島間ハ、元々百四號線ニ致シマシテモ、百三號線ニ致シマシテモ、是ガ爲ニ九州ノ人ニ何ノ關係ガナイ、又土佐方面カラ參リマスト、先刻申上ゲタ通り中村ニ行ク線、宿毛或ハ須崎ニ行ク線ガ出來マシテモ、近永ヲ通り直接宇和島ニ來テ、サウシテ伊豫宇和島ニ行クダケノ話デアアル、而モ今日ノ技術ノ進歩シタ時代デ、且ツ又社會ハ旅行ヲ愉快ニシ、且ツ速度ノ早イモノヲ選バナケレバナラヌ時代ニ、同ジ選ブノニドウカト言ハレマスガ、サウ大シタ距離デハナイ、百四號線ノ方ヲ廻リマシテモ、或ハ宇和島カラ今度ノ並行シタ線ヲ廻リマシテモ、並行シタ宇和島八

幡濱ノ間ハ僅カ四十何軒シカナイノデアリマス、煙ハ多少アツテモ知レタモノデアアル、此勾配ハ補助機關車ヲ要セナイ勾配デアリヨシテ、此處ヲ通りマス旅客物資ト云フモノハ、サウ大キナモノデハナイト思ヒマスカラ、他ノ部分ニ於ケル如ク、時代ニ順應シテ安全ニシ、愉快ニシ、速力ヲ非常ニ早クスルト云フコトハ、出來ルダケ努メナケレバナリマセスケレドモ、ソレ程重大問題デハナイト思ヒマス、寧ロ私ハ宇和島ト伊豫ノ縣廳所在地ノ松山、即チ伊豫ニ於ケル二大都市、之ヲ結付ケルノニドウシタラ一番近イカト云フノガ、私ハ眼目デアルト考ヘマス

○河上哲太君 私ハ鐵道大臣ガ八幡濱ト九州ヲ連絡スルコトニ付キマシテハ能ク分リマセヌ、併ナガラ若シ吾々ガ今日ノ經濟狀態ノ發達ト土地ノ恰好、即チ地形ノ狀態カラ言ヒマスカラバ、八幡濱ガ近イカモ知レマセスケレドモ、將來ノ發達ハ宇和島ニアルト言ハナケレバナラヌ、サウスレバ今日唯八幡濱ガ鐵道省ニ依ッテ九州連絡ト確定スルト云フコトハ非常ニ危險デアアル、併ナガラ大臣ガサウ言ハレルナラバ見解ノ相違デアリマスカラ、私ハ是レ以上追窮シマセヌ、併ナガラソレナラバ私ハ建設局長ニ御

伺スルガ、大洲八幡濱間ヲ最小半徑二百米ニスルト云フコトハ、ドウ云フ譯デスカ
○池田政府委員 大洲八幡濱線モ丙線トシテ、其程度ナラバ差支ナイト云フ見込デニ百米ニシタノデアリマス
○河上哲太君 此「カーヴ」ハ幾ラアルカ知リマセヌガ、私ガ四國線ヲ經濟線ト言ヒマシタノハ、先程御話ノ通りニ四國鐵道ノ建設デ宜シイト今デモ思ッテ居リマスガ、併ナガラ大臣ガ言ハレタ點カラ見マシテモ、是ハ大臣自身ノ言ハレタコトカラ言ヘバ、八幡濱宇和島間ハ九州トノ幹線デアアル、私ガ四國ニ對シテ簡易線ヲ造ッテ宜シイト云フコトハ、大洲、内子、サウシテ八幡濱宇和島間ニ打突カリマシテ、友人ノ太田君カラ教ハッテ簡易線ヲ造ッテ行ッテ、是ハ致方ガナイカラヤツタ、併ナガラ大洲八幡濱間ハ此ノ規定デ既ニ決ッテ、是ハ輕便鐵道デアリマシタケレドモ、是ハ橋梁若クハ停車場ナドニ付テノ會議デナイ、「ウーヴ」ヤ「カーヴ」ヤ勾配ニ付テハサウ言ッテ居ナイ、ソレガ出來ル所ヲ無理ニ面倒ナコトヲスル必要ハナイ、私ハ其他ニ鐵道省ノ新計畫ヲ見ルト、百四號線ニモ二百米ノ最小半徑ノ並行ヲサレテ居ルガ、邪推カモ知レマセヌガ、私ハ不思議ニ思フ、私ハ卑近ナ例ヲ引キマ

スガ、丁度子供ニ燐寸ヲ持タセルヤウナモノデアアル、燐寸ヲ擦ッテ見セルト、知識ノナイ乳兒ハバット火ガ點クカラオッカナクテ泣ク、怖リマス、併ナガラ少シ覺エテ來ルト今度ハ無暗ニ擦ッテ色々ナモノヲ燒イテシマフ、技術家ノ諸君ガ仕方ガナイカラ卯之町線、内子線ニモ簡易線ヲ造ッテ、ソレ等ノ勾配ハ構ハヌ、仕方ノアル大洲八幡濱間、殊ニ大臣自身ノ御話ニ依ッテ簡易線デアアル、九州ト何ノ簡易線ニ於テ、之ニ對シテ無理ニ斯ウ云フ勾配ヲ造ッテ「カーヴ」ヲ造ル、サウシテ百四號線デ出來ル所ニ持ッテ來テ、無理ニ斯様ナ「カーヴ」ヲ造ルト云フコトハ、恰モ燐寸ヲ擦ルコトニ慣レタ子供ガ、障子ニ火ヲ點ケテ火事ヲ起スト同ジ事デアアル、斯様ナコトハ私ハ將來ノ進歩ニ對シテスベキコトデナイ、私ハ此線、即チ前ニハ危ナイト云フコトガ、ヤッテ見レバ出來ルト云フト、障子ニ火ヲ點ケルト同ジニ、無理ニ技術上一種ノ弄ビ——ト云ッテハ失禮デアリマスケレドモ、出來ルカラ俺ガヤッテ見ヨウト云フノガ、寧ロ此線ハ百四號線ヲ無理ニヤラウト云フ原因ニナッテ居ルノデハナイカ、サウデナイト言ハレルカモ知レマセヌガ、何ノ爲ニ此出來ル、危險ノナイ場所ニ持ッテ來テ、サウシテ年々改良費ヲ出シ

テ、單ニソレダケデハナイ、ソレニ逆行シテ尙ホ不便ナ線ヲ造ルカト云フコトガ疑問ニ堪ヘナイノデアリマス、何故造ラレタカト云フコトヲ伺ッテ置キタイ
○池田政府委員 是ハ丙線トシテ、只今申上ゲタ半徑二百米「カーヴ」二十五ト云フコトガ決メラレタノハ、前々内閣中内閣ノ時代ニ決メラレタ線ダト思ヒマスガ、獨リ大洲、八幡濱間ニ半徑二百米ガ使ッテアルノミナラズ、モウ既ニ現在工事中ノ上灘、長濱間ニモ半徑二百米ガ使ッテアルノデアリマス、即チ松山八幡濱間ノ線路ハ丙線トシテ、左様ナ半徑ト勾配トヲ使ッテ差支ナイト云フコトハ、省議ニ依ッテ決ッテデアリマシテ、是ハ獨リ建設局ダケノ主張デ決ッテ譯デゴザイマセヌ、運輸、數量、運轉方面、總テ鐵道省ノ省議ニ依ッテ決メラレタコトデアリマスカラ、左様御承知願ヒマス

○河上哲太君 私ハ何時決ッタトカ、省議ト云フヤウナコトハ問題デナイト思フ、吾々衆議院ノ立場カラ申シマスルト、池田君カラ大臣ノ所ニ工事ノ認可ノ申請ヲスルカ、會議ニ諮ルトカ云フコトデハナイ、私ハ若シソレガアレバ、ソレ自身ガ既ニイカヌト思フ、ソレデアアルカラシテ此線ヲ幹線ト見ルカ見ナイカ、大臣ノ御話デハ、或ル

○河上哲太君 是ハ丙線トシテ、只今申上ゲタ半徑二百米「カーヴ」二十五ト云フコトガ決メラレタノハ、前々内閣中内閣ノ時代ニ決メラレタ線ダト思ヒマスガ、獨リ大洲、八幡濱間ニ半徑二百米ガ使ッテアルノミナラズ、モウ既ニ現在工事中ノ上灘、長濱間ニモ半徑二百米ガ使ッテアルノデアリマス、即チ松山八幡濱間ノ線路ハ丙線トシテ、左様ナ半徑ト勾配トヲ使ッテ差支ナイト云フコトハ、省議ニ依ッテ決ッテデアリマシテ、是ハ獨リ建設局ダケノ主張デ決ッテ譯デゴザイマセヌ、運輸、數量、運轉方面、總テ鐵道省ノ省議ニ依ッテ決メラレタコトデアリマスカラ、左様御承知願ヒマス

○河上哲太君 是ハ何時決ッタトカ、省議ト云フヤウナコトハ問題デナイト思フ、吾々衆議院ノ立場カラ申シマスルト、池田君カラ大臣ノ所ニ工事ノ認可ノ申請ヲスルカ、會議ニ諮ルトカ云フコトデハナイ、私ハ若シソレガアレバ、ソレ自身ガ既ニイカヌト思フ、ソレデアアルカラシテ此線ヲ幹線ト見ルカ見ナイカ、大臣ノ御話デハ、或ル

○河上哲太君 是ハ何時決ッタトカ、省議ト云フヤウナコトハ問題デナイト思フ、吾々衆議院ノ立場カラ申シマスルト、池田君カラ大臣ノ所ニ工事ノ認可ノ申請ヲスルカ、會議ニ諮ルトカ云フコトデハナイ、私ハ若シソレガアレバ、ソレ自身ガ既ニイカヌト思フ、ソレデアアルカラシテ此線ヲ幹線ト見ルカ見ナイカ、大臣ノ御話デハ、或ル

場合ニハ幹線ト見ルト云ッテ居ル、或ル場合ニハ唯松山宇和島間ヲ結付ケテ居ル、若クハ八幡濱間ノ方ガ宜イト云フコトデハ、仕方ガナイカラ幹線ト認メルト云ッテ、過去ノ歴史カラ言ッタバカリデ、事實ハ寧ロ鐵道敷設法ノ決ツタ時ノ精神ト云フモノデハナイ、

次ニ私ハ此問題ニ關聯致シマシテ、自動車ノコトヲ伺ッテ見タイ、私ハ大臣ノ自動車論ニハ賛成デアアル、眞實私ハ大臣ト同ジ程度ニ賛成デアアルカナイカ、場合ニ依レバ私ノ方ガ進ンデ居ル位ニ賛成シテ居ルカ知レマセヌガ、自動車網ノ問題ニ付テ大臣ニ伺ヒタイガ、自動車ト鐵道トノ比較ニ於テ、如何ナル距離ガ自動車ニ適當デアアルカ、又如何ナル距離ガ鐵道ニ適當デアアルカト云フコトハ、是ハ専門學者カ何カ知ラスケレドモ、外國ノ本ナドデハ公式ガアツタリシテヤッテ居リマス、併ナガラ是ハ積降シノ質銀ノ模様、地形、道路ノ模様ニ依ッテ違フト思ヒマスルガ、大體大臣ハ日本デ殊ニ四國ノ方面ニ於テハ、下ノ位ナ距離ガ鐵道ヨリ自動車ノ方ガ宜シイカ、又如何ナル種類ノ貨物ガ自動車ト汽車ト比較シテ宜シイカ、若クハ如何ナル交通状態、即チ非常ニ人口ノ少イ場合、非常ニ交通頻繁ノ場合、或ハ片荷ノ多イ場合デアルトカ、サウデナイトカ、

斯ウ云フコトニ付テ私ハ大臣ノ御考ヲ伺ヒタイ、ソレト同時ニソレヲ基礎トシテ私ハ百四號線ト百三號線ト自動車ヲ土臺トシテ、何レノ方面ガ適當デアアルカト云フコトニ付イテ、現實ノ彼處ノ貨物ノ種類若クハ距離、ソレカラ自動車經營ハドウ云フ風ニヤラレルカ知ラスガ、旅客運輸ハ所謂「ステーション」カラ「ステーション」ヘト云フ意味デヤラレルノカ、貨物自動車デアルト、

自動車運輸ノ方ガ汽車ヨリモ有利デアアル、即チ「ドア・ツー・ドア」ト行カヌニシテモ、ソレニ近イヤウナ經營ノ仕方ヤルカ、ヤラヌカト云フコトニ依ッテ、汽車ト自動車ノ運賃ノ比ガ定マル譯デアアルガ、ドウ云フ基礎ニ於テ鐵道當局ハ計畫ヲ樹テラレ、適切符、通運賃トシテ、例ヘバ宇和島カラ松山ナリ若クハ東京、京阪ニ行ク運賃ハドウナルカ、サウ云フコトノ御考、若クハ今日マデ計算ヲサレタ統計ナリ、公式デ拵ヘタ決定ナリ、ソレヲ示サレタイ

タノガ、此頃デハ三百哩デモ自動車デ隨分ヤッテ居ル「テキサス」州ノ棉花ヲ「ニューオーレアンズ」ニ出スニハ三百哩モアルガ、殆ド鐵道ニ依ラヌト云フ風ニシテ居ル、甚シキハ亞米利加ノ西海岸カラ東海岸マデ行クニ、寢臺付ノ自動車デ行クト云フヤウナ風ニナツテ來テ居ル、自動車ト鐵道ノ分界如何ト云フ問題ハ、世界中デハハッキリシナイヤウニ思ヒマス、我國ニ於キマシテモドノ位マデガ自動車デ宜イカ、下ノ位カラ鐵道ガ宜イカト云フコトハ一寸定メラレヌト思フ、併シ幹線ヲ爲スヤウナモノハ短クテモ鐵道ニ依ル、ソレカラ幹線デナイモノハ相當長クテモ自動車ニ依ルト云フ風ニヤッテ行クヨリ仕方ガナイト思フ、ソレカラドウ云フ貨物カト申シマスガ、大抵ノ貨物ハ最早自動車デヤレルト思フ、今本格的ニ昭和八年度カラヤラウト云フ「バス」ノ後ロニ附ケタ「トラック」等ハ五噸車デアリマスガ、五噸車ヲ二臺附ケルト大抵ノ物ハ積メルト云フノデ、物資ノ輸送ニハ大體自動車デ差支ナイト云フ位ニ見テ居リマス

○三土國務大臣 鐵道ト自動車ノ分界如何ト云フ問題ハ、世界中デ中々解決ノ付カヌ問題デ、年ト共ニ違ッテ居ル、數年前マデハ亞米利加ニ於キマシテ、五十哩以下ノ短距離ハ自動車ニ依ル、ソレ以上ハ鐵道ニ依ルヲ適當トスルト云フコトニ大體申シテ居

ジ通シ切符デヤルト云フコトニシタイト思ヒマスガ、マダソコノ所ガハッキリ決ッテ居ラヌノデアリマス、場所ニ依ッテ違フカト思ヒマス、サウ云フ方針デヤラウカト云フコトヲ考ヘテ居リマス

○河上哲太君 私ハ運賃ノ決メ方ヤ何カラ問フノデアアリマセヌ、汽車デサヘモ運賃ヲ決メルノニハ中々ムヅカシクテ、サウ簡單ニ出來ヌコトハ分ッテ居リマス、ソレカラ亞米利加邊デ何百哩云々ト云フコトモ分ッテ居ルノデアリマスガ、既ニ大臣ガ此處デ言明セラレテ居ル、或ル部分ハ自動車デヤル、現ニ今年實行サレルコトニナツテ居ル、サウナツテ居ルナラバ大體ノコトハ決ッテ居ラナケレバナラヌト思フ、決マラズシテ言明サレ、法律案ヲ出シ、若クハ豫算ヲ出サレル譯ハナイ、故ニ私ハ大臣ガ言ハレル通り、今後汽車ノ進歩ト云フモノハアリマセウ、機關車ノ進歩モ「ブレイキ」ノ進歩モアリマセウ、ケレドモ汽車ノ進歩ヨリモ自動車ノ進歩ノ方ガ速イ「スピード」ヲ以テ今後發達スルモノト思フ、サウシテ時代ノ進歩ニ伴ヒ「ドア・ツー・ドア」ノ今後ノ自動車ノ運轉ト云フモノガ、日本人ニ對シテ多クノ便宜ヲ與ヘル、必ズヤ東海道線ノ如キモ昔ノヤウナ高速鐵道ヲ造ラナイデモ、國道

ガ發達シ、自然的ニ道路ガ發達シテ行クナ
 ラバ、寧ロ自動車ハ有力ナル鐵道ノ補助機
 關、若クハ競争機關ニナル位自動車ヲ發達
 サセルコトガ必要デハアルト思フ、其意味カ
 ラ云ヘバ大臣ニ於テ、學問上ノ細カイ算盤
 ヲシナサイト云フノデアリマセヌ、大臣ガ
 此議會デ八年度カラ自動車ヲヤル、將來驛
 ノナイ所ニハ自動車ヲ以テヤルノガ宜シイ
 ト言ハレルガ、私モ之ニハ賛成デアアル、其
 程度ノ決定ヲサレ、或ル程度ノ見込ヲサレ、
 或ル程度ノ計算ヲ持ッテ居ラレルノデ、其計
 算ノ範圍デ宜シイ、其計算ノ範圍デ私ハ八
 幡濱宇和島間ニ付テ、大臣ハ只今私ガ申シ
 マシタ所ノ貨物ノ性質、交通運輸ノ状態ニ
 付テ、何レガ適否デアアルカト云フコトノ御
 話ガアリマセヌデシタガ、大體ニ於テ自動
 車ハ貨物ノ輻輳シテ居ル範圍ト云フコトニ
 シテ、サウシテ原料品ノ如キ運賃ヲ負擔シ
 得ル力ガ少イモノヨリモ、今後ハ知リマセ
 ヌガ、少クトモ日本ノヤウナ状態ニ於テハ、
 寧ロ雜貨トカ其他ノ製造工業品、若クハ魚
 類、若クハ果物ト云フヤウニ、速ク適宜ニ
 臨時的ニ運ビ得ル方ガ便利デアアル貨物ニ對
 シテヤッタ方ガ宜シイ、品物ヲ送ルニシマシ
 テモ、或ル時間ヲ要スルヨリモ、直グニ行
 ケル方ガ宜イコトハ明カデアアル、現ニ私ノ

選舉區ニ於ケル今治西條間ニ於テモ、私ノ
 知ッテ居ル者ガ自動車運輸業ヲヤッテ居ル、
 初メハ人ガ皆笑ッテ居ッタガ、今日ハ中々盛
 シニナッテ新居濱迄延長シテヤルコトニナッ
 テ居ル、デアルカラ私ハ此百三號線、百四號
 線ヲ決メルニ於テ、殊ニ大臣ノ先程ノ御話
 ヲ伺ヒマシテ、成ベク今日ノ状態ニ於テ收
 支ノ計算ヲ考ヘ、將來良クナルカモ知レヌ
 ケレドモ、成ベク少イ經費デアルト言ハレ
 ル、而モ九州トノ連絡ニ付テ大幹線若クハ
 簡易線デ十分デアルト云フノハ、長イ「ツレ
 ーン」等ヲ走ラセナイデモ「カー」ダケデ宜
 シイト云フコトニナッテ、始メテ簡易線ノ値
 打ガアル、デアルカラシテ斯ウ云フ線ニ對
 シテ、此際必ズヤ自動車トノ比較研究ヲサ
 レタニ違ヒナイ、私ハ大臣ト同様ニ自動車
 ニ望ミヲ囑シテ居ル立場カラ申スト、大臣
 若クハ鐵道省ノ諸君ガ今日デナクテモ宜シ
 イカラ、具體的ニアノ邊ノ貨物ノ鐵道收入
 ヲ計算サレタ基礎デアアル所ノ貨物ノ輻輳ノ
 状態、是等ヲ宇和島八幡濱間ハドチラガ宜
 イカト云フコトヲ御説明ヲ願ヒタイ

○八田委員 自動車ノコトニ付キマシテ河
 上君カラ御話ガアリマシタガ、東北方面ハ、
 自動車ハ冬ニナルト雪ノ爲ニ交通方出來ヌ
 カラ、之ヲ償フダケノ施設ヲヤラネバナラ
 スト思フガ、何カ之ニ對シテ特殊ノ施設ガ
 アルカドウカ、大臣ハ此點ニ付テ何等ノ御
 答辯ガナカッタノデアリマス、又軍馬ノ状態
 カラ申シマシテ、此鐵道建設ノ上ニ考慮ヲ
 費サナケレバナラヌガ、其事ニ對スル大臣
 ノ御意見ヲ御聽キ致シタイト思ヒマス、以
 上二點ニ付テ御伺ヒ致シマス

○三土國務大臣 大體ニ於テ東北、殊ニ裏
 日本ニ屬スル所ハ雪國デアリマスカラ、自
 動車ノ運轉ニ適サナイ、自動車ノ經營ハ出
 來ヌ、從ッテヤラナイ積リデアリマス、サウ
 スルト鐵道豫定線デ自動車ヲヤラナイトス
 レバ、其代リヲヤルカ、是ハヤルトモヤラ
 ストモマダ申サレマセヌ、能ク研究致シマ
 シテ、餘リニヒドイ計算ニナラヌモノデア
 リマスレバヤリマスガ、餘リヒドケレバヤ
 ル譯ニハ行カヌ、豫定線デ自動車ハヤラヌ
 カラ、鐵道ハ必ズヤルト云フコトハ御請合
 ハ大體ノ所出來マセヌ、ソレカラ馬ノ問題
 ニ大變御熱心ノヤウデアリマスガ、先刻ノ
 陸軍當局ノ御話ノ如ク、現在ノ鐵道運輸系
 統デ、馬ノ動員ニハ差支ナイト思ヒマス、
 勿論多ケレバ多イ程結構デアリマスガ、差
 支ナイト思ヒマス、馬ノ産地ヲ總テ鐵道デ
 結び付ケルコトハ結構デアリマセウケレド
 モ、鐵道自身ノ算盤トシテハサウ云フコト

ハ考ヘラレナイ、馬ハ馬、何ハ何ト、一々
 考ヘテ行キマスト、到底要求ニ應ズル譯ニ
 ハ行キマセヌ、鐵道ト致シマシテハ、旅客
 貨物全體ヲ合シテドレ位動クカ、建設費ハ
 ドノ位掛ルカト云フコトカラ見テ行カナケ
 レバ、國防上如何ニ必要デモ、馬ガアルガ
 爲ニ馬産地ハ全部鐵道デ結付ケネバナラヌ
 ト云フコトハ、鐵道トシテハ御引受ハ出來
 マセヌ、陸軍ガ若シサウ云フコトヲ言ヘバ、
 御斷リスルヨリ他ニ仕方ガアリマセヌ

○八田委員 ドウモ極端ナ御答辯デアアル、
 私ハサウ云フ意味デハナイ、之ヲ考慮ノ中
 ニ入レテヤラネバナラヌ、大臣ノ仰シヤル
 コトハ獨斷のデアッテ奇怪至極デアアル、矢張
 輿論ニ聽カネバナラヌノデアアル、議會ハ何
 ノ爲ニアルカ、衆議院ノ決議ヲ尊重シテ政
 府ハ實行シナケレバナラヌノデアアル、サウ
 云フコトヲ政府ハ考慮セズシテ、豫定線ニ
 ナッテ居ラヌカラヤラヌ、議會ハ何等願ミ
 ナイ、地方ノ輿論モ考ヘナイ、國防上ノコ
 トモ考ヘナイ、斯ウ云フ獨斷の財政ノ御
 考ハ、サウ云フ意味デナカッタラウトハ思
 ヒマスガ、考慮ヲ費シテ色々ノ方面カラ考
 ヘテヤラナケレバナラヌト思ヒマスガ、今
 ノハ陸軍ハ斯ウ云フカラ斯ウダト云フ、陸
 軍ノ方ハ現在ノモノヲ以テ——勿論早く出

來レバ宜イニ相違ナイガ、別ニ今差支ナイ、斯ウ云フノデアリマセウガ、斯ウ云フコトハ矢張り國政ヲ議スル上ニ於テハ餘程考ヘナケレバナラス、公平ニ政治ヲシナケレバナラス、議會ノ議論モ聽カズ、唯算盤ノ採算ノ上カラスルト云フコトハ三土君ノ議論トモ思ヘマセヌ

○三土國務大臣 今朝來ノ御意見ヲ伺ヒマスト、私ト八田君トハ大分鐵道經營ニ付テ意見ガ違フヤウデアリマス、八田君ハ場合ニ依レバ、一般會計ノ財政ニ負擔ヲシテモ構ハヌ、鐵道ヲドシノ建設シロ、斯ウ云フ御考デアル、私ノハサウ云フコトハ今日考ヘラレヌノミナラズ、將來若シ法律ヲ變更シテ、サウ云フコトヲヤルトシテモ、私共ハ容易ニハ贊成ガ出來ナイ、矢張鐵道ハ特別會計トシテ自己ノ收支ニ依ッテ經營スルノガ一番堅實デアアル、其根本的ノ見地ガ違フカラ非常ニ違ッテ來ルノデアリマス、總テノ事情ヲ考慮シテ決メテ行クノデアリマシテ、決シテ獨斷デ以テ、議會ヲ無視スルト云フコトハシナイ、議會ノ協贊ヲ經ズンテ出來ル譯ハナイ、既ニ議會決定シタモノデモ屢ニ敷設法ノ改正モアリマスシ、何レノ内閣デモ計畫ノ繰延ハアリマス、繰上ト云フコトハ珍シイガ繰延ト云フコトハ隨分

アル、議會デ一應協贊ヲ經タモノデモ、其後ノ財政ノ状態、若クハ特殊ノ線ニ付キマシテハ、交通運輸系統ノ變更ト云フヤウナコトカラ、今マデ決メテアッタモノデモ、或ハ變ヘルコトモアリマス、變ヘル時分ニハ議會ノ協贊ヲ經ルノデアリマス、議會ノ協贊ヲ經ズニハ一步モ歩ケヌノデアリマス、私共ハ國家ノ爲ニ斯ウスルヨリ外ニ仕方ガナイト考ヘテ多少變更ヲ加ヘ、變更ヲ加ヘタモノヲ議會ノ協贊ヲ求メテ居ルノデアリマス、獨斷デハナイ、八田君ノ御意見ト私ノ意見トハ根本カラ違フヤウニ思ヒマス、私ハ鐵道ハ特別會計デアル以上ハ、飽マデモ自己ノ收支計算ニ依ッテ立ッテ行カケレバナラス、是ハ現在マデ過去數年間ノ經過ヲ見、將來十數年先マデモ見越シテ見マスト、中々豫斷ハ出來ナイ、國家ノ見地カラ考ヘマシテ多少變更ヲ加ヘタノデアリマス、地方ノ人が希望スルカラト云ウテ一々ヤッテ居ッタラ大變ナコトニナル、地方ノ人ハ出來ルダケ希望シマスガ、國家全體カラ切盛リスルノガ政治家ノ責任デアアル、私ハ財政ノ收支カラ見テ變更スルモノハ變更シナケレバナラス、變更スレバ議會ノ協贊ヲ經ナケレバナラスト云フコトヲ考ヘテ居リマス

○八田委員 極端ナ御話デアリマスガ、色御研究ニナリ之ヲ緩和シテ、モウ少シ良イ方法ガ執リ得ルノデハナイカ、大藏省方面ト交渉ヲヤッテ見タカ、其點ニ付テハ考ヘナイ、鐵道固有ノコトダケト云フ御話デアリマスガ、私ハソコガ政治家ノヤルコトデアッテ、私ハアナタト本當ノ政治ノ運用ニ於テ、根柢的ニ違ッテ居ルノハ遺憾デアリマス、私ハソコハ取捨シテ巧ク出來ル、斯ウ云フ考デ居リマス、鐵道豫算ハ議會ノ協贊ヲ經ナケレバ出來ヌコトハ判ッテ居ル、豫定線デナイモノヲ鐵道會議マデ開イテ俄ニ出スト云フコトハ、輿論ニ少シモ重キヲ置カヌ、其様子ガ認メラレルコトヲ遺憾トスルノデアリマス、是ハ根本的ニ意見ガ違ッテ居ルノダカラ、是以上御尋ハ申上ゲマセヌ、其次ニ御尋致シマスガ、今回私設鐵道ヲ買收スル案ガアルヤウデスガ、ソレヲ御出シニナル御方針デアリマセウガ、茲ニ數字ハ現ハレテ居リマスガ、圖面デハ分ラナイ、斯ウ云フ重大ナコトハ今後ノ審議ヲ進メル上ニ伺ッテ置キタイト思ヒマス

○三土國務大臣 御答致シマスガ、多分明日ノ本會議アタリニ上程サレテ、多分此委員會ニ付託サレルデアラウト思ヒマス、付託サレタ上デ説明シタ方が便利ダラウト思ヒマス

○河上哲太君 私ハ尙ホ伺ヒマスガ、大臣ハ土佐ノ西ノ方ハ宇和島ヘ行キ、高知ヲ經テ行クカラ差支ヘナイ、瀬戸内海ヘ向ッテ行クノハ少イト云フ御話デアアル、私ハ政治上ノ面倒ナコトハ申シマセヌガ、新聞で見ルト、近永カラ向フハドウ云フ方針デヤラレルカト云フコトニ付テハハッキリシナカッタウニ聞イテ居ルガ、ソレハ近永宇和島間ヲ建設サレルコトハ喜ビマス、決シテ反對致シマセヌ、此財政状態デアノ會社ヲ買收シテ建設シテ戴クコトハ私ハ愛媛縣人トシテ感謝致シマスガ、アレヲ此財政状態デヤラレルコトニ付テハ、アレカラ先ノ計畫ヲ決メラレタ上デナケレバ、此財政状態デヤラレル筈ハナイ、御好意ニ對シテハ洵ニ御禮ヲ申上ゲ、非常ニ感謝致シマスガ、國政トシテハアレカラ先ノ建設ノ計畫ナクシテ、之ヲ此財政状態ニ於テ建設サレタクナイ、其意味ニ於テ其向フニ付テハドウ云フ御考デアルカト云フコトヲ、若シ大本君ガ聽イテ居リマシタラバ速記録ヲ讀ミマスガ、新聞で見ルト決ッテ居ナイヤウナ話ガアリマシタカラ伺ッテ置キタイ

○三土國務大臣 宇和島カラ近永ヘ行キマスノハ、百三號線ノ一部ヲナシテ居ルノデアリマシテ、昭和八年度カラ建設ニ著手ス

ル計畫ニナツテ居リマス、之ヲ變更シテ繰延
ベル必要ハナイ、少クトモ彼處マデ暫ク工
事ヲ止メルトシテモ、奥地開發上必要デア
ルカラヤツテ置ク、而シテ百三號線ノ一部
デアリマスカラ、近永カラ申村ノ方へ行キ、
或ハ須崎ノ方へ行クト云フヤウナモノハ、
是カラ出發シテ行ケル譯デアリマス、宇和
島カラ宿毛ヘ參ル海岸線モ矢張百三號線デ
アリマス、之ヲヤル爲ニ他ノ部分ニ影響ナ
クテヤルト云フコトハ、奥地開發ノ爲ニモ
ヤツテ置ク方宜カラウト思ヒマス

○河上哲太君 私ハ造ッテ下サルノハ洵ニ
有難イノデアリマス、別ニ文句ヲ附ケル氣
持デハナイノデアリマスカラ、ドウカ皆サ
ンモ此線ニ御同意ヲ願ヒタイ、交通機關ガ
一線ニ付テ建設費ガドレ位掛ルカ、收支計
算ハ付キマセヌガ、八田君ハ、幾度カ起ッテ
馬ノ地方ノ話ヲ熱心ニヤツテ居ラレタガ、所
ガ宇和島ハ八幡濱間ニハ少クトモ今日會社ノ
線ガアリ、是ガ荷物ガ多過ギテ困ルト云フ
状態カト云フト、鐵道省ト同ジヤウニ赤字
ハ出ナイガ、斯様ナ交通機關ガアル、アル
ノハ私感謝致シマスガ、アルニ拘ラズ愛媛
縣ニ對シテ一ツ建設シテ戴クノハ、ナイモ
ノヲアノ邊ヲ開發スル爲ニ建設スルナラバ
意味ガアルガ、アルモノヲ特ニ建設スル位

ナラバ、先ノ計畫ガナクシテ此財政状態デ
ヤラレル筈ハナイ、斯ウ云フ考デ御伺シタ
イノデアリマス、實ハ此線ノコトニ付テハ
私モ大臣ト同ジク奥地ヲ開發シタイ、私ガ
歴史ヲ語ッテハオカシウゴザイマスガ、中村
マデノ豫算ヲ計上シタノハ必シモ中村マデ
ト云フコトデハナク、其時ノ財政状態デ金
ガ餘ルナラバト云フ、此關係カラ其趣意ヲ
表シテ置キタイ、高知縣ノ西、太平洋沿岸ヲ
如何ニシテ早く四國ノ交通政策上瀬戸内海
ニ結付ケルカ、是ガ普通ノ營利主義若クハ
電氣式ノ海岸線デナク、國有鐵道ノ精神カ
ラ言ッテ、西太平洋沿岸ヲ如何ニシテ早く瀬
戸内海ニ結付ケルカ、陸上カラ結付ケテヤ
ルカ、是ガ大事ナ國有鐵道ノ精神デアル、出
來ルナラバ宿毛カラ須崎マデヤリタイガ、
其時ノ財政状態ガ許サナカッタノデ仕方ガ
ナイカラ豫算ノ範圍デト云フ趣意ヲ示スト
云フ意味デ中村ヘ出シテ、ソレカラ百四號
線ヲ經テ宇和島ヘ出ルヤウニト云フ意味デ
ヤツテデアリマス、其關係上下ウシテモ
先ヅ近永カラ南シテ太平洋沿岸へ行キ、ソレ
カラ北シテ百四號線ヲヤルト云フコトガ大
事デアアル、其工事ヲ始メルノト、モウ一ツ
ハ宇和島ガ築港スルノニ付テ海陸ノ連絡ノ
設備ヲシナケレバナラス、此意味カラ宇和

島鐵道ヲ買收致シテ、即チ百四號線著手年
度ト同ジ年ニ買收シテ、ソレニ依ッテ材料ヲ
送り海陸連絡ノ設備ヲスルト云フ意味デ、
アレガ早く買收サレルコトニナツテ居ル、所
ガ今度ハソレガナイ、ナクシテ而モ今ハ交
通機關ガアル、サウシテ財政状態ハ打切り
若クハ繰延ヲシテ居ルノデアアル、ソレヲナ
シテ貰フコトハ縣人トシテ有難イノデアリ
マスガ、御互此處デ全國ノ鐵道ヲ審議スル
上ニ於テハ、必ズヤアレカラ後ヲドウスルカ
ト云フ計畫ガナケレバナラス、ドウシテモ
此意味ニ於テ早くヤラナケレバナラス、ソ
レガ計畫ナシニ早く出來ル筈ハナイ、故ニ
私ハ今考慮申ト云フ程度デ御決定ニナツタ
トハ思ハナイ、私ハ新聞見ルト、向フハ
自動車デヤルカラ宜イト云フ、ソナコト
ハ必要ハナイ、寧ろ私ハ自動車ノ進歩ニ將
來ノ望ヲ囑シテ居ル、大臣モサウデアラウ
ト思フ、サウデナケレバ、自動車ノ計畫ヲ
樹テル筈ハナイノデアリマス、計畫ナシニ
ヤルト云フコトハ、私ハ聞エナイト思フ、
御禮ハ申上ゲタイケレドモ、此處ノ委員會
ニ出テ皆様ニ御邪魔スル立場カラ申シマス
ルト、何か計畫ガナケレバナラス、方針ナ
クシテ之ヲ今日ノ財政上ヤルト云フコト
ハ、意味ガアリマセヌカラ、或ハ大本君ニ

御話ニナツタノナラ宜シウゴザイマスガ、兎
ニ角一ツ聽キタイ

○三土國務大臣 今申シタヤウナ次第デ、
是カラ向フノ近永カラ高知縣ヘ參リマスル
方ハ、マダ鐵道ノ路線ヲドウ決メルカト云
フコトニ付キマシテハ、餘程研究ヲ要スル
ノデ決メ兼ねテ居ルノデアリマス、率直ニ
申上ゲマスト云フト、此南豫方面ハ如何ニ
モ氣ノ毒デ、鐵道ガ長イ間架ラナカッタ、宇
和島ハ市デアッテアノ邊ノ中心デアアル、併シ
彼處ニハ鐵道ガナイ、今度線路ヲ變ヘテ八
幡濱カラ開通スルト同時ニ、近永線モ一緒
ニ著手スルコトニナリマシタノハ、元ノ百
四號線ノ沿線ノ人ハ如何ニモ氣ノ毒デア
ラシテ、自動車ノ經營ヲヤツテ半分ハ大
洲ヘ下ッテ來ルシ、半分ハ近永へ行キ、近永
デ鐵道ニ連絡シタラ宜クハナイカ、其奥地
開發ノ意味カラ早クヤルコトニ致シタノデ
アリマス、是カラ向フハドウヤルカト云フ
コトニ付キマシテハ、研究調査ヲ致ス積リ
デアリマスカラ、率直ニ申シマスレバマダ
決定致シテ居リマセヌ

○河上哲太君 私ハ愛媛縣人トシテ御好意
ニ對シマシテハ感謝シマス、私ガ申上ゲマ
スノハ、此財政状態ニ於テ早く買フト云フ
ニ付テハ鐵道省ノ方針トシテハ、アレカラ

先ノ方針ヲ決メテマナケレバナラス、今交

通機關ガアル、アルノニヤルト云フコトハ、

唯愛媛縣カラ申シマスレバ、非常ニ有難イ

ノデアリマスケレドモ、是カラ先ハドウス

ルカ、線路ノ云々ト云フコトハ、ソレハ其

豫算ガ通ツテ後ニ線ノ選定ハ行ハレルノデ

アルカラ、サウ云フ細カイコトヲ言フノデ

ハアリマセヌ、大體鐵道會議ノ議論ヲ基本

ニシテヤツテ居ラレルヤウデス、大臣ノ御説

ニモ鐵道會議ノ御調査ガ其儘出テ居ルヤウ

デアリマスカラシテ、是カラ工事ヲヤル時

ノ線路選擇ノヤウナ、サウ云フ細カイコト

ヲ言フ必要ハナイノデアツテ、方針トシテ

ハ此處迄決メラレルノニハ何カナケレバナ

ラヌ管デアリマス、何カナクシテ之ヲヤラ

レルト云フコトハ如何ニモ物足ラナイ、

御遠慮ニナル必要ハナイ、高知縣ノ人カ

ラ言ヘバ都合ガ宜シイ、殊ニ自動車道路

ナド、私ハ却テ吹聴シテ宜シイ、遠慮スル

必要ハナイト思フガ、是カラ先ト云フモノ

ハ可ナリ大事ナ意義ヲナスト思フ、兎ニ角

外ノ線ニ比較スレバ問題ニナリハシナイカ

ト思フ線デアルカラ、此先ノコトガ明デナ

クシテ之ヲヤラレルト云フコトハ、私ハ多

大ノ疑問ヲ有ツノデアアル、方針ガナクシテ

唯不便ダカラ造ツタト言ハレルナラバ、ソ

レハソレトシテ聽キ置キマス

○**横山委員** 議事進行ニ付テ、只今マデノ

質問應答ノ經過ヲ見マスルト、専ラ建設線

ニ付テノモノ、ヤウデアリマスガ、承ル所

ニ依リマスルト、既ニ併託サレタモノモア

リマスルシ、將ニ併託サレントスル鐵道ニ

關スル諸案ガアルヤウデアリマス、質問ハ

議事整理ノ爲ニ、建設線ナラ建設線ト限ツテ

御進行ニナリマスガ、併託ノ後ニ質問致シ

マシテモ、其場合ニ於テ、ソレハ建設線ニ屬

スルカラト云フヤウナ意味ニ於テ、發言ヲ

峻拒サレト云フナウナ嫌ガナイナラバ、

私共ハ併託ノ後ニ致シタ方ガ便利ト思ヒマ

スガ、ドウシマスカ

○**秦委員長** 是ハモウ質問モ大分進ンデ參

リマシタカラ、兎ニ角此質問ヲ繼續シテヤ

ラウト思ヒマス

○**横山委員** 併託セラレタモノガアツテ、ソ

レト一緒ニ質問シテ宜イデスカ、詰リ建設

線ナラ建設線ノ質問ヲ打切ツテ置イテ、然ル

後ニ他ニ移ル……

○**秦委員長** 新ニ付託サレタモノハ、ソレ

ハ後ニ願ヒタイト思フ

○**横山委員** 一緒ニヤツテ宜ケレバ、私共ハ

餘リ大シタ質問ヂヤアリマセヌカラ、マダ

延ベテモ宜イ、ソコノ御方針サヘ承ツテ置ケ

バ、後デモウ建設線ノ質問ハ濟ンダカラト

云フテ發言ヲ拒マレテハ困リマスカラ、念

ノ爲ニ伺ツテ置キマス、サウ云フコトハアリ

マセヌカ

○**秦委員長** アリマセヌ——田村君

○**田村委員** 私ハ主トシテ高知縣ニ關スル

鐵道ノ建設ノ問題ニ關シマシテ御伺致シタ

イト思フノデアリマスガ、其前ニ前提トシ

テ一言御所見ヲ伺ツテ置キタイト思ヒマス、

鐵道當局ガ屢、御説明ヲセラレテ居リマス

ル委員諸君トノ應答ヲ伺ツテ居リマスルト、

今回ノ豫定計畫ニ對シマスル所ノ改訂ノ御

方針ノ、主要ナル點ガドノ點ニアルカト云

フコトヲ解釋ニ苦シムノデアリマスガ、鐵

道大臣ハ歐米ノ事例ヲ引用セラレ、更ニ今

日ノ我國ノ經濟事情ヲ御引證セラレマシ

テ、鐵道經濟ノ非常ニ苦シイ點ヲ縷々説明

セラレテ、今回ノ改訂ヲセラレマスル所ノ

要素ノ如クニモ承ルノデアリマス、又先刻

河上代議士ノ御質問ニ對シマスル所ノ御答

辯ヲ承リマスルト、幹線ト認ムベキモノハ

之ヲ改良モ建設モ遂行シ、支線ニ屬スルモ

ノハ原則トシテ自動車ノ經營ニ移スノデア

ル、斯ウ云フヤウニ御話ニナツタ如クニ伺

タノデアリマスガ、其點ニ付キマシテ、今

日本格的ニ自動車計畫ヲナサレルト云フ根

本ノ御趣旨、及其御方針ニ付キマシテ、今

一應御迷惑ナガラ御説明ヲ煩シタイト思ヒ

マス

○**三土國務大臣** 支線デ自動車デ間ニ合フ

モノハ、自動車デヤツテ見タイト思ヒマス、

幹線ノ中デモ、或ハ一時當分ノ中自動車デ

ヤツテ、ソレデ早ク地方ノ便宜ヲ開發シ、同

時ニ鐵道ニ先行シテ、貨物、旅客等ノ動キ

ヲ見テ、ソレデ又鐵道ニ變ヘルカモ知レマ

セヌ、ソレカラ支線トシテ自動車デ差支ノ

ナイモノハ成ベク自動車デヤル、本線デモ

當分ノ中自動車デヤツテ居ルモノハアリマ

ス、例ヘバアナタノ方カラ佐川、松山へ行

クナド、云フヤウナ、ア、云フモノハ幹線

的ノモノデアリマスケレドモ、是ハ自動車

デヤツテ行ク積リデアリマス

○**田村委員** 所謂四國ノ循環鐵道ハ、主ト

シテ太平洋方面ニ面シタ部分ガ未ダ未著手

ニナツテ居ルヤウデアリマス、是ハ今回ノ鐵

道當局ノ御方針ハ、將來適當ナル機會ニ於

キマシテ、此太平洋方面ニ面シマシタル、

所謂海岸循環ハ之ヲ建設セラル、所ノ御意

思ガアリマスヤ否ヤ、此點ヲ伺ヒマス

○**三土國務大臣** 出來レバ鐵道ヲヤリタイ

積リデ居リマス、併シ或ハ鐵道ヲヤルニ先

ンジテ、自動車運輸ヲ始メルカモ知レマセ

又

○田村委員 先刻河上委員カラノ御質問ニ對シマス所ノ御答辯デ、了解ニ苦シム點ガアッタノデアリマシタガ、明日ノ本會議ニ御提案セラレントシテ居リマス所ノ私鐵買収案ノ中、少クトモ宇和島近永線ノ買収案ガ御提案ニナルコト、存ジマス、此買収ハ先ノ線ヲ見越シテデナクシテ、單ニ奥地ノ開發ノ意味ダケデモ、之ヲ買収スル所ノ價値アリト云フヤウナ御考ヲ懷イテ居ラレルノデアリマセウカ、更ニ八田サンノ御質問ノ所デアリマシタカ、河上委員ニ對シマス所以前ニ於テ、大臣カラ御説明ノアリマシタ際ニ、四國ノ循環線トシテ近永カラ中村、窪川ヲ經テ高知方面ニ通ズル所ノ本線トシテ買収スル必要ガアル、更ニ又岩松、平城、宿毛ヲ經テ中村ニ通ズル所ノ海岸線ヲヤレヌデモナイト云フヤウナ御話モアリマシタノデアリマスガ、此點ハ近永宇和島線ノ私鐵ヲ買収スル爲ニ、岩松カラ宿毛ノ方ニ出マス所ノ、所謂海岸循環線ト云フモノハ御打切ニナルヤウナ御方針ハ持ッテ居リマセヌカ、此點ハ高知縣ニ重大ナル關係ヲ有ッテ居リマスルカラ、此際御方針ノアル所ヲ明ニ承ッテ置キタイト思ヒマス

○三土國務大臣 宇和島カラ西海岸ヲ廻ル鐵道ト、近永カラ中村ヘ行ク鐵道トハ全然別個ノ問題デアリマス、近永カラ中村ノ方ニ行ク、若クハ窪川ノ方ニ行クト云フヤウナ鐵道ガ出來テモ、西海岸廻リノ方ヲ止メルト云フ意味ハアリマセヌ

○田村委員 更ニ私ハ高知市ヲ中心ト致シマシテ、省線後免驛ヲ起點ト致シマシテ、安藝、室戸ヲ經マシテ、小松島ニ通ズル所ノ海岸線ノ建設ニ付キマシテハ、縣民多年ノ要望デアアルノデアリマス、先刻ノ祕密會ノ時ニ於キマシテモ、軍部當局ハ、高知聯隊ヲ一朝有事ノ場合ニ輸送スル時ニハ、小松島ノ方ニ輸送スルノデアアル、斯ウ云フコトヲ申サレタノデアリマスケレドモ、軍事上ノ見地カラ言ッテモ、此線ハ現在土讚線ニ依リマシテ、徳島ヲ經テ小松島ニ參リマスルヨリモ、此方ガ軍事ノ點カラ見マシテモ、何レノ點カラ見テモ適當ノ線デハナイカト思ヒマスガ、此點ニ付キマシテハドウ云フ風ナ御考ヲ有タレテ居ルノデアリマセウカ、承リタイ

○三土國務大臣 高知ノ方面ト致シマシテハ、今土讚線ノ線上工事ヲ急イデ居ルノデアリマス、是ガ完成スルト同時ニ一ツ考ヘテ見タイト、斯ウ云フ積リデ居リマス

○田村委員 更ニ私ノ御伺致シタイトハ山田、藤野線ノ削除ノ問題デアリマス、山田、藤野線ハ昭和二年ノ慥カ五十二議會ト存ジマスガ、民政黨ノ内閣ノ時代ニ建設線ニ編入セラレタト承知致シテ居リマスルガ、是ハ事務當局ノ方ニ御伺ヒスル方ガ却ッテ便利デアラウト思ヒマスルガ、此線ガ今日削除セラレテ居ルノデアリマスルガ、是ハ支線デアリマス、此線ガ民政黨ノ内閣ノ時代ニ於テ、慥カ井上鐵道大臣ノ時代デアッタと思ヒマスルガ、其時ニ如何ナル理由ニ依ッテ、如何ナル重要性ヲ帶ビテ、如何ナル格別ノ事情ニ依ッテ此線ガ建設線ニ編入セラレタモノデアアルカ、四國カラ申シマスルナラバ、海岸線ノ速成ヲ非常ニ要望致シテ居ッタノデアリマスルカラ、是ヨリモ先ニ而モ土讚線ノ建設ノ完成ヲ見ズシテ此支線ガ建設線ニ編入セラレ、サウシテ其當時ハ昭和六年ニ著手シテ昭和十年ニ完成ヲスルト云フヤウナ計畫ノ下ニ、此線ハ立案セラレタノデアリマスガ、是ハ如何ナル理由ト事情ニ依ッテ建設線ニ編入セラレタノデアリマスルカ、其當時ノ事情ヲ承リタイトデアリマス

○池田政府委員 其當時ノ事情ハ、私モ實ハ能ク存ジマセヌケレドモ、聞イテ居ル所ニ依リマスレバ、其當時ハ經濟界ガ非常ニ良クテ、先程大臣ガ説明サレタヤウニ、多

少算盤ガ不利デアッテモ抱キ得ルト云フ見込ノ下ニ計畫致シタノデアアルト聞イテ居リマス

○田村委員 濱口内閣ノ時デアッタト存ジマスルガ、江木鐵道大臣ノ下ニ、全國ニ互リマシテ、二十三線餘ノ建設線ノ削除ヲ致サレテ居ルノデアリマス、其際ニモ此線ハ削除ノ中ニ入ラズ、今日マデ來テ居ッタノデアリマスルガ、斯ウ云フヤウナ大整理ヲシマスル場合ニモ、是ガ削除セラレテ居リマセヌ事ニ付キマシテハ、相當ノ理由ガナクテハナラヌト思フノデアリマスルガ、其際ニ何故ニ此線ハ削除セラレナカッタノデアリマスルカ、其削除ニナラナカッタ理由ヲ伺ヒタイ

○池田政府委員 私ハ不幸ニシテ其當時關係致シテ居リマセヌカラ、其理由ハ存ジマセヌケレドモ、恐ラク色々ナ事情デ削除サレナカッタノグラウト思ヒマスガ、今回削除スル案ガ提出サレタノハ、山田藤野線ト云フノハ非常ニ利益率ガ悪イノデゴザイマス、鐵道省ノ調査ニ依リマスルト、資金ニ對スル益金ノ割合ハ非常ニ少イノデアアル、是ハ寧ロソレダケノ貨物及旅客ノ數量デアレバ、近キ將來ニ於テ自動車運輸ヲヤッタナラバ宜イデハナイカト云フ見地ノ下ニ、

○田村委員 更ニ私ノ御伺致シタイトハ山田、藤野線ノ削除ノ問題デアリマス、山田、藤野線ハ昭和二年ノ慥カ五十二議會ト存ジマスガ、民政黨ノ内閣ノ時代ニ建設線ニ編入セラレタト承知致シテ居リマスルガ、是ハ事務當局ノ方ニ御伺ヒスル方ガ却ッテ便利デアラウト思ヒマスルガ、此線ガ今日削除セラレテ居ルノデアリマスルガ、是ハ支線デアリマス、此線ガ民政黨ノ内閣ノ時代ニ於テ、慥カ井上鐵道大臣ノ時代デアッタと思ヒマスルガ、其時ニ如何ナル理由ニ依ッテ、如何ナル格別ノ事情ニ依ッテ此線ガ建設線ニ編入セラレタモノデアアルカ、四國カラ申シマスルナラバ、海岸線ノ速成ヲ非常ニ要望致シテ居ッタノデアリマスルカラ、是ヨリモ先ニ而モ土讚線ノ建設ノ完成ヲ見ズシテ此支線ガ建設線ニ編入セラレ、サウシテ其當時ハ昭和六年ニ著手シテ昭和十年ニ完成ヲスルト云フヤウナ計畫ノ下ニ、此線ハ立案セラレタノデアリマスガ、是ハ如何ナル理由ト事情ニ依ッテ建設線ニ編入セラレタノデアリマスルカ、其當時ノ事情ヲ承リタイトデアリマス

○池田政府委員 其當時ノ事情ハ、私モ實ハ能ク存ジマセヌケレドモ、聞イテ居ル所ニ依リマスレバ、其當時ハ經濟界ガ非常ニ良クテ、先程大臣ガ説明サレタヤウニ、多

○田村委員 更ニ私ノ御伺致シタイトハ山田、藤野線ノ削除ノ問題デアリマス、山田、藤野線ハ昭和二年ノ慥カ五十二議會ト存ジマスガ、民政黨ノ内閣ノ時代ニ建設線ニ編入セラレタト承知致シテ居リマスルガ、是ハ事務當局ノ方ニ御伺ヒスル方ガ却ッテ便利デアラウト思ヒマスルガ、此線ガ今日削除セラレテ居ルノデアリマスルガ、是ハ支線デアリマス、此線ガ民政黨ノ内閣ノ時代ニ於テ、慥カ井上鐵道大臣ノ時代デアッタと思ヒマスルガ、其時ニ如何ナル理由ニ依ッテ、如何ナル格別ノ事情ニ依ッテ此線ガ建設線ニ編入セラレタモノデアアルカ、四國カラ申シマスルナラバ、海岸線ノ速成ヲ非常ニ要望致シテ居ッタノデアリマスルカラ、是ヨリモ先ニ而モ土讚線ノ建設ノ完成ヲ見ズシテ此支線ガ建設線ニ編入セラレ、サウシテ其當時ハ昭和六年ニ著手シテ昭和十年ニ完成ヲスルト云フヤウナ計畫ノ下ニ、此線ハ立案セラレタノデアリマスガ、是ハ如何ナル理由ト事情ニ依ッテ建設線ニ編入セラレタノデアリマスルカ、其當時ノ事情ヲ承リタイトデアリマス

○池田政府委員 其當時ノ事情ハ、私モ實ハ能ク存ジマセヌケレドモ、聞イテ居ル所ニ依リマスレバ、其當時ハ經濟界ガ非常ニ良クテ、先程大臣ガ説明サレタヤウニ、多

先程大臣が言ハレタヤウニ、先以テ自動車ニ依ッテ地方ノ要望ヲ滿シテ、貨物數量、旅客數量ガ殖エタ際ニ鐵道ヲ敷イテモ遅クハナイデハナイカ、斯ウ云フ見地ノ下ニ今回一先ヅ線延ベルト云フ案ガ出來マシタ、其線延ガ昭和十二年度以降ニ互ルヤウナモノハ、豫算ノ都合上一先ヅ豫算面カラ落シテ置イテ、又財政ノ都合ガ付イタ時ニ上ゲテモ宜イシ、今申シタヤウニ貨物旅客ノ數量ガ殖エタ際ニ、鐵道ヲ敷イテモ宜イデハナイカト云フ見地カラ、今回削除ノ提案ヲシタノデアリマス

○田村委員 新ニ建設線ニ編入スル所ノ所謂新線ガ出來マシタガ爲ニ、其豫算ノ遺線リガ付カヌガ爲ニ、是等ノ犠牲ニナツタモノ、如クニ言ハレタヤウナ事柄モ承知ヲ致シテ居ルノデアリマスルガ、斯様ナ事柄ハ絶對ニナイノデアリマスカ

○池田政府委員 豫算ノ都合モ無論アル譯デゴザイマスガ、御承知ノ通り此山田蕨野線ノ蕨野ト云フ所ハ人家ハ殆ドナイノデアリマシテ、是ハ田村サンハ吾々ヨリモ能ク御存ジノコト、思ヒマスガ、其二百尺上ノ方ニ大栃ト云フ部落ガゴザイマス、其處ニハドウシテモ鐵道ハ近付クコトガ出來ナイ、山田蕨野線ノ使命ト云フモノハ、一體

大栃マデ行カナケレバ其使命ヲ完ウシナイノデハナイカト思ヒテ居ル次第デアリマス、然ルニ最近御承知ノヤウニ自動車ガ非常ニ發達シテ參リマシテ、自動車運輸ヲ以テスレバ、其目的トスル大栃マデ達スルコトガ出來ルノデ、先以テ大栃マデノ輸送ヲ開クト云フ事ガ今日ニ於テ急務デハナイカ、先程申上ゲマシタヤウニ益金ノ割合ガ非常ニ少イノデ、鐵道建設ハ一先ヅ見合セマシテ、之ニ代ルニ近キ將來ニ自動車運輸ヲ開始シテ、サウシテ暫ク様子ヲ見ルト云フコトガ妥當デハナイカ、斯ウ考ヘタ次第デゴザイマス

○田村委員 私ノ伺ヒタイト思ヒテ居リマシタ事柄ヲ今建設局長カラ御話ニナツタノデアリマスガ、私ノアノ附近ノ地理ハ最モ精シイノデアリマス、蕨野ニハ殆ド人家ハアリマセヌ、隨テアノ附近ノ物資集散地デアリマス所ノ大栃ノ町ニ達シナケレバナラヌノデアリマス、是ガ技術上大栃ノ町ニ終點ヲ置クコトガ出來ナイ、斯ウ云フ點ハ建設線ニ編入セラレタ當時カラ極メテ明瞭ナ事デアリマス、先刻ノ最初ノ御答辯ト只今ノ御話トハ——終點ガ人家ノ無イ所デアアル、大栃マデ結バナケレバ意義ヲ成サヌノデアアル、ケレドモ是ハ二百尺モ高イ所ニ在

ルカラ大栃トハ結ベナイ、斯ウ云フ意味ノコトヲ申サレマシタガ、ソレガ主トナツテ此線ガ削除サレタモノデアリマセヌカ、此點ヲ伺ヒタイ

○池田政府委員 ソレモ理由ノ一ツデゴザイマスガ、主トシテ吾々ノ考ヘマスル所ハ、鐵道ヲカケマシテハ建設費ガ非常ニ掛ルノデ、利益率ガ先程申スヤウニ非常ニ少イノデアリマス、幸ニ昨今自動車運輸ト云フモノガ進歩シテ參リマシタカラ、ソレニ依ッテ先ヅ當面ノ地方ノ要望ヲ滿シタ方ガ利益デアアル、妥當デアアル、斯ウ考ヘマシタ次第デアリマス

○田村委員 鐵道ニ依ッテ荷客ノ輸送ヲスルヨリモ、自動車ニ依ッテ荷客ノ輸送ヲスル方ガ其地方ノ寧ロ便利デハナイカ、斯ウ云フ地方ノ利便ヲ御考ヘニナツテ變更セラレタヤウニ御説明下サツタノデアリマスガ、私ハサウ云フ事ヲ前提トシテ、ソレガ殆ド全部デアルト解釋シテ更ニ質問ヲ續ケテ見タイト思ヒマスガ、サウ解釋シテ宜シウゴザイマスカ

○池田政府委員 私ハ先程カラ全部トハ申上ゲテ居ラナイ積リデアリマス、今申上ゲマシタヤウニ、大栃ト云フ所ニ運輸ヲ開クニハ、自動車ヲ運行シタ方ガ鐵道ヨリモヨリ

便利ニナルデハナイカト云フ事ガ一ツノ理由デアリマス、ソレカラ鐵道ヲ暫ク見合セルト云フ事ニ提案致シマシタノハ、利益率ガ今日非常ニ少イ線路デアリマスカラ、先程大臣ガ申サレマシタヤウニ、他ニ於テ非常ニ利益ノアル線路ガアル、詰リ鐵道ノ收益ガ多イ場合ニハサウ云フ線路モ抱キ得タカモ知レマセヌケレドモ、今日ニ於テハ非常ニ苦シイ立場ニ居リマスノデ、一先ヅ鐵道ノ建設ヲ中止シテ、折ヲ見テ又ヤッタ方ガ宜クハナイカ、斯ウ云フ二ツノ理由ダト思ヒマス

○田村委員 ソレデハイマ一度私ハ根本方針ニ付テ伺ヒテ見タイト思ヒマスガ、今日ノ經濟事情ニ依ッテ鐵道經濟ガ非常ニ窮迫ヲ告ゲテ居ルカラ、旁、是等モ其一ツノ理由トシテ斯様ナ變更ヲシタト云フ風ニ解釋ヲ致シテ宜イノデアアルカ、鐵道大臣ガ先刻申サレマシタ如クニ、將來ノ鐵道經營ト云フモノハ、自動車ノ發達ト港灣ノ修築ニ依ッテ鐵道ノ收益ガ奪ハレル、ダカラ今日ノ鐵道計畫ハ必シモ將來ノ鐵道計畫ヲ良クスルモノデアナイ、即チ言換ヘマスルナラバ鐵道ノ建設ニ對シテハ將來相當ニ斯ウ云フヤウナ事柄ヲ考慮シナケレバナラヌ、故ニ或モノハ自動車ニシ、又不經濟線ト言ハレルヤ

ウナ線ハ之ヲ削除スルト云フコトニナッタノデアツテ、鐵道ノ根本方針ニサウ云フヤウナ搖ギガ來タ、其餘波ヲ受ケテ此線ガ削ラレタモノデアルカ、建設局長ノ御話ニナリマズル如クニ、蕨野ヲ終點トシテハ此鐵道ハ面白クナイ、ドウシテモ此鐵道ヲヤルナラバ大橋ノ町ニ出ナケレバナラスケレドモ、此町ハ二百尺ト云フヤウナ高地デアルカラ、町ノ方ニハ鐵道ガ參ラス、ソレガ爲ニ是ガ要因トナツテ自動車ニ變ハルノデアルカ、其點ヲモウ一度ハッキリ伺ヒタイ

○池田政府委員 今、田村君方言ハレタ最初ガ根本デアリマス、サウシテ山田蕨野間ノ如キ短距離ノモノハ先ヅ自動車デヤツテ見ヨウ、將來非常ニ物資ヤ旅客ノ輸送ガ多クナレバ短距離デモ鐵道ニ變ヘルガ、先ヅ今ノ所デハサウ云フ見込ハ立タヌカラ、自動車デヤツテ見ヨウ、斯ウ云フ積リデアリマス

○田村委員 ソレデハ更ニ伺ヒマスルガ、要スルニ本線ハ、鐵道ノ建設ヲスルコトハ經濟上下ウカト思フカラ、取敢ズ自動車デ以テ地方ノ便利ヲ圖ツテ置イテ、サウシテ他日更ニ物資ノ動キヤ、旅客ノ動キニ依ツテ鐵道ヲ建設スルガ、現在ハ建設スル意思ハナイト解釋シテ宜シイカ

○池田政府委員 其通りデス

○田村委員 若シサウト致シマスナラバ、昭和八年度ノ自動車計畫ノ中ニハ之ヲ御入レニナラナカッタノデアリマセウカ、之ヲ伺ヒマス、尙ホ九年度ニ於テハ自動車營業ヲ開始セラル、所ノ的確ナル御意思ガアルカドウカ、此點ヲ伺ヒマス

○三土國務大臣 昭和八年度、九年度、十年度ノ三箇年ノ計畫ヲ立テマシタノハ、既ニ道路ガ出來テ居テ直チニ八年カラヤレルモノモ随分アルカラ、サウ云フモノヲ早クヤル、又是カラ縣廳ト相談シテ道路ノ改修ヲサスヤウナモノハ少シ後レル、詰リ出來ルダケ算盤ノ採リ易イモノカラ先ニヤツテ行ク、斯ウ云フ積リデ順序ヲ決メタノデアリマス、丁度山田蕨野間ハ一番收入狀態ガ悪イカラ、ツイ後廻シニナツタノデアリマスガ、併シ九年、十年マデノ自動車計畫ハ多少變更シテモ宜シ、又極ク小サイモノデ變更スルコトガ出來ルカラ、出來ルダケ早クヤルコトヲ考ヘテ見マセウ

○田村委員 私ノ高知縣ノ財政ノ事情ハ鐵道大臣御承知ノ通りデアリマス、自動車運輸ニ依リマスナラバ、三分ノ一ハ地元縣ニ於テ負擔シナケレバナラヌコトニ相成ッテ居ルノデアリマス、所ガ高知縣ノ財政ハ二

千萬圓餘ノ縣債ヲ持チ、而モ其中約一千六百萬圓ト云フモノハ水害ノ爲ニ利用シマシタ所ノ縣債デアリマス、隨テ縣ハ財政上非常ナル窮迫ニ陥ッテ居リマス、新規事業ハ一切シナイ、斯ウ云フコトニ内務省カラ監視ヲセラレテ居ルト云フヤウナ實情ニアリマス、隨テ佐川松山間ノ此自動車道路ノ修築ヲスルニ付キマシテモ、相當縣ハ困難ノ事情ニ在ルト云フコトデアリマス、斯ウ云フヤウナ格別ノ縣ノ經濟上財政上ノ實情ニ在リマスカラ、鐵道省ハ更ニ内務省ト御打合ヲ爲サツテ、斯ウ云フ問題ニ付テハ、更ニ別ニ自動車道路開鑿ノ費用ニ對シテ、考慮セラルル所ノ御意思ガアリマスカ、此點ヲ伺ヒタイ

○三土國務大臣 多少地方ノ事情ニ依ツテ考慮スル積リデアリマス、併シ餘リニ地元ノ出資ヲ減シマス、四方八方カラ手が出テ治マリガ付カヌカラ他トノ權衡ト云フコトモ考ヘナケレバナリマセヌ、特殊ノ事情ガアレバ相當考慮致シマス

○田村委員 私ノ質問ハ是デ終リマス

○林(路)委員 私ノ質問ハ政府ノ御方針ヲ明確ニシテ置ケバ宜イノデアリマスカラ、極メテ端的ニ質問ヲ致シマス、第五十六議會ニ田中内閣ガ提案致サレマシタ豫定線ノ

追加、是ハ貴族院ニ於テ審議未了ノ爲ニ不成立ニ終ッタノデアリマスガ、今日政府ハ此田中内閣ガ嘗テ提案致シマシタル所ノ豫定線ヲ、今尙ホ將來國有鐵道トシテ建設スベキ鐵道ノ路線デアルト御考ヘニナツテ居リマスカドウカ、之ヲ先ヅ御伺ヒ致シタイ

○三土國務大臣 田中内閣ノ提案シタモノハ矢張適當ナモノト思ッテ居リマス、然ラバ此内閣ガ提案スルカト云フコトニナリマス、私ノ方針デハ愈々建設シテ宜イモノカラヤツテ行ッテ、豫メ豫定線ヲ議會デ協贊ヲ經ルコトハサウ必要ハナカラウカト思ヒマス

○林(路)委員 鐵道敷設法ヲ制定致シマシタ當時、何故ニ建設計畫ノ作ハナイ豫定線ヲ決メテ置ク必要ガアルカト云フコトニ對シテハ、先刻河上代議士カラノ質問ノ一節ニ御述ベニナリマシタヤウニ、所謂地方經濟ノ發達助長ノ一ツノ指針ヲラシメル上カラモ、國有鐵道トシテ其建設計畫ハ伴ヒマセヌデモ、將來建設スルニ適當ナル場所デアルトスルナラバ、之ヲ定メテ置クコト云フコトガ此鐵道敷設法ノ目的デアラウト思フ、サウ致シマスルト云フト、今回ノ御提案ヲ見マスルト云フト、直チニ建設スルモノヲ追加スルト云フ所ノ御方針デ御提案ニ

追加、是ハ貴族院ニ於テ審議未了ノ爲ニ不成立ニ終ッタノデアリマスガ、今日政府ハ此田中内閣ガ嘗テ提案致シマシタル所ノ豫定線ヲ、今尙ホ將來國有鐵道トシテ建設スベキ鐵道ノ路線デアルト御考ヘニナツテ居リマスカドウカ、之ヲ先ヅ御伺ヒ致シタイ

ナッタモノデアリマシテ、只今大臣ノ御答辯ノ通りデアリマス、併ナガラ最初鐵道敷設法ヲ制定シマシタ當時ノ一面ノ目的カラ申シマスルナラバ、此田中内閣當時ニ提案致シマシタ豫定線ノ中、政府ハ尙ホ今日ニ於テモ必要ナル線路デアルト云フ御判斷ガ付キマシタナラバ、斯様ナ内閣ノ下ニ於テ議會ニ御提案ニナルコトガ當ニ時機ヲ得タモノデアライカト思フゾデアリマス、隨テ建設計畫ノ伴フモノダケヲ提案スルト云フコトヲ今後ノ絶對的御方針ニナサルト云フコトハ、少ナクトモ此鐵道敷設法ノ目的精神ニナリハセヌカト思フゾデアリマス、此點ハ如何デアリマスカ

○三土國務大臣 鐵道敷設法ニ依ッテ遠キ

將來建設スベキモノ迄モ豫定シテ置クト云フコトハ、其地方ノ産業開發ニ關スル計畫上カラ中セバ便利ナコトガアリマス、最初現在ノ鐵道敷設法ヲ制定シタ時ニハ其積リデアツクニ違ヒナイ、私モ多少關係シテ居リマスガ、其頃ハ豫定シタ鐵道ハ全部工事ニ掛カル積リデアリマシタガ、鐵道ノ收入ガ先刻御話ヲシタヤウニ毎年増ス一方デアリマス、此勢デヤツテ行ケルト斯ウ思ッテ居タノデアリマス、所ガ其後十數年間ノ經驗

ニ依ッテ考ヘテ見マスト云フト、經濟上ノ變化ニ依ッテ必シモ其線デナクシテ他ノ方ヲ選ンダ方宜イト云フ點モ出テ來ル、又豫定シタ線デ以テ此鐵道財政ノ上カラ申シマスルト云フト、中々十年ヤ二十年デハ掛ラスト云フヤウナモノモ出來テ來ル、サウ云フ場合ニハ却テ地方ノ人ヲ誤ラシメルト云フコトガ起ル、即チ利弊相半バスルカラ、是カラ新線ヲ加ヘル時ニハ愈々計畫ガ成ッテ著手スルト云フ場合デナケレバ豫メ之ヲ決メテ置クト云フコトハ、地方民ヲ誤ラシメルコトニナリ、殊ニ此鐵道經濟ニ激變ヲ來タシマシタ今日ニ於テハ、尙更其感ヲ致シマスノデ、先ヅ出來ルダケ此豫定線ハ、鐵道敷設法ノ改正ハ愈々著手スル間際ニナッテヤル、斯ウ云フ方針ヲ採ッテ居リマス

○林(路)委員 能ク鐵道建設計畫ヲ立テマ

スル際ニ、國有鐵道ノ分布ノ公平論ガ起ルノデアリマスルガ、是ハ先刻八田委員ノ質問ニ對シテ、大臣ノ御答辯ニナリマシタコトヲ肯定シテ宜カラウト思フゾデアリマス、私共ハ必シモ其分布ガ公平デナクテハナラヌ、其公平トハ即チ其地方ノ面積デアルトカ、或ハ人口等ヲ基準トシテノミ公平論ヲ唱ヘル譯ニハ行カヌト思フゾデアリマスケレドモ、北海道ノ如キハ申ス迄モナク

内國植民地トシテ、而シテ今日北海道拓殖計畫ト云フモノガ樹立サレテ、尙カラス國帑ヲ費シテ、所謂内國植民ノ目的ニ向ッテ進ミツ、アルノデアリマス、申ス迄モナク拓殖ノ先驅ヲ爲スモノハ鐵道デアアルノデアリマス、北海道ニ於ケル鐵道ヲ促進スルコトニ付キマシテハ、歴代ノ内閣ガ特ニ御心配ニナッテ居リマスルガ、殊ニ我方政友會ニ於テハ、今日迄ノ北海道ノ鐵道建設ニ付テハ、大ナル力ヲ注イデ居ルノデアリマス、而シテ田中内閣ノ當時ニ於キマシテハ、今回御計畫ニナリマシタ上士幌三股線、菱川標茶線、名寄兩灌線ノ新線ヲ御計畫ニナッタノデアリガ、是ガ其後民政黨内閣ニ依ッテ削除ニナリマシテ、今回ハ此中ノ一線、即チ上士幌三股間ヲ御提案ニナッタノデアリマス、今日鐵道財政ノ窮迫致シテ居リマスル際ニ、三ツノ中一線ダケデモ計上ヲシテ戴クト云フコトハ、洵ニ結構ナ有難イ譯デアリマス

○林(路)委員 能ク鐵道建設計畫ヲ立テマ

ルガ、併ナガラ北海道ガ以上申スヤウナ拓殖上ノ必要カラシテ、特ニ此鐵道ノ促進ヲ圖ラナケレバナラヌト云フ、此見地カラ致シマスルナラバ、私共ノ考ト致シマシテハ、取殘サレタル二線、菱川標茶線或ハ名寄雨瀧線ノ如キハ、今回此三股線ト同時ニ提案ニナッテ然ルベキモノデアライカト思フゾ

デアリマス、尙ホ此場合附加ヘテ申上ゲテ置キタイコトハ、是ハ餘計ナコトノヤウデアリマスガ、ドウモ獨リ鐵道省デ作成セラレマス圖面ノミナラズ、日本ニ於テ作リマシタ何レノ地圖ヲ見マシテモ、北海道ノ地圖ト云フモノハ、縮尺ガ圖面ト同様デアライデアリマス、而シテ地圖ノ上カラ見ルト云フト、如何ニモ北海道ノ鐵道分布ハ、極メテ贅澤ニ出來テ居ルヤウデアリマスガ、實ハ此地圖ノ縮尺ガ違フゾデアリマス、モウ少シ大キクナラナケレバナラヌ、大體北海道ハ、概念的ニ申上ゲテモ北海道ノ面積ガ六千方里、即チ四國、九州、臺灣ヲ合セタダケアルノデアリマス、圖面ノ上カラ見ルト云フト、四國ト九州トヲ併セテ位ハアルガ、臺灣ノ大部分ト云フモノハ北海道ノ地圖カラ洩レテ居ルト云フヤウニナッテ居ルノデアリマス、隨テ斯様ニ分布ノ公平論ナドガ起ル場合デアリマスカラ、鐵道ノ線路ヲ御示シニナル圖ダケデモ、北海道ノ實際ノ縮尺ニ當嵌ルヤウニ御出シニナルナラバ、北海道ノ鐵道ハマダグ／＼大ニ建設セラレナケレバナラヌト云フコトヲ、一般ノ人が氣付カレルヤウニナルト思フゾデアリマス、是ハ餘計ナコトノヤウデアリマスケレドモ、今回取殘サレテ居リマス、二線、即チ

菱川標茶、名寄雨瀧線、是ハ今回ハ著手セラレマセヌニシテモ、近イ將來ニ於テハ是非建設ニ著手セラレナケレバナラヌモノデアルト思ヒマスガ、聞ク所ニ依レバ、名寄雨瀧間ハ線路ヲ更ニ選擇スルノ必要ガアツテ、昭和八年度ニ於テ更ニ經濟線ヲ測定シテ、其上デ建設計畫ヲ定メルト云フ御方針ナルヤニ承ッテ居リマスルガ、左様デアリマスルカ否カ、尙ホ菱川標茶線ハドウ云フ方針デアリマスカ、此點ヲ明ニシテ戴キタイト思フノデアリマス

○池田政府委員 名寄雨瀧線ニ付テハ、今林サンノ質問サレタ通り、線路ニ付テ尙ホ篤ト攻究シナケレバナラヌ事情ガアルノデゴザイマス、ソレハ王子製紙會社デシタカ、彼處ニ發電所ヲ拵ヘル爲ニ、非常ニ大キナ池ヲ拵ヘル、其關係上前ニ調査致シマシタ線路ハ、其池ノ中ニ没スル、水面以下ニ没スルト云フヤウナ按排デ、鐵道線路ヲ架ケルノニハ非常ニ困難ヲ感ジテ居ルノデアリマス、ソレニ對シテ如何ナル別ノ線路ヲ探ルヤト云フコトガ、今林サンノ御質問ノ通り、八年度ニ於テ尙ホ能ク調査測量ヲ致シマシテ、サウシテ建設計畫ヲ決メタイト云フ考デ居リマス
ソレカラ菱川標茶線ニ付テハ、是ハ地質

ガ非常ニ泥炭地デゴザイマシテ、ソレモ今俄ニ建設スル運ビニナツテ居リマセヌ、ソレニ代ヘルト云フ譯デハアリマセヌガ、寧ロ中標津、標茶間ノ方ガ土地ガ非常ニ肥沃デ開拓サレル餘地ガ非常ニ多イト云フ爲ニ、新タニ之ヲ建設線トシテ計上シタ次第デアリマス

○林(路)委員 只今ノ私ノ質問ニ對シテハ能ク分リマシタ、更ニ違タ點ニ付テ御伺シタイノハ、北海道ノ拓殖事業費ノ中ニ、鐵道建設費利子補給金ト云フモノガアル、是ハ即チ今日ノ拓殖計畫ヲ樹立致シマスル際ニ、大藏大臣ト内務大臣ト鐵道大臣、此三大臣ガ申合セラレマシテ、サウシテ北海道ノ拓殖ノ爲ニ建設スル鐵道ニ對シテ、拓殖費カラ利子ノ補給ヲスルト云フコトガ定ッテ居ルノデアリマス、而シテ其豫算モ年計上サレテ居ルノデアリマスガ、先刻申上ゲタヤウニ、北海道ノ鐵道ハ建設當初ノ採算ニ於テハ、或ハ不經濟線デアルカモ知レナイ、併ナガラ拓地植民ノ大目的ヲ貫徹致シマスル爲ニハ、其先驅トナルベキ鐵道ノ建設ガ必要デアアルコトハ勿論デアリマス、隨テ建設當初ニ於テハ縦シヤ採算ガ引合ハナクテモ、將來ニ於テハ十分採算ガ取レルコトハ、今日マデノ北海道ニ於ケル鐵

道建設ノ經過ニ依ッテ大體分ルノデアリマス、隨テ元來北海道ノ拓殖費ハ、其額ガ極メテ乏シイノデアリマス、之ニ付テハ別ノ機會ニ於テ論議セラレルノデアリマセウガ、此貧弱ナル拓殖費ノ中カラ、利子ヲ補給シテマデ建設ヲシテ貫ハナケレバナラヌト云フコトハ、一面ニ於テハ必シモ無用トハ考ヘマセヌガ、併ナガラ此利子ノ補給ガ十分デナケレバ、北海道ニ於テ鐵道ノ建設ヲ促進スルコトガ出來ナイト云フ御方針デアッタノデハ、北海道全體ノ植民ノ先驅トナルベキ鐵道ノ促進ト云フコトガ、非常ニ懸念セラレルノデアリマス、隨テ最初カラ採算ノ取レルモノニアツテハ、無論利子補給ノ必要モアリマスマイガ、縦シヤ採算ガ取レ

ナクテモ、悉クガ拓殖費ノ利子補給ニ俟タナケレバ、今後ハ建設シナイト云フコトデアッタノデハ、洵ニ北海道拓殖ノ大目的ヲ遂行致シマスル上ニ支障ガアルノデアリマスルガ、之ニ對シテドウ云フ御方針デアリマスルカ伺ヒタイ
○三土國務大臣 北海道拓殖費カラ、北海道ニ於ケル鐵道ノ建設利子ヲ補給スルト云フ計畫ニナツテ居ルコトハ存ジテ居リマスガ、其當時ハドウ云フ事情デアッタカ知りマセヌケレドモ、昨今ノ北海道拓殖計畫ノ財

政狀態デハ、餘程困難ヲ來シテ居ルコトハ御察シヲ致シマス、所ガ鐵道モ亦御承知ノ通り非常ニ窮迫致シテ居ルノデアリマス、今ノ所デハ鐵道省トシテ進ンデ、ソレヲ宜シイト云フ譯ニハ一寸參ラヌノデアリマス、何レ能ク考究シテ見マセウ

○林(路)委員 最後ニ一點御伺ヲシタイノデアリマスガ、昭和八年度ヨリシテ本格的ニ省營自動車ノ計畫ガアツテ、其自動車工業ノ大體方針トシテハ、國有鐵道ヲ敷設スル前提トシテノ試驗的路線ヲ選定セラル、カ、或ハ短距離デアツテ、將來永久のニモ自動車ヲ以テ足ルト云フ必要ノ場所ニ經營スルノデアルト云フコトノ、大體方針ノヤウニ伺ッテ居ルノデアリマスガ、併ナガラ八田委員ノ要求ニ依ッテ御示シニナリマシタ所ノ自動車計畫ノ大要ヲ拜見致シマスルト、中ニハ既ニ國有鐵道ガアツテ、ソレニ並行スル所ノ路線ヲモ、省營トシテ自動車ヲ御經營ニナラウト云フ路線ガアルヤウデアリマス、斯ウナリマスルト云フト、即チ私共ハ或ハ國有鐵道ガアツテモ、無論一方ニ於テハ自動車運轉ノ必要ガアル所デアツテ、鐵道省ガ經營シナケレバ民間ニ於テ此經營ヲスル、其見込ノ確實ナル所デアアルカラシテ、若シ民間ニ之ヲヤラスルナラバ鐵道收入

ガ減少スル、故ニ鐵道收入ノ減少スルコト

カ

○三土國務大臣 他ノ交通機關ガ打撃ヲ受

線路モ長クナルシ、住民モ少イ、隨テ生産

行クヨリカ、赤崎ヲ迂回致シタ方ガ、若シ

ヲ防グ爲ニ、其並行線ニ於テモ自動車ヲ經

ケマスル分ニ對シテハ、何モ賠償致シマセ

物モ少イ、ソレカラ盛町カラ更ニ豫定線ヲ

仰シヤルヤウニ旅客貨物ガ多ケレバ、多少

營スルノデアアル、斯ウ云フ場所モアルノデ

ヌ、同ジ自動車デ影響ヲ受ケルモノガアリ

來テ來ル、是ハ住民モ多イシ、又生産物モ

ノ費用ハ増加シテモ、或ハサウ云フ風ニ致

ハナイカト思ハレルノデアリマスガ、例ヘ

マスルナラバ、賠償ト云フ名前デナクシテ、

多イ、斯ウ云フ關係ニナッテ居ルヤウデア

スカモ分リマセヌ、ソレハ實測調査、經濟

バ北海道ニ於テハ、小樽カラ札幌ヘ出マス

相當ナ賠償ニ相當スルモノヲヤル積リデア

リマスガ、此大船渡釜石ノ連絡接續ニ付テ

テ居リマス、盛町マデ延バセバ必ズ赤崎ハ

ル線、是ガ昭和八年度ニ於テ御計畫ニナッ

リマス

ハ、ドウ云フ御計畫ニナッテ居リマスカ、是

ハマダ實際ノ起工ノ豫算マデハ出來テ居リ

テ居リマス、洵ニ結構ナコトデアアルト思

○林(路)委員 宜シウゴザイマス

マセヌガ、是ハ豫定線デアリマス、又岩手

○小池委員 只今ノ御説明デ凡ソノ見當ヲ

ヒマスルガ、此路線ノ如キハ當ニ民業デヤ

○小池委員 新規追加ノ線ニ岩手縣ノ大船

縣ノ海岸線ノ一部ヲ成スモノデアリマスカ

知ルコトガ出來ルノデアリマスガ、此豫定

ラレテハ困ル、鐵道收入ノ減少ヲ防グ爲ニ、

渡カラ盛町ニ延長ニナルモノガアリマス、

ラ、將來ハ連絡スベキモノ、ヤウニ思フノ

線ト稱スルモノハ、先日來カラ大分質問ノ

矢張省營デヤルコトガ適當デアルト云フ御

是ハ大船渡釜石間ノ所謂豫定線デアリマス

デアリマスガ、之ニ付テノ當局ノ今後ノ御

計畫ヲ伺ッテ見タイト思フノデアリマス

見地ニ立ッテ御計畫ニナッタモノト思ヒマス

ルガ、此延長ノ結果、ドウ云フコトニナリ

マセウカ、豫定線ノ赤崎村カラ浦濱ノ方ニ

出ル線路、是ガ或ハ盛町ヘ行ッテ結果ハ、

ガ、サウ心得テ宜シウゴザイマスカ

別ナ方向ヲ迂回シテ其處ニ出ナケレバナル

マイ、サモナイト云フト、盛町カラ豫定線

ニ依ルト云フト、大分大キナ「カーブ」ガ出

○三土國務大臣 大體其通りデアリマス、

今民間カラ隨分出願ガアリマスガ、若シ其

來ル、而モ非常ニ曲ッテ不經濟ヲ建設ニナ

ルヤウニ圖面ノ上デハ見エマスガ、此點ニ

出願者ニ一旦營業サセマス、賠償シナケ

レバナラスト云フノデ、札幌手稻間ハ相當

付テノ當局ノ御計畫ハドウナッテ居リマス

カ、又此沿線關係方面ノ者ガ大分恐慌ヲ

貨物旅客ガ多イノデアリマスカラ、補助線

トシテ省營デ經營スルト云フコトニ致シマ

感ジテ居ルヤウニモ思ヒマス、又從來ノ豫

定線及ビ盛町カラ行キマス線路ノ經濟關係

シタ

ナドモ調ベタモノガ參ッテ居リマスガ、若シ

盛町カラ大分迂回シテ行クヤウニナルト、

致シマシテ、盛町カラ眞直グニ釜石ノ方ヘ

○林(路)委員 一寸關聯シテ……サウ致シ

マスルト云フト、此小樽札幌間ニハ全線デ

ハアリマセヌガ、其中ノ一部ヲ民間デ自動

車ヲ經營シテ居ル、既ニ或ハ札幌市内電車

ノ區間モアル、是等ハ相當此省營ニ依ッテ、

其營業上打撃ヲ受ケル譯デアリマスルガ、

之ニ付テハ相當補償セラレルノデアリマス

カ

リマシテ、是ハ伊豆君カラ質問スル筈デア
 ルガ、此陳情書ヲ見マスト迂回ノ事ハ書イ
 テアリマセヌガ、現在ノ狀況ヲ一寸書イテ
 アリマス、是ハ既ニ御調べニナッテ居リマ
 セウガ、此豫定線ノ決マリマシタ當時、大
 船渡ノ町ノ戸數ハ四百、今日ハ八百五十戸、
 赤崎村ハ此豫定線ノ決マツタ當時ニハ四百
 戸、稍、大船渡ト同ジ戸數ヲ有ッテ居ッ、現
 在ハ六百十戸、盛町ハ其當時ハ三百九十戸、
 現在デハ四百戸、此數字ニ依ッテ見ルト云フ
 ト、盛町ト云フモノ、將來ノ發展ノ趨勢ヲト
 スルニ足ルト私ハ考ヘル、之ヲ若シ此豫定線
 ヲ御決メニナル時ニ、大船渡カラ赤崎ト云フ
 部落ヲ通過シテ浦濱ト云フ所ヘ出ルコトニナ
 レバ、哩數モ若干短縮スルヤウデアリマス、
 サウシテ其關係ノ戸數ガ一千五百戸、一年
 間ノ生産高ガ二百十五萬圓、若シ盛町ニ
 一今度ノ延長線カラ、先ヅ地勢ニ從ッテ浦濱
 ノ方ニ出ルトスルト、其沿線ノ戸數ガ八百
 戸、一年ノ生産高ハ四十七萬圓、斯ウ云フ數
 字ヲ地元ノ方カラ示シテ來テ居リマス、勿
 論是ハ確定シタモノデハアリマセヌガ、只
 今御説明ニナリマシタ通りノ狀態デアルト
 スレバ、盛町ニ線路ヲ延シテモ、必シモソ
 レカラ地勢ニ從ッテ山地ヲ行カネバナラヌ
 ト云フモノデハナイ、矢張前ノ豫定線ト稱

スルモノヲ行クコトニナルカモ知レヌ、サ
 ウナッテ來ルト圖面ノ上デ見ルト非常ナ「カ
 ーヴ」ヲスル、能ク鍋弦線ト云フコトヲ申
 シマスガ、鍋弦線ヨリハモウ一層短縮シ
 タ、殆ド併行線ニ近イ「カーヴ」ガ出來ルノ
 デハナイカト思ヒマス、鐵道建設ノ技術ノ
 コトハ私共分リマセヌガ、十分ニ御考慮ヲ
 願ハナケレバナラナイモノデハアルマイ
 カ、又關係者カラ言フト、一方ハ一千六百
 戸、片方ハ其半數ノ八百戸、生産高ハ片方ハ
 二百十五萬、片方ハ其四分ノ一デアル四十
 七萬圓、斯ウ云フコトニナリマスルト、生
 産物ノ上カラ言ッテモ、住民ノ關係カラ言ッ
 テモ、十分御考慮下サラナケレバナラナイ
 關係ヲ有ッデアラウ、斯様ニ考ヘルノデア
 リマス、私ハ實際ノ狀況ハ知りマセヌ、伊
 豆君ガ詳シク調べ居ラレタノデアリマス
 ガ、今居リマセヌカラ、私ハ此機會ニ是ダ
 ケノコトヲ申上ゲテ、最善ノ御考慮ヲ願ッ
 テ、前日來各委員諸君カラ御述ニナッテ通
 リ、鐵道敷設法ニ大體豫定線トシテ決メル
 時ニハ、其實際ヲ概測ヲ爲サッテ、サウシテ
 其豫定線ヲ決メラレタノデアアルカラ、決メ
 ラレタ豫定線ハ成ベク動カサヌ、大體動カ
 サヌト云フ方針デ工事ヲ御進メ下サルコト
 ヲ、私ハ希望ヲシテ此質問ヲ終リマス

○委員長 何か御答辯ガアリマスカ
 ○三土國務大臣 御希望ダケデスカラ……
 ○寺田委員 私モ二、三質問ヲ申上ゲタイ
 ノデスガ、先刻下ナタカノ質問ニ對シテ、
 鐵道大臣ノ御方針ノ一端ト言ヒマス
 カ、片鱗カ、現レタヤウデアリマスガ、尙
 ホ此際篤ト御質申上ゲテ置キタイノハ、
 鐵道豫定線ナルモノヲ敷設法ニ御編入ニ相
 成ルト云フコトハ、鐵道敷設法ヲ作ラレル
 當時ヨリ、大體産業發達ノ爲ニ、地方町村
 民ノ將來ノ施設ニ付テノ目標ヲ立テ、置ク
 ト云フヤウナ趣旨デ、鐵道網ニ入レルト云
 フコトニ相成ルト思ッテ居ッ、デアリマ
 スガ、今日迄ノ御方針ハ、何レノ内閣、何
 レノ鐵道大臣モサウ云フ方針デ御編入下
 スッテ居ルト思フノデアリマスガ、然ルニ先
 刻下ナタカノ質問ニ對シテ、今ノ鐵道大臣
 ハ、實際建設ニ著手スルト云フ見込ノアル
 線ダケシカ、此鐵道網ニハ入レナイト云フ
 ヤウナ御方針デアアルカノ如クニ一寸聽取リ
 マシタノデスガ、今後矢張サウ云フ方針
 デ、其方針ヲ固ク守ッテオヤリニナルノデ
 アリマスガ、又場合ニ依ッテハ、各地方カラ
 ノ鐵道建設ノ希望ニ對シテ、鐵道網ニ一度
 御編入サッテ、ソレカラ何年カノ後ニ豫算
 ヲ取ッテ建設ニ著手スルト云フヤウナ從來

ノ方針ト、全然一變サレル積リデアリマス
 カ、一變サレルナラ、ドウ云フ譯デサウ云
 フ御方針ニ御決メニナルノデアアルカラ、此
 處デモウ少シ詳シク御話ヲ伺ッテ置キタイ
 ト思フノデアリマス
 ○三土國務大臣 御承知ノ通り現行鐵道敷
 設法ニ於テ、隨分全國ニ互ッテ豫定線ガ決
 テ居ル、此上新ニ追加スル場合ニ起ル今ノ
 問題デアリマス、ソレニハ餘程考究シテ、實
 際シテヤルト云フ見込ヲ立テ、掛カラナケ
 レバナラヌト云フ——地方ノ希望ガアルカ
 ラ豫定線ニ入レルト云フト、色々ニ混雜ガ
 起ッテ參リマスカラ、先ヅ鐵道敷設法ノ中ニ
 敷設線トシテ加ヘル大體計畫ガ出來ル見込
 ガ立ッテカラ入レルヤウニシタイ、斯ウ云フ
 希望デゴザイマス
 ○寺田委員 サウシマス、從來百何線カ
 既ニ鐵道敷設法ニ編入ニナッテ居ル線路ガ
 アルノデスガ、ソレ等ノ線路ニ付キマシテ
 モ、或ハ經濟調査、或ハ其他ノ調査カラ、
 綿密ニ御調査ニ相成リマシテ、サウシテ其
 線路ノ前後ヲ圖ッテ敷設スルト云フコトニ
 ナッテ工事ニ著手セラル、コト、思フノデ
 アリマスガ、サウ云フ線路モ今度モ矢張ヤ
 ルノニ御研究ニナッテ居ル、而モ其百何線カ
 ノアルソレヲ措イテ、尙今回追加サレタ三

ツノ線路ハ、之ヲ必要ナリト御認メニナ
タノデスカ、ソレ等ノ點ヲモウ少シハッ
リ御答願ヒタイト思ヒマス

○三土國務大臣 其通りデアリマス、今ノ
鐵道敷設法ニ規定シテアル線路以外デモ、
經濟狀態其他ノ研究ニ依ッテ新線ニ加ヘル
必要ガアッテ、サウシテ前ニ決メテアルモノ
ヨリモ先ニ著手スル場合ガアリ得ラレルト
思ヒマス、今度ノ線ハ即チソレデアリマ
ス

○寺田委員 今ノ大臣ノ時代カラ斯ウ云フ
方針ガ變タト云フコトデアレバ、ソレハ已
ムヲ得マセヌガ、從來ノ鐵道ノ敷設ノ方針
カラ言ヒマスルト、大體ハ先ヅ敷設法ニ編
入サレテ、サウシテ若干ノ後ニ工事ニ著
手スルト云フノガ普通ノ方法デアッタ思
ヒマス、今日マデ編入サレテ、直チニ工事
ニ著手サレタ例ガアルノデアリマスカ、其
前例等ヲ承リタイト思ヒマス

○池田政府委員 花卷釜石線ガ民政黨ノ内
閣時代ニ、五十一回カ五十二回デシタカノ
議會ニ敷設法ニ編入サレテ、直チニ敷設ニ
著手シタ例ガアルヤウデアリマス、今一寸
ハッキリシタ所ヲ調ベテ見マス

○寺田委員 地方ノ方ノ希望カラ申シマス
ルト、大體敷設法ニ編入サシテ戴クト云フ

コトガ、茲ニ希望目的ノ一段ヲ達スル譯デ
アリマス、ソコデ從來ノ此方針ニ依ッテ敷
設法ニ編入サレテ、サウシテ其中カラ又緩
急ヲ圖ッテ、實際ノ工事ニ著手スルト云フヤウ
ナ御方針ヲ、現鐵道大臣ガ棄テラレタ趣旨
ニ付テ少シク御説明ヲ伺ヒタイ

○三土國務大臣 今マデト大シタ變リハナ
イト思ヒマス、是マデノ敷設法ニ規定シテ
アル線路以外ニ新ニ變ヘルト云フノハ、餘
程優先的ノ宜イ所ガナケレバ加ヘラレヌ、
大體今マデ決メタ所ヲヤッテ、尙ホ必要ナル
モノガアレバ加ヘテヤルト云フノガ普通ノ
ヤリ方デアリマス、今マデ決ッテアル線ヲ措
イテ先ニヤルト云フノハ、餘程優秀ナモノ
デアリマスカラ、サウ云フ場合ニハ成ベク
實行ノ見込ガ付イタ場合ニヤル、サウシテ
今マデノモノヨリ先ニヤルト云フ、此方針
ハ變リハナイト思ヒマス

○寺田委員 大體ノ御方針ヲ伺ヒマシテ、
是レ以上其方針ニ付テハ質問ヲ止メマス、
私ノ九州ノ方面ニ付テ一二線路ニ付テ御伺
シタイノデアリマスガ、宮崎縣ノ小林宮崎
間ノ線路デアリマス、此線路ハ豫定線、所
謂敷設法ニ載ッテ居ッタ線路デアリマス、所
ガ今回ノヲ削除サレマシテ、サウシテ丁度
先刻ノ高知ノ蕨野線ト同ジヤウナ運命ニ

ナッテ居ルノデアリマスガ、是ハドウ云フ譯
デ茲ニ御削除ニナッタカト云フコトヲ御説
明ヲ願ヒタイトデアリマス

○三土國務大臣 是ハ最初鹿兒島カラ宮崎
ヘ行ク線ト致シマシテ、小林宮崎間ヲ計畫
シタノデアリマス、其後各方面カラノ希望
ニ依リマシテ、小林カラ都城ヘ出ル線ニ變
ヘマシタノデアリマス、是ガ出來マシタノ
デ、差當リ小林宮崎間ガ鐵道建設ヲ急ガナ
クナッタデアリマス、ソコデ今度ノ豫算
カラ削除致シマシタガ、是ハ自動車ニ變ヘ
ル積リデアリマス、自動車經營デヤレバヤッ
テ宜カラウ、都城ヲ廻ッテ宮崎ヘ行ク線路ガ
出來タ爲ニ、是ハ暫ク必要ガナカラウ、斯
ウ云フ譯デアリマス

○寺田委員 自動車デ省營「バス」デヤッテ
戴クト云フコトモ結構デアリマス、所ガ
ヤハリ土佐ノ蕨野線ト同ジヤウニ、八年度
九年度ノ計畫ニ是ガ入ッテ居ナイモノ、如
クニ伺ッテ居リマスガ、小林宮崎間ハ昭
和九年度カラ實ハ工事ニ著手サレル豫定ニ
相成ッテ居ッタト思ヒマスガ、少クトモ九年
度ニハ此省營「バス」ヲ御實行下サルト云フ
コトニ相成リマシタノデアリマセウカ、其
點ヲモウ一度御伺致シマス

○池田政府委員 是ハ主トシテ道路ノ關係

デアリマシテ、寺田サン能ク御承知グラウ
ト思ヒマスガ、小林カラ宮崎ニ行ク道路ハ
可ナリ狭イ處ガアリマスノデ、其改修其他
ニ付テ縣廳ト能ク打合ヲシナケレバナラナ
イ建前ニアリマスノデ、直チニ八年度カラ
著手スルト云フコトハ出來マセヌノデアリ
マス、近キ將來ニ於テ打合ガ濟ミ次第ヤリ
タイト云フ考ヲ有ッテ居リマス

○寺田委員 此點ハ諒承致シマシタガ、更ニ
日南線ト申シマシテ宮崎カラ鹿兒島縣ノ志
布志ニ參ル海岸線デアリマス、是ハ今志布
志ノ方カラ建設ノ事ヲ爲シテ戴イテ居リマ
スガ、中々其完成年度ガ將來遠キニ互ッテ居
ルヤウデアリマス、所ガ一方ノ宮崎縣ノ方
ハ、宮崎カラ内海マデ私設鐵道ガアルノデ
アリマスカラ、是等ハ將來當然私設鐵道ノ
買收ト云フコトニ相成ッテ、省營線デ宮崎及
志布志ヲ繋イデ戴ケルコト、信ジテ居リマ
スガ、此日南線ノ工事ヲ速成スルト云フ趣
旨ノ上カラ、内海方面カラモ工事ヲ進行シ
テ戴クト云フコトハ出來ナイモノデアリマ
セウカ、サウ云フ點ニ付テ御伺ヲ致シマス

○池田政府委員 是ハ主トシテ技術上ノ問
題ガアリマシテ、寺田サン能ク御承知ノヤ
ウニ、内海カラ飢肥、油津、此間ガ一番地
形ガ峻峻デアリマシテ、隧道モ可ナリ長イ

○池田政府委員 是ハ主トシテ技術上ノ問
題ガアリマシテ、寺田サン能ク御承知ノヤ
ウニ、内海カラ飢肥、油津、此間ガ一番地
形ガ峻峻デアリマシテ、隧道モ可ナリ長イ

○池田政府委員 是ハ主トシテ技術上ノ問
題ガアリマシテ、寺田サン能ク御承知ノヤ
ウニ、内海カラ飢肥、油津、此間ガ一番地
形ガ峻峻デアリマシテ、隧道モ可ナリ長イ

○池田政府委員 是ハ主トシテ技術上ノ問
題ガアリマシテ、寺田サン能ク御承知ノヤ
ウニ、内海カラ飢肥、油津、此間ガ一番地
形ガ峻峻デアリマシテ、隧道モ可ナリ長イ

○池田政府委員 是ハ主トシテ技術上ノ問
題ガアリマシテ、寺田サン能ク御承知ノヤ
ウニ、内海カラ飢肥、油津、此間ガ一番地
形ガ峻峻デアリマシテ、隧道モ可ナリ長イ

モノガ出來ル豫定ニナッテ居リマス、一方砥肥、油津ト云フ所ハ日南地方トシテハ優秀ナ町デアリマシテ、出來ルダケ早ク其處マデ鐵道線路ヲ架ケテ行クノガ、其地方ノ希望ヲ滿スノデヤナイカト云フ考カラ致シマシテ、志布志方面カラ工事ヲ著々進メテ居リマス、是ハ内海方面ノ險峻ナ土地ニ對シテ、能ク實測研究致シタイ考ヲ有ッテ居リマスガ、今日マダ著手ニハ至ッテ居リマセヌ

○寺田委員 此線路モ成ベク完成ヲ促進シテ戴ク希望ヲ申上ゲテ、此内海方面ノ地勢等ノ實測ガ出來マシタナラバ、成ベク内海方面カラモ工事ニ著手シテ、兩方面カラ工事ヲ完成シテ戴キタイト云フ希望ヲ申述ベテ置キマス、ソレカラ私ノ鹿兒島縣ニ大川線ト云フノガアリマシテ、詰リ鹿兒島本線ノ川内カラ支線ノ大口マデノ鐵道デアリマスガ、是ハ既ニ宮之城マデ開通シテ宮之城カラ大口マデノ間ハ著々工事ヲ進メテ戴イテ居リマスガ、僅カバカリノ所ニナッテ茲ニ年度ヲ繰延ベテアルヤウデアリマス、此繰延ベラレタ理由ト、ソレカラ鹿兒島ノ山野カラ熊本縣ノ水俣ニ通ズル線路デアリマスガ、是モ等シク現ニ工事ヲシテ居リナガラ僅カノ所デ繰延ニナッテ居ル、此二線ノ繰延ノ理由ヲ詳シク御説明ヲ御願シタイ

○池田政府委員 最初ノ大川線、大口川内線カラ申上ゲマスガ、是ハ寺田サン御承知ノヤウニ、線路ノ經過地ニ付テ地方ノ希望ガ區々デアリマシテ、色々比較研究シテ結果今日マデ可ナリ考慮シタ線路デゴザイマスガ、未ダニ決ッテ居ラナイデアリマス、宮之城カラ永野マデ、其處ニハ金山モゴザイマスノデ、相當地方トシテモ速成ヲ要望シテ居リマスシ、鐵道省モ其考ヲ有ッテ居リマスノデ、最近著手スルコトニナッテ居リマス、先キノ經過地ニ付テハ地方トシテ要望ガ澤山アルノデ、マダ鐵道トシテモ決メ兼ねテ居リマス、ソレカラ水俣線ニ付テハ彼處ノ國境ニ可ナリノ隧道ガアリマスノデ、尙ホ比較測量シテ研究致シマシタ所ガ、可ナリ良イ線路ガアルノデヤナイカト云フ見込ガ段々見エテ參リマシタカラ、ソレ等ニ付テ目下研究シテ居リマスノデ、サウ云フ關係上著手が遅レマシタ次第デアリマス、ソレデ自然此年度割ヲ繰下ゲタ次第デアリマス

○寺田委員 此大川線ハ非常ニ希望ガ多ウゴザイマシテ、鐵道省ニ於カレテモ色々取舍選擇ニ御困リノコト、御察シスルノデアリマスガ、既ニ永野マデ參リマスト云フト、先キハ僅カナ所デアリマスカラ、ドウカ

早ク鐵道技術ノ上カラ、又町村民ノ利害ト云フ上カラ、其調査ヲ進メラレマシテ、成ベク早く全通スルヤウニ御計ヒヲ御願申上ゲテ置キマス、水俣線ニ付テモ是ガ國境方面ノ隧道ニ付テハ御調査等モアリマシテ、多少遅レタト云フコトデアリマスガ、是モモウ距離カラ言ヘバ大シタコトモナイト思ヒマスカラ、是等モ成ベク——今回繰延ベラレテ又更ニ繰延ベラレルト云フコトハ將來アルマイト思ヒマスガ、繰延ニ次グニ繰延ヲ以テセヌトモ限リマセヌカラ、サウ云フコトガナイヤウニ特ニ御願ヲ致シマス

○綾部委員 私モ簡單ニ大分縣ノ鐵道ノ繰延ト削除ニ付テ當局ノ意見ヲ御伺シタイト思ヒマス、大臣ノ御方針ニ依リマスト、經濟線ト申シマスルカ、成ベク收支ノ償フ線ハ早くヤリ上ゲル、斯ウ仰セニナッテ居ルノデアリマスガ、私ノ方ノ大分久留米間ノ久大線ヲ一年繰延ベルト云フ理由デゴザイマス、全然大臣ノ御觀念ト反スルヤウナ此線ハ實情ニアルノデアリマスガ、之ヲ特ニ繰延ベラレタノハ何カ理由ガアルノデアリマスカ

○池田政府委員 是ハ綾部サンハ能ク御承知ダラウト思ヒマスガ、日田ノ停車場ニ付テ、數年ニ互リマシテ問題ガアリマシテ、

地元ニ於テ可ナリ停車場ノ位置ニ付テ決マラナイ點ガアリマシタ關係上、自然ニ繰下ッタ譯デアリマス、豫算其他ノ按排上繰下ッテハナクシテ、是ハ御承知ノ通り六十三臨時議會ニ於テハ、繰上線ノ中ニ這入ッテ居リマス二十五線ノ一ツデアリマス、其當時今マデニ著手が遅レタ關係上、ドウシテモ八年度ニハ出來ナイト云フコトガ分ッテ居リマシタガ、豫算ノ各目ノ組替ト云フコトハ臨時議會デハ到底間ニ合ヒマセヌノデ、今回之ヲ提出シタ次第デアリマシテ、詰リ臨時議會ニ於テハ今マデ遅レテ著手シナカツ所ヲ、早急ニ繰上ゲテ著手スル豫算ヲ頂戴シマシタ、ソレデモ尙ホマダ前ノ豫算面カラ一年遅レナケレバ出來ナイト云フコトハ、洵ニ遺憾デゴザイマスケレドモ、停車場ノ問題デ著手ノ遅レタ關係上、サウ云フ風ニナッタ次第デアリマスカラ、左様御承知ヲ願ヒマス

○綾部委員 モウ一ツ矢張大分縣デゴザイマスガ、三重町ト白杵町ヲ繋グ鐵道ヲ、吾ハ白三鐵道ト稱シテ居リマシテ、地方民ハ一日モ速カニ開通ヲ望ンデ居ルノデアリマスガ、是ハ全然削除サレタヤウデアリマス、吾々ノ調ベタ所ニ依リマスト、是ハ非常ニ經濟線デアラウト思フノデゴザイマス

ガ、特ニ何カ削除シタ理由ガオアリニナル
ノデゴザイマセウカ

○池田政府委員 鐵道省ノ調べニ依リマス
ルト云フト、サウ經濟線デモナイノデアリ
マス、利益率ガ非常ニ良クナイノデアリマ
ス、併ナガラ地方ノ要望モアリマスシ、九
年度以降ニ於テ自動車運輸ヲ開始スル見込
ヲ以テ、今調査ヲ致シテ居ル次第デアリマ
ス、左様御承知ヲ願ヒマス

○綾部委員 經濟線デアルカ經濟線デナイ
カト云フコトハ、是ハ議論ニナリマスカラ
私ハ止メニ致シマスガ、自動車ヲ御ヤリニ
ナル御見込デアルト云フコトヲ、今建設局
長カラ伺ツタノデアリマスガ、御始メニナル
ノハ何時カラデゴザイマスカ

○池田政府委員 九年度以降ニ於テヤリタ
イト云フ考ヲ有ツテ居リマス

○綾部委員 私ノ質問ハ終リマシタ

○原委員 一寸一口御當局ニ御伺致シテ置
キタイコトハ、是モ私ノ故郷デアリマスノ
デ、岡山ト姫路ノ海岸線ヲ通シテ戴キタイ
ト云フ希望ヲ、先般大臣竝ニ建設局長ガ、
御私用デ赤穂ノ大石神社ニ御參拜ニナツタ
時ニ、地方民ガ非常ニ希望致シマシテ、私
モ其紹介者ニナツテ、岡山ノ横山代議士等ト
一緒ニ陳情シタノデアリマスガ、此海岸線

ニ付キマシテ只今大臣ノ御説明ヲ御伺ヒシ
マス、日本ノ經濟關係ハ將來益々好轉シ
テ行ク、隨テ鐵道豫算ナドモ、收入ニ於テ
モ十分ニ餘裕ガアルト云フ計畫ガ立チハシ
ナイカ、物資ヤ總テノ關係ニ於テ十分見込
ガ立ツノデアリマスカラ、將來ドウカシテ
此海岸線ヲ開通シテ戴キタイト云フ希望ガ
アルノデアリマスガ、御當局ハドウ云フ御
意嚮ヲ御有チニナツテ居ラレマスカ

○池田政府委員 是ハ御話ノヤウニ海岸線
デアリマシテ、山陽線ノ補助線トシテ相當
價値ノアル線路ダトハ思ヒマスルガ、只今
直チニ著手スルマデノ調査ガ出來テ居リマ
セス、能ク研究致シタイト思ヒマス

○委員長 ソレデハ次回八月曜日ノ午前
十時カラ開會スルコトニシマシテ、本日ハ
是ニテ散會致シマス

午後五時六分散會

昭和八年二月三日印刷

昭和八年二月四日發行

衆議院事務局

印刷者 民友社印刷所